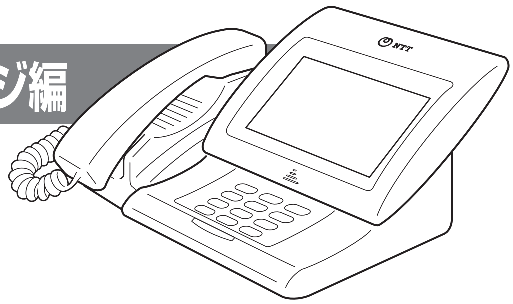
NTT

Universal IT Design

IPテレホンUD

UD-標準電話機取扱説明書

❸基本イメージ/携帯イメージ編



このたびは、IPテレホンUD UD-標準電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

このページには、IPテレホンUD UD-標準電話機を安全にお使いいただくための注意事項を記載しています。
本商品をUD-主装置にセットしてお使いになる場合は、取扱説明書『②総合編』の「安全にお使いいただくために必ずお読みください」をあわせてお読みください。

本書中のマークの説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

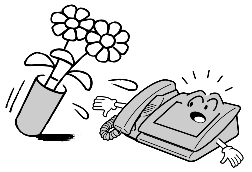
ご使用にあたってのお願い

- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。
- リモート操作カードをご使用の際は、必ず取扱説明書をよくお読みになり、ご理解いただいたうえでお使いください。
- IPテレホンUD UD-標準電話機は、組み込まれている以下のソフトウェアについて適正な使用許諾を受けています。
  ・Macromedia® Flash　Player
- Macromedia Flashはアドビシステムズ社の登録商標です。

本商品の設置場所について

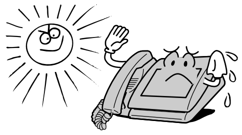
⚠警告

●本商品や電源アダプタ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



●本商品や電源アダプタ、LANケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

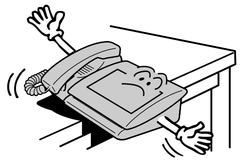
- 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水･油･薬品などのかかるおそれがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



●本商品の底面部は、放熱のため温度が上昇しますので、じゅうたん・布団・高級家具・カーペット・ソファーなどの上に置かないでください。発熱により、変色したり、火災の原因となることがあります。

⚠注意

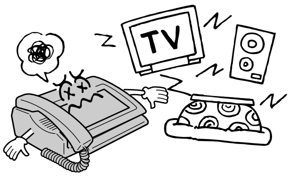
●本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



お願い

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。



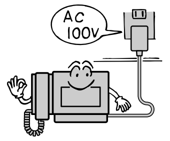
●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

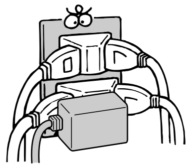
本商品のお取り扱いについて

⚠警告

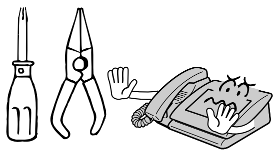
- ●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- ●電源アダプタは、電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- ●電源アダプタは必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- ●電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- ●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ、LANケーブルを抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- ●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源アダプタ、LANケーブルのコネクタに異物や水などが入った場合は、電源アダプタ、LANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
  また、LANケーブルのコネクタがぬれた場合は、乾いても、使用しないでください。
- ●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。

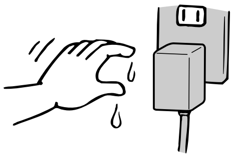


⚠警告

●電源アダプタコードおよびLANケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●電源アダプタコードおよびLANケーブルが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ、ＬＡＮケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●本商品や電源アダプタ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源アダプタ、LANケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●本商品をお手入れするときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●お客様がご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

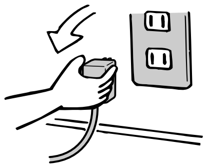
●医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

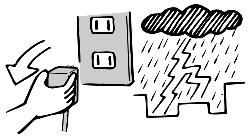
●本商品を移動するときは、電源アダプタやLANケーブルを抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタやLANケーブルが差し込まれたまま移動すると、電源アダプタコードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



●本商品や電源アダプタコード、LANケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



●本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠注意

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

●本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●タッチパネルの画面を強く押したり、ひっかいたりしないでください。画面にムラが出たり、破損したり、タッチパネル画面の故障の原因になります。

●付属品のタッチペンは、本商品のタッチペン収容穴に保管してください。放置するとけがなどの原因となります。もし、飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

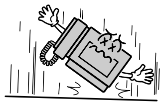
●付属品のタッチペンで目を突いたりしないようにしてください。失明や目に障害を与える原因となります。

お願い

●電源を再度入れる場合は、電源を切った状態から5秒以上経ったあとに行ってください。

●使用中は電源を切らないでください。設定変更中やバージョンアップ中に電源を切ると、回復不能な故障の原因になることがあります。

●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



●本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、LANケーブルのコネクタ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。

●ナンバー･ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー･ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の用件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

●ログアウト状態のUD-標準電話機は、110番、119番、118番へ電話をかけることはできません。

●ログアウト状態のUD-標準電話機は、110番、119番、118番などからの呼び出し（緊急着信）のときも、着信しません。

●本商品の電源アダプタを抜いたままにしないでください。電源が入っていないと使用できません。

●ハンドフリーでお話しのとき、以下の点に注意してください。

- マイクの前には、ものなどを置かないでください。また、マイクとの距離は約50cmを目安としてお話しください。
- マイクを手で覆わないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
- 以下のような場合、スピーカからの音が途切れることがあります。
  - ・相手のお話しが終わらないうちに、こちらから話しかけたとき
  - ・相手と同時に話し始めたとき
  - ・周囲の騒音が大きい場所に置いたとき

●付属品のタッチペンは、タッチパネル調整をするとき以外に使用しないでください。誤った使いかたをして、タッチペンの先を破損しないように注意してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。初期化（☛P5-6）の操作を行って消去してください。

※ UD-主装置に保持されているお客様固有情報の消去については取扱説明書『②総合編』を参照してください。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください......2
本書の見かた......11

1 お使いになる前に

セットを確認してください......1-2
各部の名前......1-3
タッチパネル／待受画面／おしらせランプについて......1-5
　タッチパネルの使いかた......1-5
　待受画面について......1-6
　おしらせランプについて......1-6
用途別索引......1-7
UD-標準電話機を使う人を登録しましょう......1-9
　「ユーザ」について......1-9
　操作画面イメージを確認する......1-11
　ユーザ名を設定する......1-12
　パスワードを設定する......1-17
ユーザとして電話機が使える状態にする（ログイン）......1-19
　「ログイン」／「ログアウト」とは......1-19
　操作画面イメージ（基本／シンプル／携帯）の選択について......1-20
　ログインする......1-21
　ログアウトする......1-23
使いやすいように調整しましょう......1-25
　ボタンやタッチの音を鳴らすかどうかを設定する（キータッチ音）......1-25
文字入力のしかた......1-27
　文字入力表......1-28
　漢字・ひらがなを入力する......1-29
　カタカナ・英字を入力する......1-31
　数字を入力する......1-32
　記号を入力する......1-34
注意！　付加サービスの設定をご確認ください......1-35

2 使いかた

電話をかけるには......2-2
　電話番号を押してかける......2-5
　ハンドフリーでかける......2-6
　ワンタッチダイヤルでかける......2-8
　電話帳を使ってかける......2-9
電話がかかってきたときは......2-12
　電話を受ける......2-15
　ハンドフリーで電話を受ける......2-16
　着信に留守番電話で応答する（居留守応答）......2-17
　通話中にかかってきた別の電話を受ける......2-18
　他の電話機への電話を受ける（代理応答）......2-20
通話中の操作......2-21
　相手に待っていただく（保留）......2-24
　受話器から聞こえる相手の声を調整する......2-26
　スピーカ音量を調整する......2-28
　通話の内容を録音する......2-28
ワンタッチダイヤルを使うには......2-30
　ワンタッチダイヤルを登録する......2-32
　ワンタッチダイヤルの内容を変更する......2-33
　ワンタッチダイヤルの登録を削除する......2-34
電話帳を使うには......2-35
　電話帳を登録する......2-37
　電話帳の内容を変更する......2-40
　電話帳を1件削除する......2-42
　電話帳を全件削除する......2-43
　グループ名称を登録する......2-44
発信／着信履歴を利用するには......2-45
　発信／着信履歴の電話番号に電話をかける......2-48
　発信／着信履歴の電話番号を電話帳に登録する......2-49
　発信／着信履歴を1件削除する......2-50
　発信／着信履歴を全件削除する......2-51
他の内線電話機とお話しするには（内線通話）......2-52
　他の内線電話機に電話をかける......2-54
　他の内線電話機の呼出音を一斉に鳴らす......2-56
　内線電話を受ける......2-57
電話を取り次ぐには（保留転送）......2-58
　他の内線電話機に取り次ぐ（内線転送）......2-60
　外線に取り次ぐ（外線転送）......2-61
　転送先電話番号を登録／修正する......2-62
かかってきた電話を自動的に転送させるには（転送でんわ）......2-64
　転送を設定する......2-66
留守番電話を使うには......2-68
　外出する前に（留守の設定）......2-72
　用件を聞く／削除する......2-74

目　次

応答メッセージを自分の声で録音する 2-78
外出先からリモート操作する................................2-80
録音された用件を転送する...................................2-87
ひかり電話の付加サービスを利用するには 2-90
付加サービスを利用した機能について 2-91
サービス契約の設定をする...................................2-95
迷惑電話の着信を拒否するには.................................2-96
電話番号を指定して着信を拒否する 2-97
非通知／公衆電話からの着信を拒否する 2-100
ドアホン（別売）を利用するには..........................2-101
ドアホンからの呼び出しに応答する 2-103
外の様子を確認する 2-107
カメラドアホンの画像を録画／再生する 2-108
カメラドアホンからの呼び出しにFOMAで
応答する..2-112

3 各種設定を行う

［設定］の項目一覧...3-2
設定を行う 3-3
［発信］..3-3
［着信］..3-4
［電話帳］..3-5
［ワンタッチダイヤル］...3-6
［留守］..3-6
［音声］..3-7
［内線］..3-8
［ドアホン］..3-8
［転送］..3-9
［主装置機能］..3-10
［その他］..3-11
［アップデート］...3-11
［終了］...3-12

4 こんなときには

「聞こえにくい」を解決するには.................................4-2
タッチしても画面が切り替わらないときは
（タッチパネル調整）...4-4
おしらせランプが点滅しているときは／
お知らせ表示が出たときは.......................................4-6
停電のときは..4-8
停電になると..4-8
停電が復旧すると 4-8

5 ご参考に

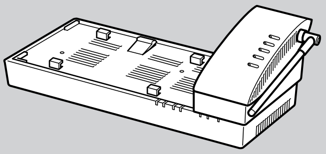
故障かな？と思ったら 5-2
こんな音がしたときは 5-5
お使いのUD-標準電話機をお買い求め時の状態に
戻すには（初期化）...5-6
お使いのUD-標準電話機をアップデートするには 5-8
お知らせがあったときに手動でアップデートを
行う 5-8
手動でチェックとアップデートを行う 5-10
自動アップデートを設定する...............................5-12
設置と接続について 5-13
お手入れのしかた...5-15
索引...5-16
リモート操作カード...5-19
保守サービスのご案内 5-21

本書の見かた

取扱説明書の構成について

IPテレホンUDの取扱説明書は、以下の5部構成になっています。本書は『③基本イメージ／携帯イメージ編』です。

UD-主装置



最初にお読みください
①セットアップガイド

箱を開けて中身を確認し、電話が使えるようになるまでの手順を説明しています。

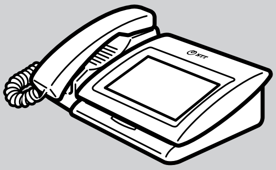
②総合編

IPテレホンUDの概要、Web設定の操作、いろいろな機器の接続方法など、IPテレホンUD全般について解説しています。

⑤詳細設定編

UD-主装置の箱に入っている「専用CD-ROM」に収録されています。
Web設定で、UD-主装置のルータ機能、無線LANを設定する方法について解説しています。
通常のご使用では、特に設定する必要はありません。

UD-標準電話機



本書

③基本イメージ／携帯イメージ編

UD-標準電話機の基本イメージ／携帯イメージの操作方法について解説しています。
UD-標準電話機の箱に入っています。

④シンプルイメージ編

UD-標準電話機のシンプルイメージでの操作方法について解説しています。
UD-標準電話機の箱に入っています。

本書の見かた

ダイヤルボタンとタッチパネル項目の表記について

本書では、UD-標準電話機のダイヤルボタンをイラストで表記しています。また、タッチパネルのタッチ項目をカッコ【　】を使って表記しています。

＜例＞　(3 さDEF)を3回押す

ダイヤルボタン「3」を示します。

＜例＞【履歴】→【発信履歴】の順にタッチする

下記の画面のタッチ項目「履歴」を示します。

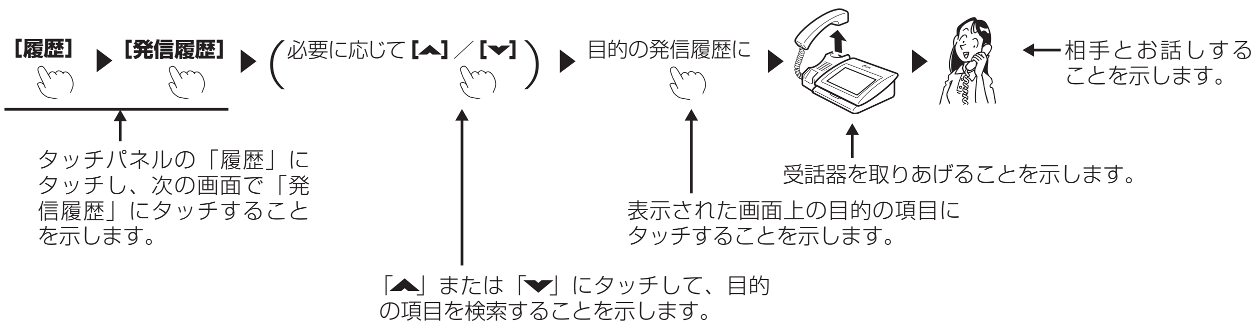
操作説明ページの見かた

本書の操作説明ページの見かたについて説明します。

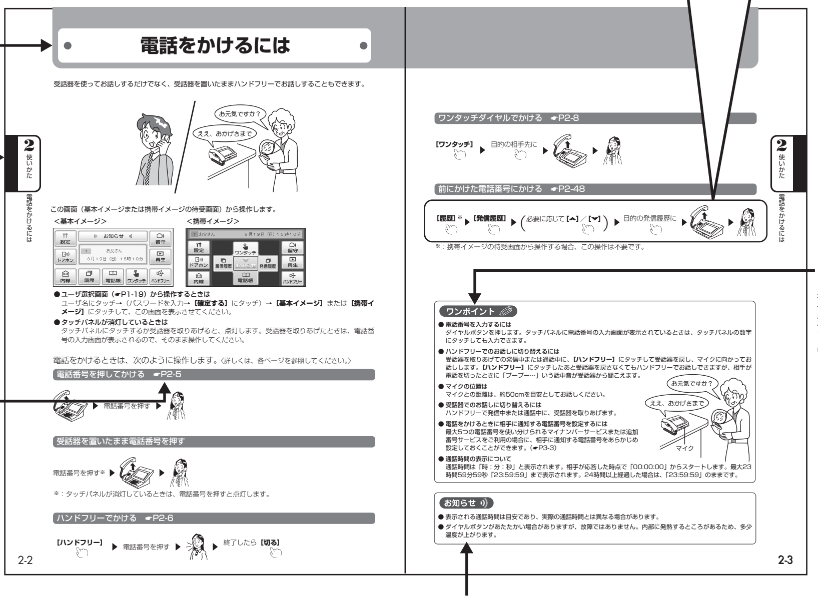
各節の最初のページ

「2章　使いかた」では、いろいろな操作を節に分けて説明しています。各節の最初のページには、節タイトルに示す操作を列挙して記載しています。たとえば「電話をかけるには」では、電話をかける操作をまとめて簡単に紹介しています。

操作手順
タッチパネル操作や、受話器を取りあげたり戻したりする操作を、簡略化した表記方法で説明しています。



〈サンプル〉



節タイトル
この節で説明する内容の見出しです。

インデックス
見たい項目を探すときに使います。

参照ページ
項目によっては、詳細な説明を記載しています。画面の遷移などを確認したいときは、各ページを参照してください。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

お願い／お知らせ

お願い
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

お知らせ
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

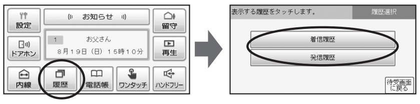
次ページにつづく▶

本書の見かた

操作の詳細ページ

このページでは、タッチするごとに変わる画面を記載して、操作を詳しく説明しています。

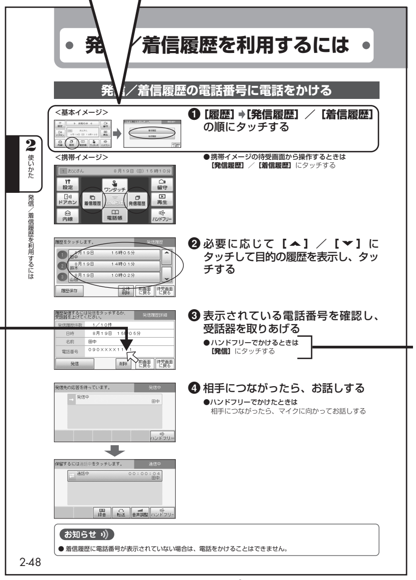
タッチパネル画面
右欄の操作でタッチする項目の位置を
確認していただくための画面です。



❶［履歴］➡［発信履歴］／［着信履歴］の順にタッチする

操作説明
操作を細かな手順に分けて説明しています。
上記の場合は、左画面の「履歴」にタッチし、表示された右画面で「発信履歴」または「着信履歴」にタッチすることを示します。

「～を確認する」などの操作の場合に、確認していただきたい位置を矢印で示しています。



操作が分岐する場合は、「● ～ときは」のようにタイトルを付けて説明しています。

〈サンプル〉

- 画面は、表示されている文字などがはっきり読めるサイズでは記載していません。タッチする項目や入力欄などのおおまかな位置を確認するための手がかりとしてご利用ください。
- 画面は一例を示します。

第1章

お使いになる前に

セットを確認してください..1-2

各部の名前..1-3

タッチパネル／待受画面／
おしらせランプについて..1-5

用途別索引..1-7

UD-標準電話機を使う人を登録しましょう..................1-9

ユーザとして電話機が使える状態にする
（ログイン）..1-19

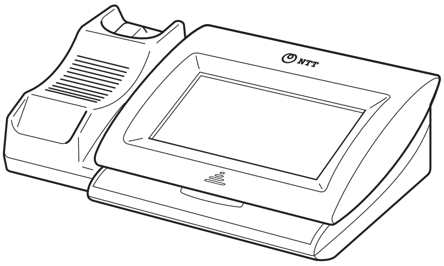
使いやすいように調整しましょう..............................1-25

文字入力のしかた..1-27

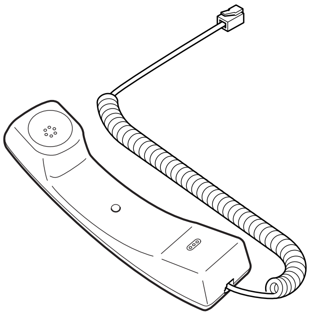
注意！　付加サービスの設定をご確認ください........1-35

セットを確認してください

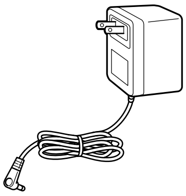
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。



電話機（1台）

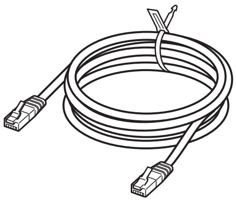


受話器（受話器コード付き）
（1組）



電源アダプタ（1個）

タッチペン
（1本）



LANケーブル（3m）
（1本）

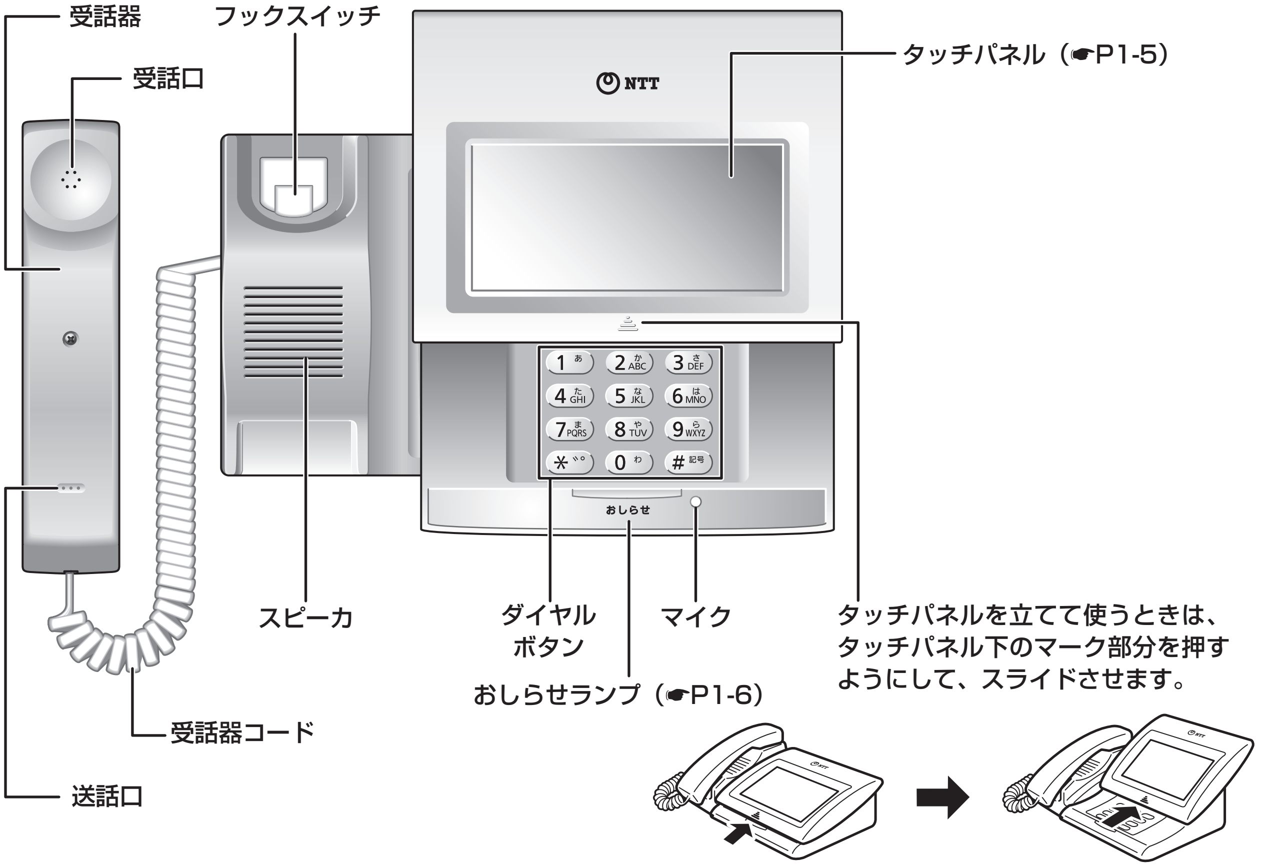
取扱説明書
③基本イメージ／
携帯イメージ編
（本書）（1部）

取扱説明書
④シンプルイメージ編
（1部）

- 保証書（1枚）
- 「NTT通信機器お取扱相談センタ」シール（1枚）

各部の名前

●上から見た図



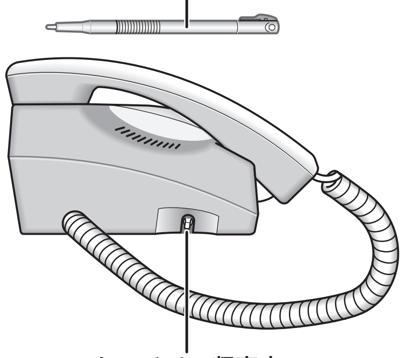
【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方（色）	状　態
おしらせランプ	消灯	留守番電話を設定していないとき 確認していただきたい情報がないとき
	点灯（青）※	留守番電話を設定したとき ※：ただし、留守番電話に未再生の用件メッセージや確認していただきたい情報があるときは、おしらせランプは点滅（青）します。
	点滅（青）	留守番電話に用件メッセージが録音されたとき 確認していただきたい情報があるとき （☛P1-6、4-6）

次ページにつづく▶

各部の名前

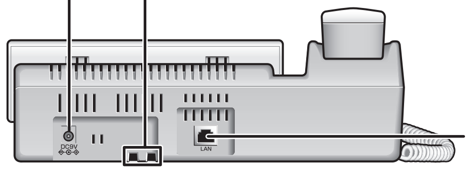
●横から見た図



タッチペン
タッチペンは、タッチパネル調整（☛ P 4-4）のときに使用するツールです。タッチペン収容穴にセットして保管してください。
通常、タッチパネルを操作するときは、タッチペンを使用せず、指でタッチしてください。

タッチペン収容穴

●後ろから見た図



電源アダプタコード差込口
UD- 標準電話機の電源アダプタを接続します。

電源アダプタコード固定用溝
UD- 標準電話機の電源アダプタコードをＵ字形の溝に引っかけて固定します。

LANポート
UD- 主装置に接続します。

タッチパネル／待受画面／おしらせランプについて

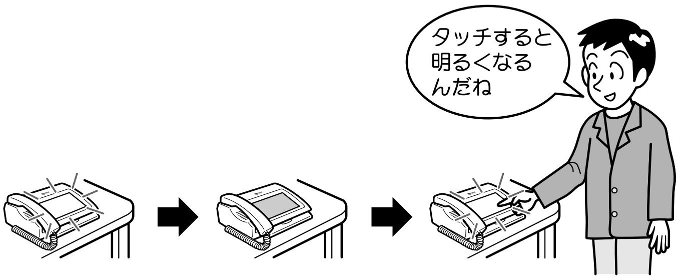
タッチパネルの使いかた

各種の登録や設定などを行うときには、タッチパネルを使います。

● 操作のしかたは
タッチパネルに表示される項目に、指でタッチします。タッチすると、画面の表示が切り替わります。
項目数が多く、一画面に表示しきれないときは、【▲】や【▼】が表示されます。【▲】や【▼】にタッチすると、前後に続く項目が表示されます。
項目にタッチしたあと、次の操作をするときは、画面が変わってから操作をしてください。

● 電話をかけるときは
タッチパネルに表示される数字にタッチします。UD-標準電話機のダイヤルボタンを押してかけることもできます。

● タッチパネルの減光／消灯／点灯について
操作をしないと約20秒でタッチパネルのライトが減光し、暗くなります。タッチパネルにタッチすると明るくなります。操作をしないと約1分でタッチパネルのライトが消灯します。タッチパネルにタッチすると、点灯します。
通話中や設定中などは、操作をしないと約20秒でタッチパネルのライトが減光し、暗くなりますが、消灯しません。
電話がかかってきたときには、自動的に点灯します。



● タッチしても画面が切り替わらなくなったときは
お使いいただいているうちにタッチパネルへのタッチが効きにくくなったときは、タッチパネル調整（☛P4-4）を行ってください。

● 汚れて見にくいときは
タッチパネルの表面を清掃してください。（☛P5-15）

● タッチパネルを立てて使うときは
受話器部分を押さえ、タッチパネル下のマーク部分を押し出すようにしてスライドさせ、ダイヤルボタンを見えるようにします。

お願い

● タッチパネルを立てるときは、画面部分を押さないでください。また、電話機各部に無理な力が加わらないようにしてください。

お知らせ

● 付属品のタッチペンは、タッチパネル調整（☛P4-4）のときに使用するツールです。通常、タッチパネルを操作するときは、指でタッチしてください。ただし、2か所以上同時に押さないでください。
● 文字の入力は、UD-標準電話機のダイヤルボタンを押して行います。（☛P1-27）
● タッチパネルの項目にタッチしたあと、しばらくの間画面が変化しないことがあります。

タッチパネル／待受画面／おしらせランプについて

待受画面について

タッチパネルには、通常、待受画面が表示されています。
待受画面には、**［設定］**、**［留守］**などのタッチ項目のほか、現在ログイン（☛P1-19）しているユーザや、日付時刻などが表示されています。

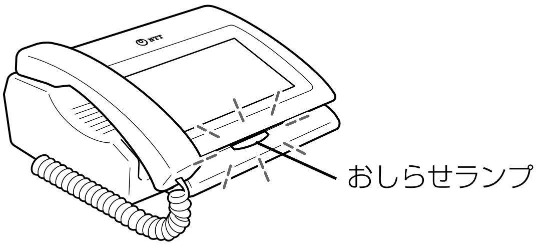
<基本イメージ待受画面>　　<携帯イメージ待受画面>

※1：ユーザ名として、わかりやすい名前を登録できます。（☛P1-9）
※2：時刻はあくまで目安としてご利用ください。

■ご注意ください！
だれもログインしていないときには、待受画面でなく、ユーザ選択画面（☛P1-19）が表示されています。ユーザ選択画面が表示されているときは、発信をはじめとする電話の利用が一切できません。また、どこからも電話を受けることができません。

おしらせランプについて

かかってきた電話に出なかったときや、留守番電話に用件が録音されたときなど、確認していただきたい情報があるときには、UD-標準電話機の「おしらせランプ」が点滅します。



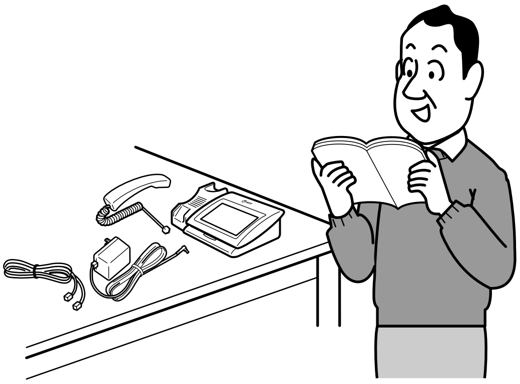
このとき、待受画面にも**［お知らせ］**と表示されています。

<基本イメージ待受画面>　　<携帯イメージ待受画面>

［お知らせ］にタッチすると、内容を確認したり、対処の操作を行うことができます。
お知らせ情報の種類や操作の方法については、「おしらせランプが点滅しているときは／お知らせ表示が出たときは」（☛P4-6）を参照してください。

用途別索引

■設置したい



・UD-主装置にセットしてお使いになる場合：
☛UD-主装置の『最初にお読みください
①セットアップガイド』
・UD-標準電話機のみでお使いになる場合：
設置と接続について☛P5-13

■使う人を登録したい

UD-標準電話機を使う人を登録しましょう
☛P1-9

■文字の入力方法を知りたい

文字入力のしかた☛P1-27

■簡単に電話をかけたい

ワンタッチダイヤルを使うには☛P2-30
電話帳を使うには☛P2-35
発信／着信履歴を利用するには☛P2-45

■ハンドフリーでお話ししたい

電話をかけるには☛P2-2
電話がかかってきたときは☛P2-12

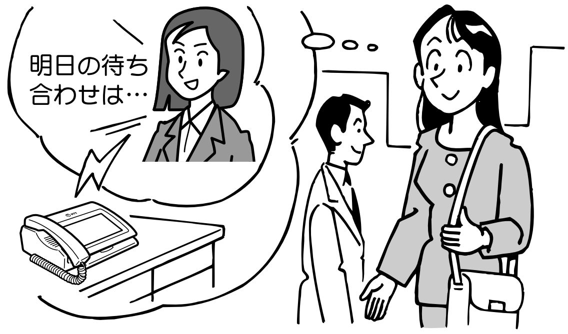
■家族同士で通話したい

他の内線電話機とお話しするには☛P2-52

次ページにつづく▶

用途別索引

■留守番電話を使いたい



留守番電話を使うには☛P2-68

■ひかり電話の便利な付加サービス

ひかり電話の付加サービスを利用するには
☛P2-90

■迷惑電話に困っている

迷惑電話の着信を拒否するには☛P2-96

■相手の声や着信音などが聞こえにくい

「聞こえにくい」を解決するには☛P4-2

■おしらせランプが点滅しているときは？

おしらせランプが点滅しているときは
☛P4-6

■「お知らせ」と表示されているときは？

お知らせ表示が出たときは☛P4-6

● 全体の目次は、「目次」（P9～10）をご覧ください。
●「索引」（P5-16）もあわせてご覧ください。

●UD-標準電話機を使う人を登録しましょう●

「ユーザ」について

「ユーザ」とは、UD-標準電話機の利用者のことです。UD-標準電話機をお使いになる方を、ログイン（☛P1-19）する前の画面や、基本イメージ、携帯イメージの操作画面では「ユーザ」と表記し、シンプルイメージの画面では「利用者」と表記しています。
あらかじめユーザを登録しておくことにより、UD-標準電話機のさまざまな機能を有効に利用できます。

自分専用に登録や調整ができます

ワンタッチダイヤルや電話帳は、ユーザごとに登録できます。また着信音の大きさや受話器から聞こえる声の大きさなど各種の設定も、ユーザごとのデータとして保存されるので、UD-標準電話機を複数の人で使う場合でも、ユーザを切り替えることにより、自分専用の電話のように使うことができます。

他の電話機でもログインできます

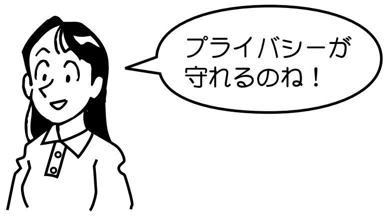
1台のUD-標準電話機を複数のユーザで使い分けるために、この電話機では「ログアウト」／「ログイン」の操作を行うことによってユーザを切り替えることができます。（☛P1-19）
たとえば、いつも自分の部屋のUD-標準電話機にユーザ名「おばあちゃん」でログインしている方が、リビングルームのUD-標準電話機でログインすると、部屋に戻らなくても「おばあちゃん」用の電話帳を使って電話をかけたり、「おばあちゃん」に聞こえやすいように調整した音量でお話しすることができます。

次ページにつづく▶

● UD-標準電話機を使う人を登録しましょう ●

プライバシーが守れます

ユーザごとにパスワード（4桁の数字）を設定することもできます。（☛P1-17）パスワードを設定しておくと、ログインするたびにパスワードの入力が必要になるので、ワンタッチダイヤルや電話帳などの登録内容や発信履歴、着信履歴などのデータを個人のデータとして守ることができます。



登録したユーザ名称がいろいろな画面に表示されます

登録したユーザ名称が表示されるので、わかりやすい名称を登録しておくと、内線電話機どうしでお話し（内線通話）したり、かかってきた電話を他の内線電話機に転送したりするときに便利です。

※ユーザ（UD-標準電話機の利用者）の名称の登録は、UD-標準電話機やUD-主装置のWeb設定で行えます。その他の内線電話機も「内線×」のような内線番号でなく名前などで表示したいときは、UD-主装置のWeb設定で登録を行います。

ログインしているユーザの登録名称
名称を登録していない場合、内線番号が表示されます。

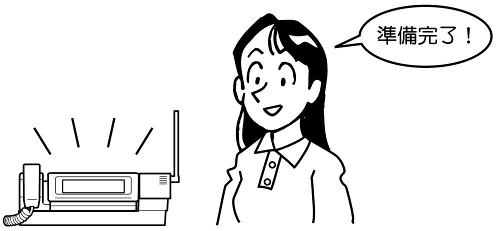
操作画面イメージを確認する

ユーザの設定をする前に、表示されている画面を確認してください。UD-標準電話機のタッチパネルには、次のような画面（基本イメージまたは携帯イメージの待受画面）が表示されていますか？

<基本イメージ待受画面>

<携帯イメージ待受画面>

● 設置、接続から、基本イメージの待受画面を表示させるまで完了していない場合は、UD-主装置の箱に入っている『最初にお読みくださいⓘセットアップガイド』をご覧になり、準備を行ってください。



● UD-標準電話機のみを増設したり、UD-標準電話機をUD-主装置の上に取り付けないでお使いになる場合は、「設置と接続について」（☛P5-13）をご覧になり、設置、接続を行ってください。

● 下のような画面が表示されている場合は、『④シンプルイメージ編』の「UD-標準電話機を使う人を登録しましょう」をご覧ください。

<シンプルイメージ待受画面>

ワンポイント

● **基本イメージまたは携帯イメージの待受画面を表示するには**
「ユーザを選択してください。」という画面が表示されている場合は、次のように操作して、基本イメージまたは携帯イメージの待受画面を表示させてください。
① ユーザ（**[1]** ～ **[8]**）のいずれかにタッチする
② **[基本イメージ]** または **[携帯イメージ]** にタッチする
③ **[登録しない]** にタッチする（すでにユーザ名の登録が完了している場合は、この操作は不要です。）

●UD-標準電話機を使う人を登録しましょう●

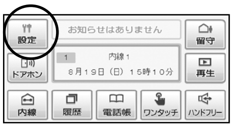
ユーザ名を設定する

「現在のユーザのユーザ名を変更する」（☛下記）では、現在すでにログインしているユーザの名称（お買い求め時：「内線1」～「内線8」）を、わかりやすいユーザ名に変更する操作について説明します。
新しいユーザとしてはじめてログインし、ユーザ名を新規に登録する操作については、「新しいユーザを登録する」（☛P1-14）を参照してください。
タッチパネルに表示されている項目を、指でタッチすると、次の画面に切り替わります。項目を次々にタッチし、必要に応じて文字を入力する操作を行ってください。文字の入力方法は、「文字入力のしかた」（☛P1-27）を参照してください。

現在のユーザのユーザ名を変更する

ユーザ「1」でログインしている場合を例に説明します。ユーザ「1」のお買い求め時のユーザ名称「内線1」を「お父さん」に変更します。

＜基本イメージ＞

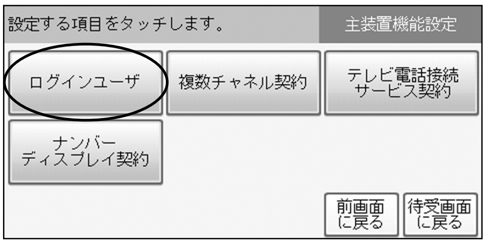


＜携帯イメージ＞

❶ **[設定]** にタッチする

❷ **[▲]** にタッチする

❸ **[主装置機能]** にタッチする



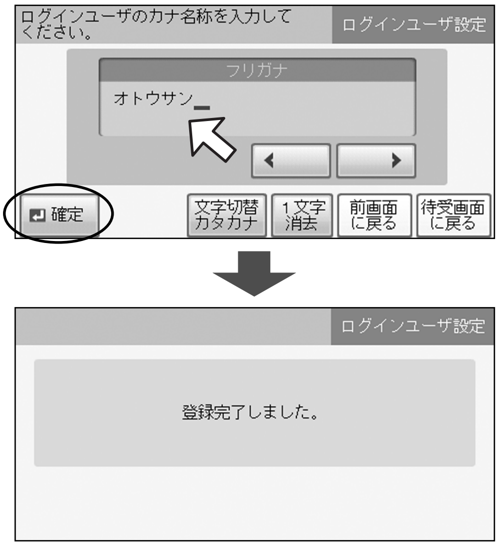
❹ **[ログインユーザ]** にタッチする

❺ **[ログインユーザ名称]** にタッチする

❻ **[1文字消去]** にタッチしてユーザ名を消去する

❼ 登録するユーザ名（6文字まで）を入力し、**[確定]** にタッチする

- 「文字入力のしかた」（☛P1-27）

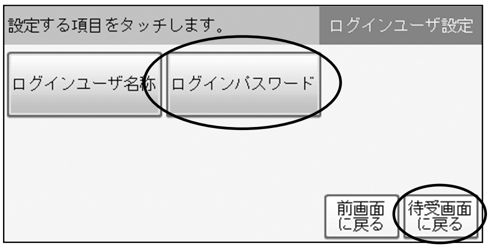


❽ フリガナ（最大20文字）を確認し、**[確定]** にタッチする

- **フリガナを修正するときは**
  ① **[1文字消去]** にタッチして文字を消去する
  ② ダイヤルボタンで文字を入力する（☛「文字入力のしかた」P1-27）

次ページにつづく▶

● UD-標準電話機を使う人を登録しましょう ●



❾ いずれかの項目にタッチする

- **設定を終了して待受画面に戻るときは**
  ［待受画面に戻る］にタッチする
- **続けてパスワードを設定するときは**
  ①**［ログインパスワード］**にタッチする
  ②「パスワードを設定する」（☛P1-17）の手順❻～❽の操作を行う

新しいユーザを登録する

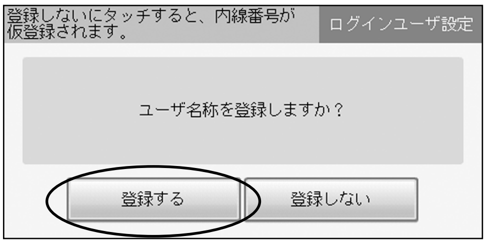
現在のユーザでなく別のユーザの名称を登録するときは、一度ログアウト（現在のユーザとしての利用を終了する操作）をしてから、名称が空白のユーザでログインし直す必要があります。ユーザ「1」～「8」のうち、すでにUD-コードレス電話機などに割り当てられている番号は選択できません。

❶「ログアウトする」（☛P1-23）の操作をする

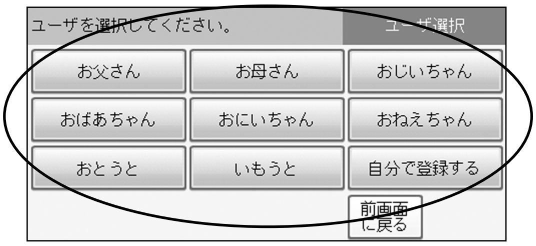
❷ 名称が空白のボタンにタッチする

❸ **［基本イメージ］**または**［携帯イメージ］**にタッチする

操作画面イメージについては、「操作画面イメージ（基本／シンプル／携帯）の選択について」（☛P1-20）を参照してください。

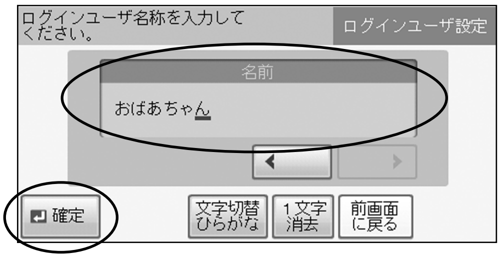


❹ [登録する] にタッチする



❺ 使いたいユーザ名にタッチする

- **そのまま使える名称がないときは**
  修正すれば使える名称にタッチするか、**[自分で登録する]** にタッチする



❻ 必要に応じてユーザ名を修正または入力し、[確定] にタッチする

- 「文字入力のしかた」（☛P1-27）
- **ユーザ名を修正するときは**
  ① **[1文字消去]** にタッチして文字を消去する
  ②ダイヤルボタンで文字を入力する

❼ フリガナ（最大20文字）を確認し、[確定] にタッチする

- **フリガナを修正するときは**
  ① **[1文字消去]** にタッチして文字を消去する
  ②ダイヤルボタンで文字を入力する（☛「文字入力のしかた」P1-27）

<基本イメージ>　　<携帯イメージ>

次ページにつづく▶

UD-標準電話機を使う人を登録しましょう

ワンポイント

● **ユーザ名に登録できる内容は**
・利用者の名称（全角のみで6文字までの漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号）
・フリガナ（全角のみで20文字までのカタカナ、英字、数字、記号）

● **タッチする項目を間違えたときは**
［前画面に戻る］にタッチします。

● **操作を中止して待受画面に戻るときは**
［待受画面に戻る］にタッチします。

● **他のユーザ名を続けて設定したいときは（ログアウトとログイン）**
お使いのUD-標準電話機を使って、他のユーザ名をまとめて設定したいときは、一度ログアウトし、別のユーザとしてログインする必要があります。
1つ目のユーザ登録が終了したら、「ログアウトする」（☛P1-23）の操作を行ってください。
このあと、新しいユーザを登録する場合は「新しいユーザを登録する」（☛P1-14）の手順❷～❼の操作をします。
すでにログインしたことのあるユーザの名称を変更する場合は、「ログインする」（☛P1-21）の操作を行ったあと、「現在のユーザのユーザ名を変更する」（☛P1-12）の操作を行います。

● **手順❸で［ユーザ選択画面に戻る］にタッチして手順❷からやり直すと**
戻る前にタッチしていた内線番号に、UD-標準電話機以外の電話機を登録できなくなります。詳しくは、『②総合編』の「3章 Web設定を行う」「電話の設定をする」の「内線設定」を参照してください。

● **ユーザ名の登録や変更をUD-主装置のWeb設定で行うには**
『②総合編』を参照してください。

お願い

●「しばらくおまちください。」の表示中は、絶対に電源を切らないでください。故障の原因になります。

お知らせ

● ユーザ名のフリガナを空白で登録した場合は、シンプルイメージでご利用のときに、利用者名のかわりに内線番号を音声で読み上げます。

パスワードを設定する

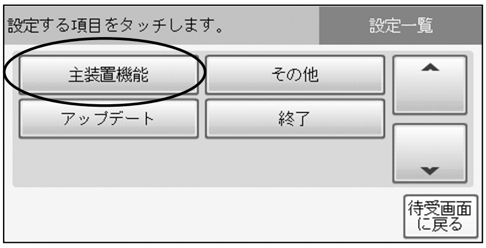
パスワードを設定しておくと、ログインするときにパスワードの入力が必要になります。パスワードを知らない人に自分のユーザ名でログインされるのを防ぐことができます。
お買い求め時には、パスワードは設定されていません。

<基本イメージ>

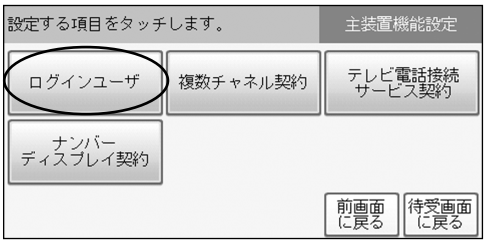
<携帯イメージ>

❶ **[設定]** にタッチする

❷ **[▲]** にタッチする



❸ **[主装置機能]** にタッチする



❹ **[ログインユーザ]** にタッチする

❺ **[ログインパスワード]** にタッチする

次ページにつづく▶

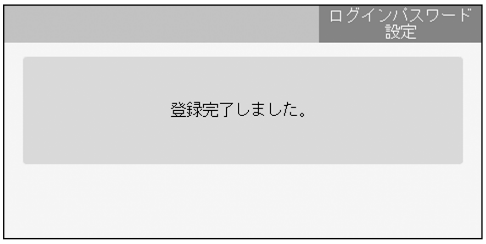
●UD-標準電話機を使う人を登録しましょう●

❻ ダイヤルボタンを押してパスワード（4桁の数字）を入力する

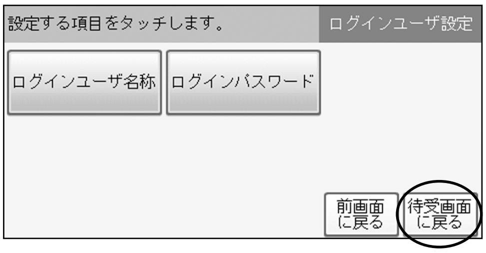
●ダイヤルボタンを押し間違えたときは
［1文字消去］にタッチして数字を消去し、押し直す

●パスワードを設定しないときは
空欄のまま、手順❼に進む

❼ **［確定］**にタッチする



●パスワードを空欄にしたときは
「パスワードの登録を解除しました。」と表示されます。



❽ **［待受画面に戻る］**にタッチする

待受画面に戻ります。

ワンポイント

● タッチする項目を間違えたときは
［前画面に戻る］にタッチします。

● 操作を中止して待受画面に戻るときは
［待受画面に戻る］にタッチします。

● パスワードを解除したいときは
① 手順❶～❺の操作をする
② **［1文字消去］**に繰り返しタッチしてパスワードを全桁消去する
③ 手順❼～❽の操作をする

● パスワードを忘れたときは
『②総合編』の「3章　Web設定を行う」の「ログインユーザパスワード」を参照し、確認してください。

お知らせ

● パスワードは第三者に知られることのないようご注意ください。また、定期的に変更することをおすすめします。

ユーザとして電話機が使える状態にする（ログイン）

電話をかけたり受けたりするときも、各種の設定を変更するときも、ユーザを選んでログインしている必要があります。

「ログイン」／「ログアウト」とは

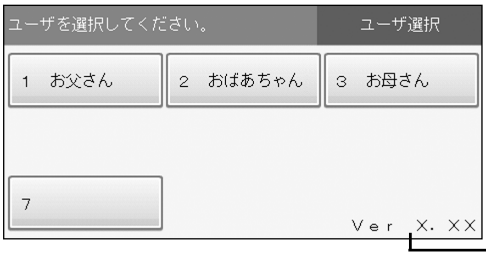
UD-標準電話機から電話が使える状態にすることを「ログイン」といいます。また、利用を終了することを「ログアウト」といいます。

■ご注意ください！

ログアウト状態のUD-標準電話機では、発信をはじめとする電話の利用が一切できません。また、どこからも電話を受けることができません。

ログアウト状態（どのユーザもログインしていない）のUD-標準電話機には、次のような「ユーザ選択画面」が表示されています。

<ユーザ選択画面例>



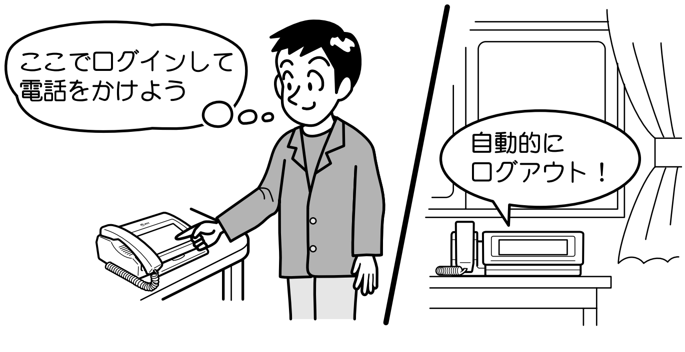
内線1〜3　：ユーザ（UD-標準電話機を利用する人）が登録されている
内線4〜6、8：UD-標準電話機以外の電話機が登録されているため非表示
内線7　：ユーザが登録されていない
ソフトウェアのバージョン

電話を使うには、ユーザにタッチして（パスワードを設定している場合は、そのあとパスワードを入力して）ログインする必要があります。
また、だれかがログインしているときに別のユーザがログインするには、ログアウトの操作を行って現在のユーザの利用を終了し、ユーザ選択画面からログインし直す必要があります。

■ご注意ください！

いずれかのUD-標準電話機でログインしているユーザが、別のUD-標準電話機でログインすると、先にログインしていたUD-標準電話機が自動的にログアウト状態になります。ログアウト状態のUD-標準電話機は、再度ログイン操作を行うまで利用できなくなります。

先にログインしていたUD-標準電話機が設定中の場合は、設定内容が保存されません。また、先にログインしていたUD-標準電話機の発信／着信履歴（☛P2-45）がUD-主装置に保存されません。



ログイン状態のUD-標準電話機が使用中（通話中、発信中、着信中など）だった場合は、ログインしようとしたUD-標準電話機に「選択したユーザは使用中のため利用できません。」と表示され、ログインできません。

ワンポイント

● **［ログアウト状態の端末があります］**のお知らせ情報について
UD-標準電話機がログアウトすると、ログイン中のUD-標準電話機の待受画面に**［お知らせ］**が表示されます。**［お知らせ］**にタッチしたときに**［ログアウト状態の端末があります］**のお知らせ情報が表示されていたときは、確認操作（☛P4-7）を行ってください。

ユーザとして電話機が使える状態にする（ログイン）

操作画面イメージ（基本／シンプル／携帯）の選択について

ログインするときには、次のような「操作画面選択」の画面が表示されます。

3種類の中から操作画面イメージを選ぶと、待受画面が表示され、ログインが完了します。どの操作画面イメージを選ぶかによって、操作のしかたや使える機能が次のように異なります。

操作画面 / 比較項目	基本イメージ	携帯イメージ	シンプルイメージ
待受画面			
タッチ項目の表現（例：発信履歴を表示させる場合のタッチ項目）	短い語句で表現されている <例> **［履歴］→［発信履歴］**	短い語句で表現されている <例> **［発信履歴］**	文で表現されている <例> **［電話を使う］→［発信履歴の内容を見る］**
操作を音声でガイドする「音声読み上げ」	利用できない		利用できる
ハンドフリー通話	できる		できない
ワンタッチダイヤルの登録数	10件		3件
イメージ選択のヒント	選択項目が簡潔な語句で表示され、直感的に操作できます。携帯電話やタッチパネルなどの操作に慣れた方におすすめです。また、ハンドフリー通話を利用したい場合にも、こちらを選択してください。		画面に表示される説明文を読みながら操作できます。また、音声読み上げ機能も利用できます。 ガイドに従って操作したい方におすすめです。

ワンポイント

● **基本イメージと携帯イメージの違いは**

待受画面のデザインとタッチ項目の一部が異なります。

携帯イメージの待受画面には、タッチ項目として **［発信履歴］** と **［着信履歴］** が別々に表示されます。基本イメージでは、まとめて **［履歴］** と表示されます。たとえば基本イメージで発信履歴を表示させる場合は、待受画面の **［履歴］** にタッチし、次の画面で **［発信履歴］** にタッチします。

上記の操作を除き、基本イメージと携帯イメージの操作画面は共通です。

ログインする

すでにだれかがログインしている場合は、「ログアウトする」（☛P1-23）の操作を行ってからこの操作をしてください。

❶ ユーザにタッチする

● **パスワードを設定していないときは**
このあと、手順❹に進む

❷ ダイヤルボタンを押してパスワード（4桁の数字）を入力する

● **ダイヤルボタンを押し間違えたときは**
［1文字消去する］にタッチして数字を消去し、押し直す

❸ ［確定する］にタッチする

次ページにつづく▶

ユーザとして電話機が使える状態にする（ログイン）

❹ **[基本イメージ]** または **[携帯イメージ]** にタッチする

＜基本イメージ＞

＜携帯イメージ＞

ワンポイント

● **操作を中止してユーザ選択画面に戻るときは**
[ユーザ選択画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチするとユーザ選択画面に戻ります。

● **他のUD-標準電話機でログインしているユーザがログイン操作を行うと**
ログインしていたUD-標準電話機が自動的にログアウト状態になり、操作を行ったUD-標準電話機でログイン状態となります。
先にログインしていたUD-標準電話機が設定中の場合、設定内容が保存されません。また、先にログインしていたUD-標準電話機の発信／着信履歴（☛P2-45）がUD-主装置に保存されません。
ログイン状態のUD-標準電話機が使用中（通話中、発信中、着信中など）だった場合は、ログインしようとしたUD-標準電話機に「選択したユーザは使用中のため利用できません。」と表示され、ログインできません。

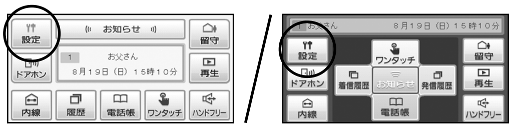
お願い

●「しばらくおまちください。」の表示中は、絶対に電源を切らないでください。故障の原因になります。

ログアウトする

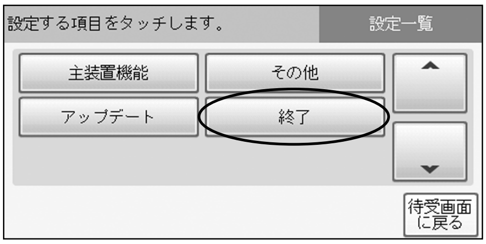
だれかがログインしているときに別のユーザがログインするには、この操作をしていったんログアウト状態にする必要があります。

＜基本イメージ＞　＜携帯イメージ＞



❶ **[設定]** にタッチする

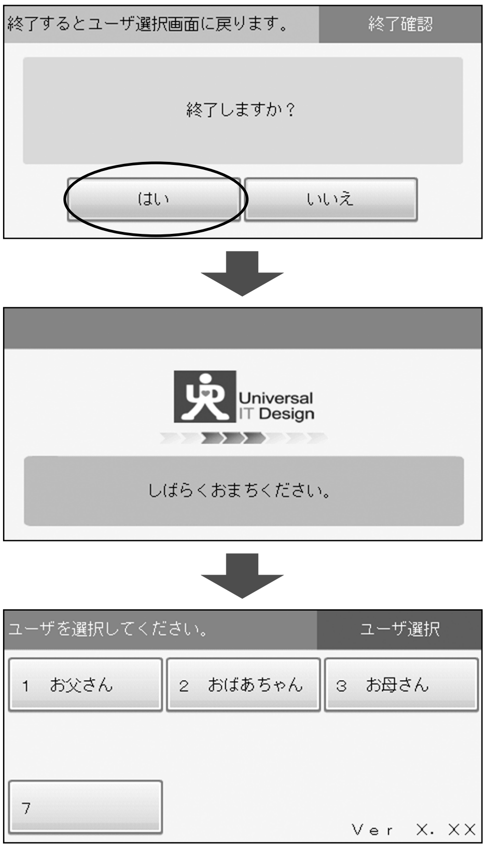
❷ **[▲]** にタッチする



❸ **[終了]** にタッチする

次ページにつづく▶

ユーザとして電話機が使える状態にする（ログイン）



❹［はい］にタッチする

ワンポイント

- **待受画面に戻るには**
  ［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- **ログアウト状態のUD-標準電話機の動作は**
  外線、内線にかかわらず、電話の発信や着信が一切できません。110番、119番、118番へ電話をかけることはできません。110番、119番、118番などからの緊急着信のときも、着信しません。
- **［ログアウト状態の端末があります］**のお知らせ情報について（☛P4-7）

お願い

- 「しばらくおまちください。」の表示中は、絶対に電源を切らないでください。故障の原因になります。

使いやすいように調整しましょう

多くの設定は、各ユーザのお好みに合わせて変更できます。変更した内容は、そのユーザ独自の設定として保存されるので、一台のUD-標準電話機を複数のユーザで使用する場合でも、自分好みに調整した状態でご利用になれます。
ここではキータッチ音の設定を変更する操作について説明します。
このほか、着信音や受話器から聞こえる相手の声を調整することもできます。「『聞こえにくい』を解決するには」（☛P4-2）を参照してください。

ボタンやタッチの音を鳴らすかどうかを設定する（キータッチ音）

ダイヤルボタンを押したり、タッチ項目にタッチしたりすると、1回ごとに「ピッ」という音が鳴ります。お買い求め時は「鳴る」に設定されています。「鳴らない」に変更することもできます。

<基本イメージ>

<携帯イメージ>

❶ **［設定］**にタッチする

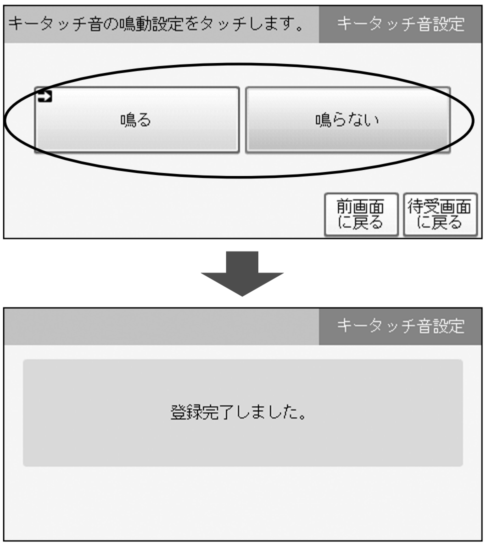
❷ ［ ▲ ］にタッチする

❸ **［その他］**にタッチする

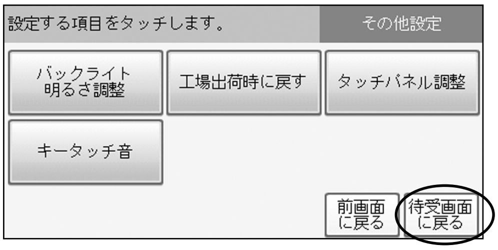
❹ **［キータッチ音］**にタッチする

次ページにつづく▶

使いやすいように調整しましょう



❺ **［鳴る］** または **［鳴らない］** にタッチする



❻ **［待受画面に戻る］** にタッチする

待受画面に戻ります。

ワンポイント

● 1つ前の画面に戻るには
［前画面に戻る］ が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

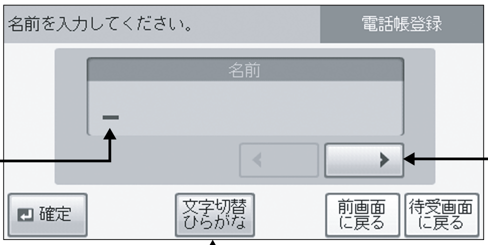
お知らせ

● キータッチ音の音量は調整できません。
● 設定にかかわらず、通話中や発信中、着信中、保留中にはキータッチ音は鳴りません。
● ダイヤルボタン操作やタッチパネル操作が無効のときは、操作を行ってもキータッチ音が鳴りません。
● 下記の場合は、設定が中止されます。
・ 設定中に外線または内線で電話がかかってきたとき
・ 設定中にドアホンからの呼び出しがあったとき
・ 設定中に他のUD-標準電話機などが共通保留（☛P2-24）をしたとき

文字入力のしかた

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号を入力できます。

＜例：電話帳の名前の入力画面＞



カーソル

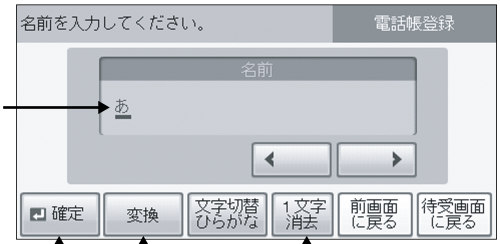
タッチするとカーソルが右に移動する

ここにタッチすると、入力できる文字が切り替わる

ひらがな（漢字・ひらがな）→カタカナ→英字→数字

上記の画面でダイヤルボタン（1 ぁ）を1回押すと、次の状態になります。

＜例：（1 ぁ）を1回押した状態の画面＞

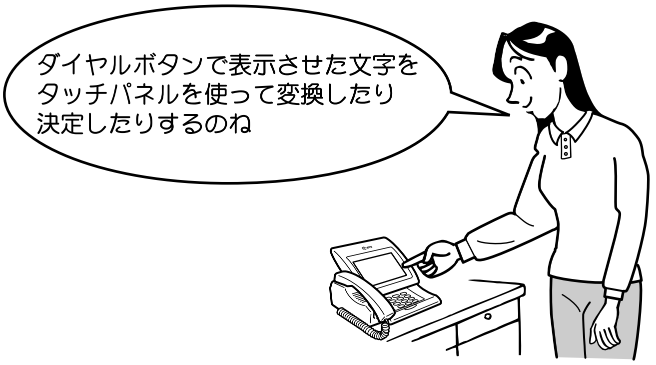


押したダイヤルボタンに割り当てられている文字が表示される

表示されている文字に決定するときは、ここにタッチする

入力した文字を変換するときは、ここにタッチする

タッチするごとに1文字ずつ消去される



※数字の入力画面では、ダイヤルボタンを1回押しただけで確定されます。

ワンポイント

● 待受画面に戻るには
［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
［前画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

文字入力のしかた

文字入力表

1つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられており、押す回数によって表示される文字が変わります。たとえば、ひらがなの文字入力画面で(1 ぁ)を押すと、ボタンを押すたびに文字が「あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ」と切り替わり、もう一度押すと「あ」に戻ります。
各ボタンに割り当てられている文字は、次の通りです。

入力画面／ダイヤルボタン	ひらがな	カタカナ	英字	数字
(1 ぁ)	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	—	1
(2 か ABC)	かきくけこ	カキクケコ	abcABC	2
(3 さ DEF)	さしすせそ	サシスセソ	defDEF	3
(4 た GHI)	たちつてとっ	タチツテトッ	ghiGHI	4
(5 な JKL)	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL	5
(6 は MNO)	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
(7 ま PQRS)	まみむめも	マミムメモ	pqrsPQRS	7
(8 や TUV)	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	tuvTUV	8
(9 ら WXYZ)	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ	9
(0 わ)	わをん	ワヲン	—	0
(＊ ゛゜)	゛ ゜（濁点、半濁点を付ける）		—	＊
(# 記号)	スペース ？！＿ー／（）￥＃＆＊		スペース ？！＿—／ （）￥＃＆＊	#

ワンポイント

● **続けて同じボタンの文字を入力するには**
【▶】にタッチしてカーソルを右に移動してからダイヤルボタンを押します。

● **濁点や半濁点の付いた文字を入力するには**
ダイヤルボタンを押して濁点や半濁点が付く文字を入力したあと、(＊ ゛゜)を押します。
「が」を入力するとき：(2 か ABC)を1回、(＊ ゛゜)を1回押す
「ぽ」を入力するとき：(6 は MNO)を5回、(＊ ゛゜)を2回押す

● **カタカナの「ー」を入力するには**
「サークル」の「ー」のような伸ばす音の記号を入力するときは、ひらがな、またはカタカナの入力画面で(# 記号)を5回押します。

● **スペース（空き）を入力するには**
文字入力画面の【▶】にタッチします。数字以外の入力画面では、(# 記号)を1回押してもスペースを入力できます。

お知らせ

● カタカナの「ヴ」は入力できません。

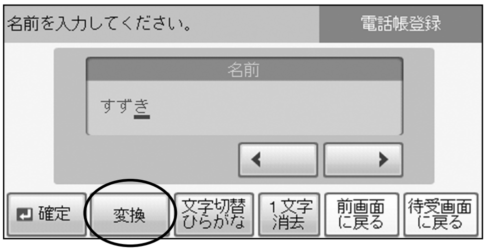
漢字・ひらがなを入力する

漢字やひらがなは、**［文字切替 ひらがな］**が表示されている入力画面で入力します。漢字を入力するときは、ひらがなで入力した文字を**［変換］**にタッチして変換します。

＜例＞電話帳の名前の入力画面で「鈴木」と入力する場合

❶ 目的の文字が割り当てられているダイヤルボタンを押してひらがなを入力する

- **「すずき」と入力するときは**
  ①「す」：3 を3回押す
  ② カーソルを右に移動：［▶］にタッチする
  ③「ず」：3 を3回押し、＊ を1回押す
  ④「き」：2 を2回押す
- **ダイヤルボタンを押し間違えたときは**
  ① **［1文字消去］**にタッチして文字を消去する
  ② ダイヤルボタンを押し直す
- **ひらがなのまま確定するときは**
  ［確定］にタッチする



❷ ［変換］にタッチする

- **目的の変換候補が表示されなかったときは**
  目的の変換候補が表示されるまで、**［変換］**に繰り返しタッチする
- **目的の変換候補を過ぎてしまったときは**
  ①変換中に**［1文字消去］**にタッチして変換開始前の状態に戻る
  ②**［変換］**にタッチして最初の変換候補から表示させる

❸ ［確定］にタッチする

❹ 文字入力が終了したら、［確定］にタッチする

次ページにつづく▶

文字入力のしかた

ワンポイント

● 文字を消去するには
【1文字消去】 が表示されているときは、これにタッチするとカーソル位置の文字が消去されます。**【◀】／【▶】** にタッチして消去したい文字にカーソルを移動して、**【1文字消去】** にタッチしてください。
文字の右側にカーソルがあるときに **【1文字消去】** にタッチすると、カーソルの左側の文字が消去されます。

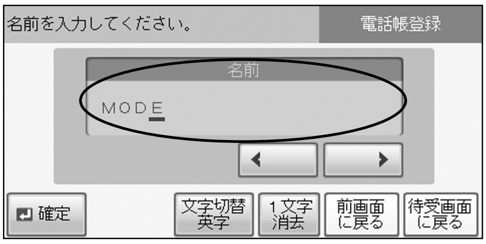
カタカナ・英字を入力する

［文字切替］を繰り返し押して、カタカナまたは英字の入力画面に切り替えてください。

＜例＞電話帳の名前の入力画面で「MODE」と入力する場合

❶ ［文字切替 ひらがな］にタッチする

❷ ［文字切替 カタカナ］にタッチする



❸ 目的の文字が割り当てられているダイヤルボタンを押して入力する

●「MODE」と入力するときは

① 「M」：6(はMNO)を4回押す
② カーソルを右に移動：［▶］にタッチする
③ 「O」：6(はMNO)を6回押す
④ 「D」：3(さDEF)を4回押す
⑤ カーソルを右に移動：［▶］にタッチする
⑥ 「E」：3(さDEF)を5回押す

❹ ［確定］にタッチする

❺ 文字入力が終了したら、［確定］にタッチする

文字入力のしかた

数字を入力する

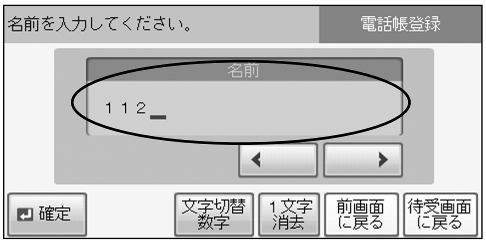
[文字切替] を繰り返し押して、数字の入力画面に切り替えてください。数字は、ダイヤルボタンを1回押して入力すると同時に確定されます。

＜例＞電話帳の名前の入力画面で「112」と入力する場合

❶ [文字切替 ひらがな] にタッチする

❷ [文字切替 カタカナ] にタッチする

❸ [文字切替 英字] にタッチする



❹ ダイヤルボタンを押して数字を入力する

- 「112」と入力するときは
  1ぁ 1ぁ 2かABC を押す

❺ 文字入力が終了したら、[確定] にタッチする

ワンポイント

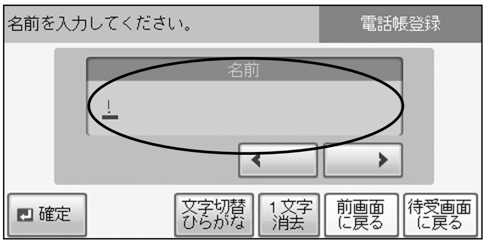
● **数字の入力画面で「＊」／「#」を入力するには**
（＊゛゜）／（# 記号）を押します。数字の入力画面でその他の記号やスペースを入力することはできません。

● **スペースを入力するには**
【▶】にタッチしてカーソルを右に移動します。

記号を入力する

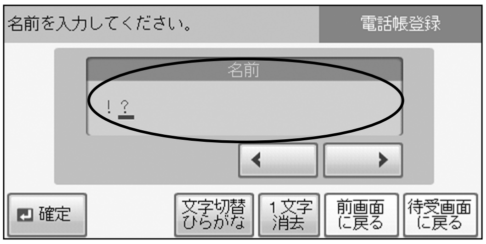
記号は、ひらがな、カタカナ、英字のいずれかの入力画面で(# 記号)を繰り返し押して入力します。「？」、「！」など11種類の記号と、スペースを入力できます。（☛P1-28）

＜例＞電話帳の名前の入力画面で「！？」と入力する場合



❶ (# 記号)を3回押して「！」を入力する

❷ ［ ▶ ］にタッチしてカーソルを右に移動する



❸ (# 記号)を2回押して「？」を入力する

❹ **［確定］**にタッチする

❺ 文字入力が終了したら、**［確定］**にタッチする

注意！
付加サービスの設定をご確認ください

ひかり電話の次の付加サービスを契約された場合は、UD-標準電話機またはUD-主装置のWeb設定での設定が必要です。

・ダブルチャネルサービス／複数チャネルサービス
・テレビ電話接続サービス
・ナンバー・ディスプレイ

ご契約がお済みでも、正しく設定を行っていないと、サービスを利用した機能をお使いになれません。

設定が必要な付加サービスについては、「ひかり電話の付加サービスを利用するには」（☛P2-90）を参照してください。
また、UD-標準電話機またはUD-主装置のWeb設定でご契約に合わせた設定を行ってください。

● UD-標準電話機で設定するには
「サービス契約の設定をする」（☛P2-95）を参照してください。

● UD-主装置のWeb設定で設定するには
『②総合編』を参照してください。

第2章

使いかた

電話をかけるには 2-2

電話がかかってきたときは..2-12

通話中の操作 2-21

ワンタッチダイヤルを使うには 2-30

電話帳を使うには 2-35

発信／着信履歴を利用するには 2-45

他の内線電話機とお話しするには（内線通話）.........2-52

電話を取り次ぐには（保留転送）...............................2-58

かかってきた電話を自動的に転送させるには
（転送でんわ）..2-64

留守番電話を使うには...2-68

ひかり電話の付加サービスを利用するには...............2-90

迷惑電話の着信を拒否するには 2-96

ドアホン（別売）を利用するには 2-101

電話をかけるには

受話器を使ってお話しするだけでなく、受話器を置いたままハンドフリーでお話しすることもできます。

この画面（基本イメージまたは携帯イメージの待受画面）から操作します。

＜基本イメージ＞

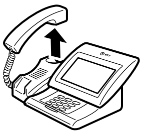
＜携帯イメージ＞

● **ユーザ選択画面（☛P1-19）から操作するときは**
ユーザ名にタッチ→（パスワードを入力→**［確定する］**にタッチ）→**［基本イメージ］**または**［携帯イメージ］**にタッチして、この画面を表示させてください。

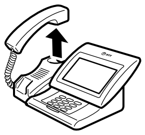
● **タッチパネルが消灯しているときは**
タッチパネルにタッチするか受話器を取りあげると、点灯します。受話器を取りあげたときは、電話番号の入力画面が表示されるので、そのまま操作してください。

電話をかけるときは、次のように操作します。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

電話番号を押してかける　☛P2-5

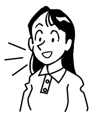
 ▶ 電話番号を押す ▶

受話器を置いたまま電話番号を押す

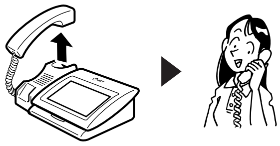
電話番号を押す※ ▶  ▶

※：タッチパネルが消灯しているときは、電話番号を押すと点灯します。

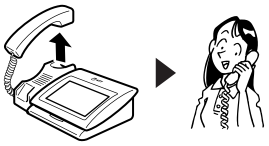
ハンドフリーでかける　☛P2-6

［ハンドフリー］ ▶ 電話番号を押す ▶  ▶ 終了したら **［切る］**

ワンタッチダイヤルでかける ☛P2-8

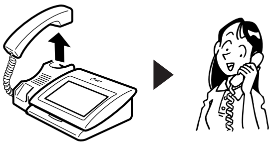
［ワンタッチ］ ▶ 目的の相手先に ▶ 

前にかけた電話番号にかける ☛P2-48

［履歴］※ ▶ **［発信履歴］** ▶（必要に応じて **［▲］**／**［▼］**）▶ 目的の発信履歴に ▶ 

※：携帯イメージの待受画面から操作する場合、この操作は不要です。

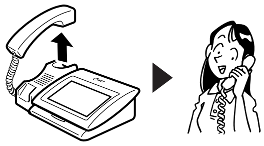
かけてきた相手にかける ☛P2-48

［履歴］※ ▶ **［着信履歴］** ▶（必要に応じて **［▲］**／**［▼］**）▶ 目的の着信履歴に ▶ 

※：携帯イメージの待受画面から操作する場合、この操作は不要です。

電話帳を使う（フリガナで探す） ☛P2-9

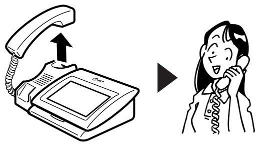
［電話帳］ ▶（必要に応じて **［検索方法選択］** ▶ **［フリガナ検索］**）▶ 行に ▶（必要に応じて **［▲］**／**［▼］**）▶

名前に ▶（必要に応じて **［電話番号2］**／**［電話番号3］**）▶ 

電話帳を使う（グループで探す） ☛P2-9

［電話帳］ ▶（必要に応じて **［検索方法選択］** ▶ **［グループ検索］**）▶ グループに ▶

（必要に応じて **［▲］**／**［▼］**）▶ 名前に ▶（必要に応じて **［電話番号2］**／**［電話番号3］**）▶

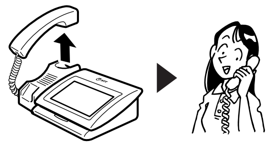


次ページにつづく▶

電話をかけるには

電話帳を使う（メモリ番号で探す） ☛P2-9

[電話帳] ▶ （必要に応じて **[検索方法選択]** ▶ **[メモリ番号検索]**）▶ 該当する範囲に ▶ （必要に応じて **[▲]** ／ **[▼]**）▶ 名前に ▶ （必要に応じて **[電話番号2]** ／ **[電話番号3]**）▶



ワンポイント

- **電話番号を入力するには**
  ダイヤルボタンを押します。タッチパネルに電話番号の入力画面が表示されているときは、タッチパネルの数字にタッチしても入力できます。
- **ハンドフリーでのお話しに切り替えるには**
  受話器を取りあげての発信中または通話中に、**[ハンドフリー]** にタッチして受話器を戻し、マイクに向かってお話しします。**[ハンドフリー]** にタッチしたあと受話器を戻さなくてもハンドフリーでお話しできますが、相手が電話を切ったときに「プープー…」いう話中音が受話器から聞こえます。
- **マイクの位置は**
  マイクとの距離は、約50cmを目安としてお話しください。
- **受話器でのお話しに切り替えるには**
  ハンドフリーで発信中または通話中に、受話器を取りあげます。
- **電話をかけるときに相手に通知する電話番号を設定するには**
  最大5つの電話番号を使い分けられるマイナンバーサービスまたは追加番号サービスをご利用の場合に、相手に通知する電話番号をあらかじめ設定しておくことができます。（☛P3-3）

- **通話時間の表示について**
  通話時間は「時：分：秒」と表示されます。相手が応答した時点で「00:00:00」からスタートします。最大23時間59分59秒「23:59:59」まで表示されます。24時間以上経過した場合は、「23:59:59」のままです。

お知らせ

- 表示される通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
- ダイヤルボタンがあたたかい場合がありますが、故障ではありません。内部に発熱するところがあるため、多少温度が上がります。

電話番号を押してかける

電話番号のメモなどを見ながら電話をかけ、受話器でお話しするときの手順です。

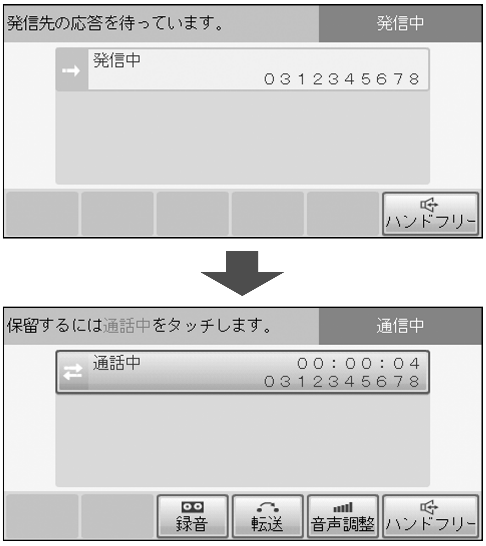
❶ 受話器を取りあげる

「ツー」という音を確認してください。

❷ ダイヤルボタンを押すか、タッチパネルにタッチして電話番号を入力する

● **電話番号を押し間違えたときは**
［1文字消去］にタッチして数字を消去し、入力し直す

● **電話番号を押したあと急いで発信したいときは**
［発信］にタッチする



❸ 相手につながったら、お話しする

❹ お話しが終わったら、受話器を戻す

ワンポイント

● **発信を開始するまでの秒数を変更するには**
お買い求め時には、ダイヤルボタンを押してから約4秒経過すると発信が開始されるように設定されています。この秒数（桁間タイマ）を、3～7秒の間で変更できます。（☛P3-3）早く発信したいときは桁間タイマを短く、電話番号をゆっくり押したいときには長く設定してください。

お知らせ

● 手順❷で、電話番号のあとに「#」を入力しても、すぐに発信します。
● 手順❶、❷のときに、ドアホンから呼び出された場合は、発信が中止されます。
● 手順❶、❷のときに、外線で電話がかかってきた場合は、このUD-標準電話機は着信表示をしません。
● 手順❶、❷のときに、他の内線電話機が共通保留（☛P2-24）の操作をした場合は、このUD-標準電話機は共通保留の表示をしません。

電話をかけるには

ハンドフリーでかける

受話器を持たずに、スピーカとマイクを使ってお話しします。マイクからの距離は、約50cmが目安です。
周囲が騒がしいときは、マイクに近づいてお話しください。

<基本イメージ>

<携帯イメージ>

❶［ハンドフリー］にタッチする

「ツー」という音を確認してください。

❷ダイヤルボタンを押すか、タッチパネルにタッチして電話番号を入力する

- **電話番号を押し間違えたときは**
  ［1文字消去］にタッチして数字を消去し、入力し直す
- **電話番号を押したあと急いで発信したいときは**
  ［発信］にタッチする
- **発信を中止するときは**
  ［切る］にタッチする

❸相手につながったら、マイクに向かってお話しする

- **途中で受話器を使ったお話しに切り替えるときは**
  受話器を取りあげてお話しする

❹お話しが終わったら、**［切る］**にタッチする

ワンポイント

● **発信を開始するまでの秒数を変更するには**
お買い求め時には、ダイヤルボタンを押してから約4秒経過すると発信が開始されるように設定されています。この秒数（桁間タイマ）を、3〜7秒の間で変更できます。（☛P3-3）早く発信したいときは桁間タイマを短く、電話番号をゆっくり押したいときには長く設定してください。

お知らせ

● 手順❷で、電話番号のあとに「#」を入力しても、すぐに発信します。
● 手順❶、❷のときに、ドアホンから呼び出された場合は、発信が中止されます。
● 手順❶、❷のときに、外線で電話がかかってきた場合は、このUD-標準電話機は着信表示をしません。
● 手順❶、❷のときに、他の内線電話機が共通保留（☛P2-24）の操作をした場合は、このUD-標準電話機は共通保留の表示をしません。

電話をかけるには

ワンタッチダイヤルでかける

よくかける電話番号（10件まで）を、あらかじめワンタッチダイヤルに登録しておいてください。
（☛P2-32）

<基本イメージ>

<携帯イメージ>

❶ **［ワンタッチ］** にタッチする

❷ 目的のワンタッチにタッチする

❸ 受話器を取りあげ、相手につながったらお話しする

●**ハンドフリーでお話しするときは**
受話器を取りあげずにそのまま待ち、相手につながったらマイクに向かってお話しする

❹ お話しが終わったら、受話器を戻すか、**［切る］** にタッチする

電話帳を使ってかける

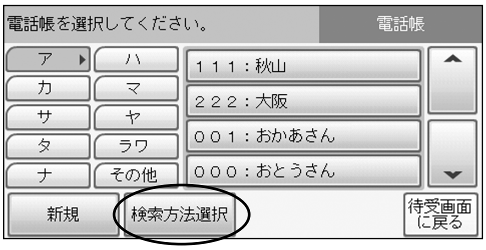
よくかける電話番号を、あらかじめ電話帳に登録しておいてください。(☛P2-37)
目的の電話帳（名前）を探す方法には、フリガナ検索、グループ検索、メモリ番号検索の3通りがあります。
選択した検索方法は現在のユーザの設定として保存され、次回からもその方法の検索画面が表示されます。

<基本イメージ>

<携帯イメージ>

❶［電話帳］にタッチする

電話帳の検索画面が表示されます。検索方法を変更する必要がない場合は、手順❹に進みます。



❷［検索方法選択］にタッチする

❸ 目的の検索方法にタッチする

- **フリガナで探すときは**
  ［フリガナ検索］にタッチする
- **グループの中から探すときは**
  ［グループ検索］にタッチする
- **メモリ番号で探すときは**
  ［メモリ番号検索］にタッチする

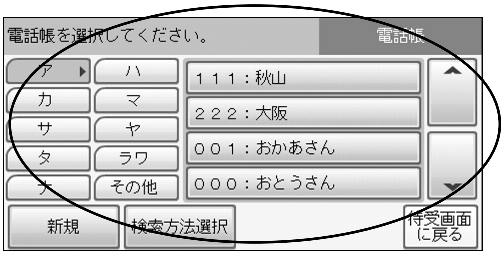
ワンポイント

- **手順❶のあとに表示される画面は**
  前回選択した電話帳の検索画面が表示されます。
  前回「グループ検索」を選択したときは、右のような画面が表示されます。

次ページにつづく▶

電話をかけるには

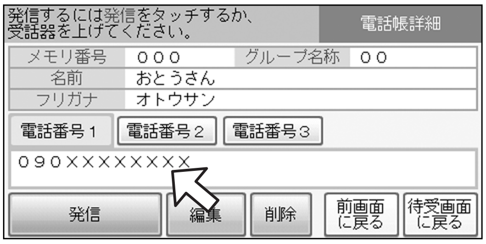
❹ 電話帳を探す



● **フリガナで探すときは**
①名前の1文字目の行（**[ア]**～**[その他]**）にタッチする
②目的の電話帳（名前）が表示されていないときは**[▲]**／**[▼]**にタッチして表示させ、目的の名前にタッチする

● **グループの中から探すときは**
①グループにタッチする
②目的の電話帳（名前）が表示されていないときは**[▲]**／**[▼]**にタッチして表示させ、目的の名前にタッチする

● **メモリ番号で探すときは**
①該当する範囲にタッチする
②目的の電話帳（名前）が表示されていないときは**[▲]**／**[▼]**にタッチして表示させ、目的の名前にタッチする



❺ 表示されている電話番号を確認し、受話器を取りあげる

● **同じ名前で登録されている別の電話番号にかけるときは**
①**[電話番号1]**～**[電話番号3]**のいずれかにタッチして、目的の電話番号を表示させる
②受話器を取りあげる

● **ハンドフリーでかけるときは**
[発信]にタッチする

❻ 相手につながったら、お話しする

●ハンドフリーでかけたときは
相手につながったら、マイクに向かってお話しする

❼ お話しが終わったら、受話器を戻すか、**［切る］**にタッチする

ワンポイント

● **フリガナ検索時に文字を入力して絞り込むには**
手順❹で次のように操作します。文字の入力方法については「文字入力のしかた」（☛P1-27）を参照してください。

① ダイヤルボタンでフリガナを入力し（絞り込みの画面が表示される）、**［確定］**にタッチする
② 目的の電話帳（名前）が表示されていないときは【▲】／【▼】にタッチして表示させ、目的の名前にタッチする

● **メモリ番号での検索時に番号を入力して絞り込むには**
メモリ番号を1～3桁入力することにより、番号を絞り込むことができます。たとえば、「1」を入力すると100番台、「12」を入力すると120番台の電話帳に絞り込めます。「123」を入力すると、メモリ番号「123」の電話帳を検索できます。
メモリ番号での検索時に、手順❹で該当する範囲にタッチするかわりに次のように操作します。

① ダイヤルボタンでメモリ番号を入力し（絞り込みの画面が表示される）、**［確定］**にタッチする
- ・1桁目に「5」～「9」を入力したときは、**［確定］**が表示されません。
- ・1桁または2桁入力したときに該当する電話帳がない場合は、電話帳（～049）を表示します。
- ・3桁入力したときに該当する電話帳がない場合は、入力した番号を含む範囲の電話帳を表示します。
  たとえば、「160」を入力したときに該当する電話帳がない場合は、電話帳（～199）を表示します。

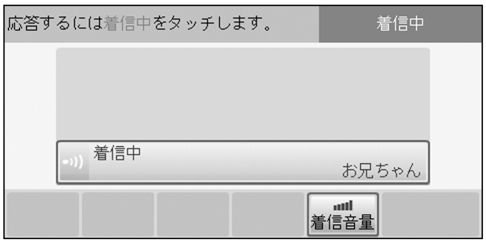
② 目的の電話帳（名前）が表示されていないときは【▲】／【▼】にタッチして表示させ、目的の名前にタッチする

電話がかかってきたときは

電話がかかってくると、着信音が鳴り、タッチパネルに「着信中」と表示されます。外からかかってきたときも内線からかかってきたときも、電話の受けかたは同じです。
ナンバー・ディスプレイをご利用になると、電話をかけてきた相手の情報がディスプレイに表示されるので、相手を確認してから電話に出ることができます。

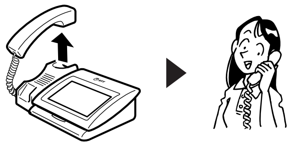
<例：電話帳やワンタッチダイヤルに登録されている電話番号からかかってきたとき>

<例：他の内線電話機からかかってきたとき>

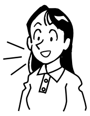


電話を受けるには、次のように操作します。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

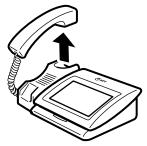
電話を受ける　☛P2-15



ハンドフリーで電話を受ける　☛P2-16、2-57

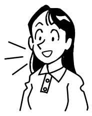
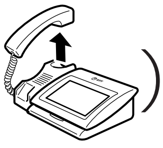
[着信中] ▶  ▶ 終了したら **[切る]**

留守番電話で応答する（居留守応答）　☛P2-17

[留守応答] （▶ 電話に出るときは、用件メッセージ録音中に  ▶ ）

※ 居留守応答すると、居留守応答した番号に留守番電話（☛P2-68）が設定されます。

他の電話機への電話を受ける（代理応答）　☛P2-20

[内線] ▶ 「着信中」と表示されている内線に ▶  （受話器でお話しするときは ）

外の相手との通話中に他の電話がかかってきたときは、受話器から「プップッ、プップッ…」という通話中着信音が聞こえ、タッチパネルに「着信中」と表示されます。通話中の相手とのお話しを保留してあとからの電話を受けたり、あとからの電話を留守番電話で受けて、前の方との通話を続けたりできます。

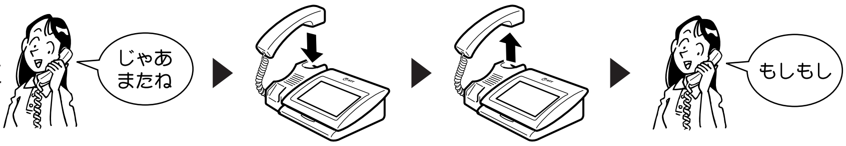
通話中に他の電話がかかってきたときは、次のように操作します。
〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

通話を保留にして、あとからかかってきた電話を受ける ☛P2-18

通話中の相手に

通話中の電話を切って、あとからの電話を受ける

通話中の相手に



あとからの相手に留守番電話で応答し、通話を続ける ☛P2-19

通話を続けながら **[留守応答]**

※ あとからの相手に留守番電話で応答すると、留守番電話で応答した番号に留守番電話（☛P2-68）が設定されます。

次ページにつづく▶

電話がかかってきたときは

ワンポイント

● **着信音量の大きさを調整するには**
着信中に着信音の大きさを調整できます。「切」にして、着信音を消すこともできます。調整した音量は、現在のユーザの設定として、電話を切ったあとも保存されます。
次のように操作します。
① 着信中に、**[着信音量]** にタッチする
② **[音量小]** ／ **[音量大]** にタッチして音量を調整する
そのまま受話器を取りあげると、電話に出られます。
待受画面から着信音量を調整することもできます。(☛P3-4)

● **着信音を変えるには**
着信音をお好みのベル音やメロディから選択できます。(☛P3-4、3-5) 電話帳のグループごとに着信音を設定することもできます。(☛P3-5)

● **着信する電話番号を設定するには**
最大5つの電話番号を使い分けられるマイナンバーサービスまたは追加番号サービスをご利用の場合に、どの電話番号にかかってきた電話を着信させるかを、ユーザごとに設定できます。(☛P3-4)

● **応答できないときに特定の内線電話機にスライド着信させるには**
スライド着信とは、外からの電話に一定時間応答しなかった場合に、他の内線電話機の呼び出しを開始する機能です。スライド着信させるかどうかを、ユーザごとに設定することができます。(☛P3-5) ただし、スライド着信させる内線電話機の設定およびスライド着信開始までの時間の設定は、UD-主装置のWeb設定で行います。

● **通常と異なる「ププププ、ププププ…」という着信音が鳴ったときは**
スライド着信の着信音です。受話器を取りあげると電話を受けられます。スライド着信には、留守番電話で応答できません。

● **外線着信中にドアホンからの呼び出しがあったときは**
ドアホンからの呼出音が鳴ります。
・ 外線着信に応答するには：**[応答しない]** にタッチしたあと、受話器を取りあげるか、**[着信中]** にタッチする
・ ドアホンに応答するには：受話器を取りあげるか、**[応答する]** にタッチする

● **110番、119番、118番などからかかってきたときは（緊急着信）**
着信音の設定にかかわらず、「ベル音1」が「特大」の音量で鳴ります。受話器を取りあげると、通常通り電話を受けられます。緊急着信時は、着信音量の調整や留守番電話での応答はできません。

● **迷惑電話を受けないようにするには**
特定の電話番号からの着信を拒否するように設定できます。電話番号を通知してこない相手や公衆電話からの着信を拒否することもできます。(☛P2-96)

● **通話時間の表示について**
通話時間は「時：分：秒」と表示されます。かかってきた電話にこちらが応答した時点で、「00:00:00」からスタートします。最大23時間59分59秒「23:59:59」まで表示されます。24時間以上経過した場合は、「23:59:59」のままです。

お知らせ

● 表示される通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
● ハンドフリー通話中は、「プッププッ、プッププッ･･･」という通話中着信音は聞こえません。
● UD-標準電話機のフックスイッチを押す操作（フッキング）で、通話中の相手とのお話しを保留してあとからの電話を受けることはできません。フックスイッチを押すと通話が切れます。

電話を受ける

❶ 着信中に、受話器を取りあげる

❷ お話しする

❸ お話しが終わったら、受話器を戻す

ワンポイント

● **外線着信中に他の外線着信があったときは**

・受話器を取りあげると、最初に着信した番号に応答します。

・**［着信中］**にタッチすると、タッチした着信へのハンドフリー応答になります。受話器を使ったお話しに切り替えるときは、受話器を取りあげてください。

電話がかかってきたときは

ハンドフリーで電話を受ける

❶ 着信中に、**［着信中］** にタッチする

❷ マイクに向かってお話しする

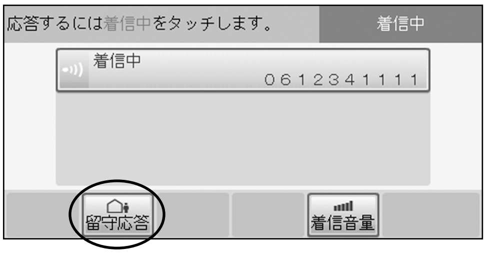
❸ お話しが終わったら、**［切る］** にタッチする

ワンポイント

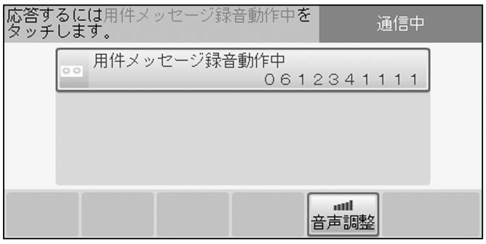
● **外線着信中に他の外線着信があったときは**
応答したい方の **［着信中］** にタッチします。

着信に留守番電話で応答する（居留守応答）

あらかじめ留守を設定していなくても、着信中の操作で外からかかってきた電話に留守番電話で応答することができます。相手の声を確かめてから、電話に出ることもできます。



❶ 着信中に、**［留守応答］**にタッチする



❷ 録音が終了し、待受画面に戻るまでそのまま待つ

● **途中で電話に出るときは**
用件メッセージ録音中に受話器を取りあげるか、**［用件メッセージ録音動作中］**にタッチしてハンドフリーでお話しする
・ 電話に出るまでに録音された内容は、用件メッセージとして保存されます。

ワンポイント

● 録音した相手の用件を再生／削除するには（☛P2-74）

お知らせ

● 下記の場合は、画面に**［留守応答］**が表示されず、居留守応答できません。
・録音が満杯のとき
・2回線とも着信中のとき
・他の内線電話機が留守番電話機能や通話録音機能を使用しているとき
・外出先からリモート操作で留守番電話機能を使用しているとき
・今お使いのUD-標準電話機がすでに留守応答中のとき
● 居留守応答すると、居留守応答した番号に留守番電話（☛P2-68）が設定されます。

電話がかかってきたときは

通話中にかかってきた別の電話を受ける

外の相手との通話中に他の電話がかかってきたときは、受話器から「プップッ、プップッ…」という通話中着信音が聞こえ、タッチパネルに「着信中」と表示されます。

通話中の相手を保留にして、あとからの電話を受ける

❶ 通話中の相手に待っていただくように伝え、**[着信中]** にタッチする

保留状態になります。

❷ あとからの相手とお話しする

- **通話する相手を切り替えるときは**
  [保留中] にタッチする
- **どちらも保留するときは**
  通話中の相手の **[通話中]** にタッチする

ワンポイント

- **内線通話中に外からかかってきた電話を受けるには**
  [着信中] にタッチすると、外からの電話を受けられます。このとき、内線通話は保留にならず、切れます。
- **保留の状態が5分以上続くと**
  受話器またはスピーカから「ププププ、ププププ…」という通話中保留警報音が聞こえます。保留している相手との通話に戻ってください。何も操作をせず、そのまま保留状態が続くと、約30秒後に保留している相手との電話が切れます。

お知らせ

- 手順❷で、通話する相手を切り替えるときに、2つの番号とも **[保留中]** と表示されることがあります。
- UD-標準電話機のフックスイッチを押す操作（フッキング）で、通話中の相手とのお話しを保留してあとからの電話を受けることはできません。フックスイッチを押すと通話が切れます。

あとからの相手に留守番電話で応答し、通話を続ける

お話しを中断したくないときは、あとからの電話に留守番電話で応答できます。

❶［留守応答］にタッチする

❷ 通話を続け、終わったら受話器を戻す

●ハンドフリーでのお話しのときは
通話を続け、終わったら **［切る］** にタッチする

●通話を保留し、居留守応答中の相手とお話しするときは
①**［用件メッセージ録音動作中］** にタッチする
②もとの相手との通話に戻るときは **［保留中］** にタッチする

ワンポイント

- 録音した相手の用件を再生／削除するには（☛P2-74）
- 内線通話中に外からかかってきた電話に留守番電話で応答するには
  ［留守応答］ にタッチすると、留守番電話で応答できます。ただし、用件録音中に **［用件メッセージ録音動作中］** にタッチすると、内線通話は保留にならず、切れます。

お知らせ

- あとからの相手に留守番電話で応答すると、留守番電話で応答した番号に留守番電話（☛P2-68）が設定されます。
- 下記の場合は、画面に **［留守応答］** が表示されず、留守番電話で応答できません。
  - ・録音が満杯のとき
  - ・2回線とも着信中のとき
  - ・他の内線電話機が留守番電話機能や通話録音機能を使用しているとき
  - ・外出先からリモート操作で留守番電話機能を使用しているとき
  - ・今お使いのUD-標準電話機がすでに留守応答中のとき

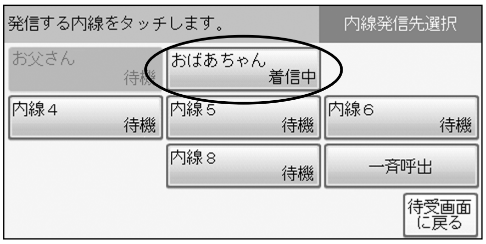
電話がかかってきたときは

他の電話機への電話を受ける（代理応答）

他の内線電話機で外線着信音が鳴っているのにだれも出ないときには、代わりに電話を受けることができます。

<基本イメージ>　　<携帯イメージ>

❶［内線］にタッチする



❷［着信中］が表示されている内線にタッチする

❸受話器を取りあげてお話しする

●ハンドフリーでお話しするときは
　そのままマイクに向かってお話しする

お知らせ

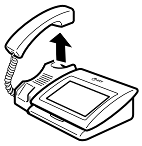
● 内線発信先選択画面は、表示中に内線電話機の状態が変化しても更新されません。このため、手順❷で［着信中］が表示されている内線にタッチしても、すでに他の内線電話機で応答していて代理応答できないことがあります。

通話中の操作

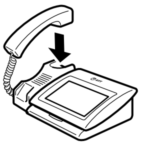
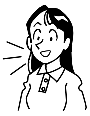
通話中にタッチパネルを操作することにより、通話を「保留」したり、相手の声を録音したりできます。
相手の声が聞こえにくいときには、音量や音質などを調整できます。
また、ダイヤルボタンを押して、プッシュホンサービスを利用することができます。

通話中の操作方法は、次の通りです。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

ハンドフリー通話から受話器での通話に切り替える

ハンドフリー通話中に  ▶

受話器での通話からハンドフリー通話に切り替える

受話器での通話中に **[ハンドフリー]** ▶  ▶ 

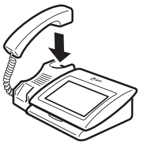
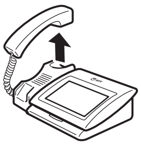
相手に待っていただき、同じ電話機でもう一度お話しする（個別保留） ☛P2-24

通話中の相手に

▶ **[通話中]** ▶ お話しに戻るときは **[保留中]** ▶

相手に待っていただき、他の内線電話機でも出られるようにする（共通保留）☛P2-24

通話中の相手に

▶ **[通話中]** ▶  ▶  ▶

次ページにつづく▶

通話中の操作

相手に待っていただき、他の内線電話機に取り次ぐ（内線転送）　☛P2-60

通話中の相手に

▶ **[転送]** ▶ 転送先の内線に ▶ 相手が応答したら

▶ **[転送開始]**

外線に取り次ぐ（外線転送）　☛P2-61

外線転送をご利用になるには、当社とのダブルチャネルサービスまたは複数チャネルサービスのご契約（有料）が必要です。また、ご契約状況に合わせて複数チャネル契約の設定を変更しておく必要があります。（☛P2-90）

通話中の相手に

▶ **[転送]** ▶ **[外線転送先リスト]** ▶ 転送先に ▶

相手が応答したら

▶ **[転送開始]**

相手の声の大きさを調整する（音声音量／スピーカ音量）　☛P2-26、2-28

[音声調整] ▶ **[音量小]**／**[音量大]**

相手の声の音質を調整する　☛P2-26

[音声調整] ▶ **[低音強調]**／**[高音強調]**

相手の声の速度を調整する　☛P2-27

[音声調整] ▶ **[低速]**／**[標準]**

通話の内容を録音する　☛P2-28

[録音]

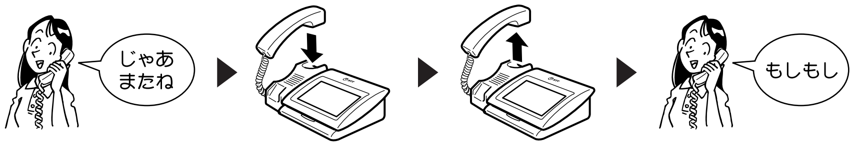
通話を保留にして、あとからかかってきた電話を受ける　☛P2-18

通話中の相手に

▶ **[着信中]** ▶

通話中の電話を切って、あとからの電話を受ける

通話中の相手に



あとからの相手に留守番電話で応答し、通話を続ける　☛P2-19

通話を続けながら**【留守応答】**

※ あとからの相手に留守番電話で応答すると、留守番電話で応答した番号に留守番電話（☛P2-68）が設定されます。

プッシュホンサービスを利用する

プッシュホンサービスのガイダンスに従って、ダイヤルボタンを押す

ワンポイント

- **通話時間の表示について**
  - ・通話時間は「時：分：秒」と表示されます。電話をかけたときは相手が応答した時点で、かかってきたときはこちらが応答した時点で、「00:00:00」からスタートします。
  - ・通話を保留すると通話時間の表示が消え、保留を解除した時点で「00:00:00」から再スタートします。最大23時間59分59秒「23:59:59」まで表示されます。24時間以上経過した場合は、「23:59:59」のままです。
  - ・通話録音中は、通話時間は表示されません。通話録音を停止すると、通話録音中の時間を含めた通話時間の表示を再開します。
- **スピーカから「ピーピー…」という音が流れたときは**
  外線通話の保留状態が5分以上続いています。個別保留のときは、**【保留警報中】**にタッチして電話に出てください。共通保留のときは、受話器を取りあげるか、**【保留警報中】**にタッチして電話に出てください。何も操作をせず、そのまま保留状態が続くと、約30秒後に保留している相手との電話が切れます。
- **受話器またはスピーカから「ププププ、ププププ…」という音が聞こえたときは**
  あとからの電話を受けるために通話中の相手を保留にした状態、または転送中の保留状態が5分以上続いています。保留している相手との通話に戻るか、転送を完了してください。何も操作をせず、そのまま保留状態が続くと、約30秒後に保留している相手との電話が切れます。
- **留守番電話で応答し、録音した相手の用件を再生／削除するには（☛P2-74）**
- **プッシュホンサービスの種類**
  - ・ホームテレホンによるテレコントロール
  - ・留守番電話へのリモコン操作　など

お知らせ

- 内線通話を保留することはできません。
- UD-標準電話機のフックスイッチを押す操作（フッキング）で保留することはできません。フックスイッチを押すと通話が切れます。

通話中の操作

相手に待っていただく（保留）

相手に待っていただき、同じ電話機でもう一度お話しする（個別保留）

外の相手との通話を一時中断して相手に待っていただくときには、保留にします。このとき、相手には保留メロディが流れ、受話器またはスピーカから「プ、プ、プ…」という保留音が聞こえます。操作のしかたは、ハンドフリー通話中も受話器でのお話し中も同じです。

❶ 通話中の相手に待っていただくように伝え、**[通話中]** にタッチする

保留状態になります。

❷ お話しに戻るときは、**[保留中]** にタッチし、お話しする

ワンポイント

- **保留の状態が5分以上続くと**
  スピーカから「ピーピー･･･」という保留警報音が流れます。**[保留警報中]** にタッチして電話に出てください。何も操作をせず、そのまま保留状態が続くと、約30秒後に自動的に電話が切れ、切断待ち画面が表示されますので、受話器を戻すか、**[切る]** にタッチしてください。

お知らせ

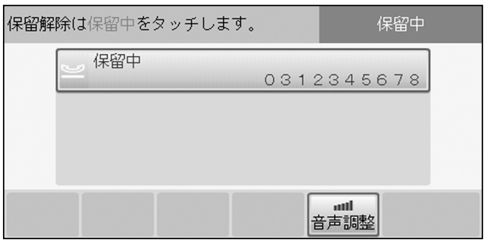
- 個別保留中の内線着信は受け付けません。内線で電話をかけてきた相手には「プー、プー…」という話中音が聞こえます。

相手に待っていただき、他の内線電話機でも出られるようにする（共通保留）

外の相手との通話を一時中断し、相手に待っていただきます。同じ電話機だけでなく、他の内線電話機でも電話に出られるようにするには、共通保留にします。このとき、相手には保留メロディが流れます。

❶ 通話中の相手に待っていただくように伝え、**[通話中]** にタッチする

保留状態になります。



❷ 受話器を戻す

共通保留状態になります。

❸ お話しに戻るときは、受話器を取りあげてお話しする

左の画面が表示されてから受話器を取りあげてください。
●お話しに戻らないときは
【応答しない】にタッチする
待受画面に戻ります。

ワンポイント

● **ハンドフリーでのお話し中に共通保留するには**
① 通話中の相手に待っていただくように伝え、受話器をいったん取りあげて**【通話中】**にタッチする
② 受話器を戻す
共通保留になります。
③ ハンドフリーでお話しに戻るときは、**【保留中】**にタッチする

● **保留中の電話に他の内線電話機（UD-標準電話機）で出るには**
受話器を取りあげます。着信中の場合は、**【保留中】**にタッチしてから受話器を取りあげます。**【保留中】**にタッチせずに受話器を取りあげると、着信中の電話への応答となります。
複数の番号が共通保留中のときは、受話器を取りあげると、先に共通保留になった番号に応答します。
あとから共通保留になった番号に応答するには、電話に出る番号の**【保留中】**にタッチしてから受話器を取りあげます。

● **保留の状態が5分以上続くと**
共通保留操作をしたUD-標準電話機のスピーカから「ピーピー･･･」という保留警報音が流れ、**【保留警報中】**が表示されます。お話しに戻るときは、受話器を取りあげるか、**【保留警報中】**にタッチしてハンドフリーでお話しします。**【応答しない】**にタッチすると、保留警報音が停止します。そのまま保留状態が続くと、約30秒後に自動的に電話が切れます。

お知らせ

● 手順❸で**【応答しない】**にタッチしたあと、このUD-標準電話機を操作したときや他の内線電話機を操作したときに、もう一度共通保留状態になることがあります。

通話中の操作

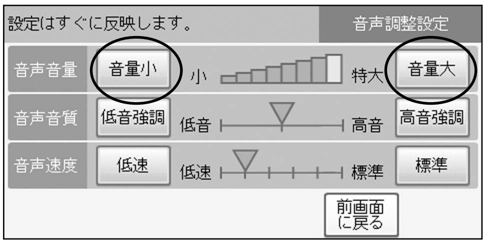
受話器から聞こえる相手の声を調整する

受話器から聞こえる相手の声の音量、音質、速度を調整できます。調整後の設定は、通話が終了しても保存されます。

声の大きさを調整する

「小」から「特大」までの8段階に調整できます。

❶ **[音声調整]** にタッチする

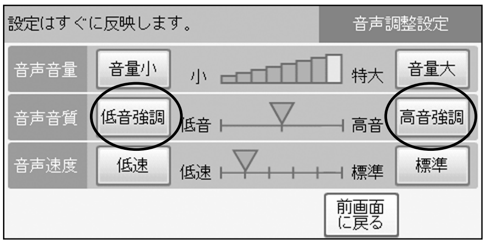


❷「音声音量」の **[音量小]** ／ **[音量大]** にタッチする

声の音質を調整する

相手の声が聞き取りにくいときに、「低音強調」、「標準」、「高音強調」のいずれかに調整することにより、聞こえやすくなる場合があります。

❶ **[音声調整]** にタッチする

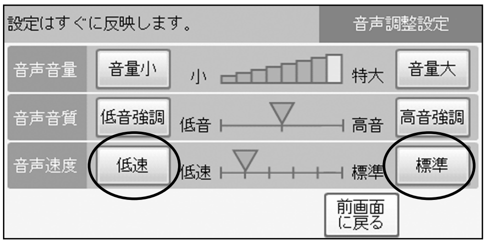


❷「音声音質」の **[低音強調]** ／ **[高音強調]** にタッチする

声の速度を調整する

相手の言葉が聞き取りにくいときに、音声速度を調整することにより、聞き取りやすくなる場合があります。早口で聞き取りにくいときには、速度を下げてみましょう。速度は「低速」から「標準」までの6段階で調整できます。

❶［音声調整］にタッチする



❷「音声速度」の［低速］／［標準］にタッチする

ワンポイント

- **通話中画面に戻るには**
  調整を終了し、通話時間が表示される画面に戻るには、**［前画面に戻る］**にタッチします。
- **音声の音量／音質／速度を待受画面から調整するには**（☛P3-7）

お知らせ

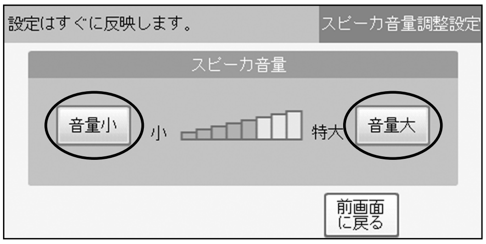
- 音声音質や音声速度を調整するときに、音が途切れることやプツプツという音がすることがあります。
- 音声速度を「低速」に設定している場合、音声速度が一時的に「標準」に戻ることがあります。
- 音声速度を「低速」に設定しても、音声速度が変化しないことがあります。

通話中の操作

スピーカ音量を調整する

ハンドフリー通話中に、スピーカから聞こえる相手の声の音量を「小」から「特大」までの8段階に調整できます。調整後の設定は、通話が終了しても保存され、留守番電話の用件や通話録音の再生時のスピーカ音量にも反映されます。

❶ ハンドフリー通話中に、**[音声調整]** にタッチする



❷「スピーカ音量」の **[音量小]** ／ **[音量大]** にタッチする

通話の内容を録音する

外の相手との通話を録音できます。

❶ **[録音]** にタッチする

❷ 録音を停止したいときは、**[録音停止]** にタッチする

- **録音中に電話を切ったときは**
  自動的に録音が停止します。

ワンポイント

● **録音できる時間と件数は**
用件メッセージ、通話録音メッセージと合わせて、IPテレホンUD全体で最大約45分、60件まで録音可能です。

● **通話録音した内容を聞くには／削除するには**
① 待受画面で **［再生］→［通話録音再生］** の順にタッチする（再生する番号が1つの場合は、録音内容の再生が開始される）
② 再生する番号にタッチする
・複数の番号の通話録音を再生するには　：再生する番号をすべてタッチする
・すべての番号の通話録音を再生するには：**［すべて選択］** にタッチする
③ **［再生］** にタッチする
④ 通話録音の内容を聞く
・次の通話録音へスキップするには：**［次へ］** にタッチする
・1つ前の通話録音に戻るには：**［戻る］** にタッチする
・再生を停止するには：**［停止］** にタッチする（再生停止後、**［再生］** にタッチすると再生が再開される）
・再生中の通話録音を削除するには：**［削除］→［1件削除］→［この通話録音を削除する］** の順にタッチする
手順②、③で、約30秒間何も操作をしないと、待受画面に戻ります。手順④で、再生を停止してから約30秒間何も操作をしないと、待受画面に戻ります。

● **通話録音した内容を全件削除するには**
次のように操作します。未再生の通話録音も削除されます。
① 通話録音再生中に **［削除］** にタッチする
② **［全件削除］→［はい］** の順にタッチする

● **通話録音中に録音時間がなくなると**
通話録音が停止します。

● **通話録音中にかかってきた別の電話に応答すると**
通話録音が停止し、通話中の相手は保留状態になります。

お知らせ

● 内線通話の内容は録音できません。
● 下記の場合は、通話中の画面に **［録音］** が表示されず、通話録音できません。また、**［録音］** が表示されていても、通話録音ができないことがあります。
・録音が満杯のとき
・他の内線電話機が留守番電話機能や通話録音機能を使用しているとき
・外出先からリモート操作で留守番電話機能を使用しているとき
・今お使いのUD-標準電話機がすでに留守応答中のとき
● 通話録音には、音声の音量、音質、速度の設定は反映されません。
● かかってきた電話を通話録音した場合は、着信した番号に保存されます。
● かけた電話を通話録音した場合は、**［発信者番号通知］**（☛P3-3）に設定している番号に保存されます。**［発信者番号通知］** を「非通知」に設定している場合は、**［個別着信］**（☛P3-4）に設定している番号（電話番号1～電話番号5）の中で一番若い番号に保存されます。
● 個別着信設定していない番号の着信がスライド着信した通話や転送された通話を通話録音した場合、録音内容の再生は、個別着信設定しているUD-標準電話機で行ってください。録音の操作を行ったUD-標準電話機では、再生操作ができません。
UD-標準電話機以外の内線電話機からスライド着信した通話や転送された通話を通話録音した場合は、個別着信設定している内線電話機では録音内容の再生ができません。内線電話機に個別着信設定している番号をUD-標準電話機の **［個別着信］**（☛P3-4）に設定し、UD-標準電話機で録音内容の再生をしてください。
● 通話録音中は、通話を保留することはできません。
● 通話録音メッセージの削除に時間（最大30秒）がかかることがあります。その間、留守番電話機能や通話録音機能は利用できません。

ワンタッチダイヤルを使うには

とくによくかける電話番号は、ワンタッチダイヤルに登録しましょう。ワンタッチダイヤルに登録した電話番号へは、簡単な操作で電話がかけられます。ワンタッチダイヤルは、ユーザごとに10件まで登録できます。

登録や内容の変更、削除は、次のように操作します。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

ワンタッチダイヤルを登録する　☛P2-32

［ワンタッチ］ ▶ **［詳細表示］** ▶ 登録するワンタッチに ▶ 名前を入力 ▶ **［確定］** ▶ （必要に応じてフリガナを修正）▶ **［確定］** ▶ 電話番号を入力 ▶ **［確定］**

ワンタッチダイヤルの内容を変更する　☛P2-33

［ワンタッチ］ ▶ **［詳細表示］** ▶ 変更するワンタッチに ▶ **［編集］** ▶ 名前を修正 ▶ **［確定］** ▶ フリガナを修正 ▶ **［確定］** ▶ 電話番号を修正 ▶ **［確定］**

ワンタッチダイヤルの登録を削除する　☛P2-34

［ワンタッチ］ ▶ **［詳細表示］** ▶ 削除するワンタッチに ▶ **［削除］** ▶ **［この登録を削除する］**

ワンポイント

- **ワンタッチダイヤルに登録できる内容は**
  ・名前（全角のみで10文字までの漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号）
  ・フリガナ（全角のみで20文字までのカタカナ、英字、数字、記号）
  ・電話番号（3～32桁）
  電話番号には、「0」～「9」の数字、「#」「＊」を登録できます。ただし、「#」が入力できるのは、1桁目のみです。ワンタッチボタンへの表示は、6文字までです。7文字以上の場合は、6文字以降が「‥」と表示されます。
- **電話帳にもワンタッチダイヤルにも登録したいときは**
  電話帳を登録するときに、その電話番号をワンタッチダイヤルに登録することができます。（☛P2-39）
- **待受画面に戻るには**
  【待受画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- **1つ前の画面に戻るには**
  【前画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- **ワンタッチダイヤルで電話をかけるには**（☛P2-8）

お願い

- 電話番号は必ず全桁（市外局番を含む）登録してください。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルの名前は、必ず登録してください。名前を登録しないと、ワンタッチボタンの表示がワンタッチボタンの番号のみになります。
- ワンタッチダイヤルのフリガナを空白で登録した場合は、シンプルイメージでご利用のときに、ワンタッチダイヤルに登録した電話番号を音声で読み上げます。

ワンタッチダイヤルを使うには

ワンタッチダイヤルを登録する

＜基本イメージ＞

＜携帯イメージ＞

❶ **［ワンタッチ］**にタッチする

❷ **［詳細表示］**にタッチする

❸ 未登録のワンタッチにタッチする

❹ 名前を入力し、**［確定］**にタッチする

●「文字入力のしかた」（☛P1-27）

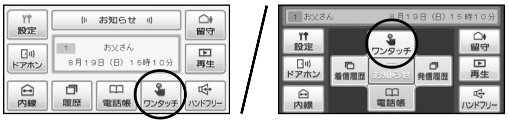
❺ フリガナを確認し、**［確定］**にタッチする

●フリガナを修正するときは
①**［1文字消去］**にタッチして文字を消去する
②ダイヤルボタンで文字を入力する（☛「文字入力のしかた」P1-27）

❻ ダイヤルボタンで電話番号を入力し、**［確定］**にタッチする

ワンタッチダイヤルの内容を変更する

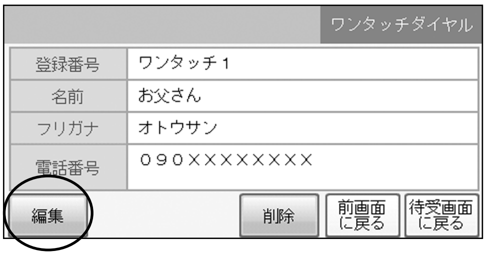
＜基本イメージ＞　＜携帯イメージ＞



❶［ワンタッチ］にタッチする

❷［詳細表示］にタッチする

❸内容を変更するワンタッチにタッチする



❹［編集］にタッチする

❺「ワンタッチダイヤルを登録する」（☛P2-32）の手順❹〜❻の操作をする

ワンタッチダイヤルを使うには

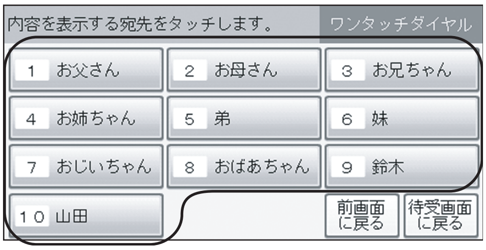
ワンタッチダイヤルの登録を削除する

＜基本イメージ＞

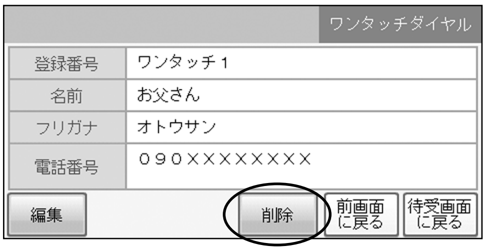
＜携帯イメージ＞

❶ **［ワンタッチ］**にタッチする

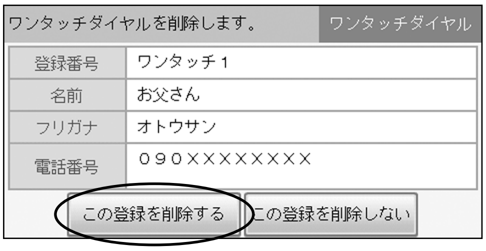
❷ **［詳細表示］**にタッチする



❸ 登録を削除するワンタッチにタッチする



❹ **［削除］**にタッチする



❺ **［この登録を削除する］**にタッチする

ワンポイント

● 待受画面に戻るには
［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
［前画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

電話帳を使うには

よくかける相手の名前と電話番号は、電話帳に登録しておきましょう。各ユーザが、自分用の電話帳を500件まで登録できます。1つの電話帳に最大3件の電話番号を登録できるので、一人の方の自宅や職場、携帯電話などの電話番号をまとめて登録できます。
また、電話帳は、10のグループに分類して登録できます。お買い求め時の「00」〜「09」という名称は、「親戚」、「仕事」、「サークル」のようなわかりやすい名称に変更できます。

電話帳の登録や内容の変更、削除、およびグループ名の変更は、次のように操作します。
〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

電話帳を登録する　☛P2-37

[電話帳] ▶ **[新規]** ※1 ▶ 名前を入力 ▶ **[確定]** ▶（必要に応じてフリガナを修正）▶ **[確定]** ▶

電話番号を入力 ▶ **[確定]** ▶ **[登録しない]** ※2 ▶ 登録するグループに ▶

（必要に応じてメモリ番号を変更）▶ **[確定]** ▶ **[登録しない]** ※3

※1：グループを選択する画面が表示されたときは、いずれかのグループにタッチしてから **[新規]** にタッチします（登録するグループは、あとで選択できます）。
※2：2件目、3件目の電話番号も登録する場合は、**[登録する]** にタッチして電話番号を入力します。
※3：ワンタッチダイヤルにも登録する場合は、**[登録する]** にタッチします。

電話帳の内容を変更する（フリガナで探す場合）　☛P2-40

[電話帳] ▶ 行に ▶（必要に応じて **[▲]**／**[▼]**）▶ 変更する名前に ▶ **[編集]** ▶ 名前を修正 ▶

[確定] ▶ フリガナを修正 ▶ **[確定]** ▶ 電話番号を修正 ▶ **[確定]** ▶ **[登録しない]** ※1 ▶

登録するグループに ▶ メモリ番号を変更 ▶ **[確定]** ※2 ▶ **[登録しない]** ※3

※1：2件目、3件目の電話番号も変更する場合は、電話番号を修正し、**[確定]** にタッチします。
※2：メモリ番号を変更しない場合は、上書きの確認があります。
※3：ワンタッチダイヤルにも登録する場合は、**[登録する]** にタッチします。

次ページにつづく▶

電話帳を使うには

電話帳を1件削除する（フリガナで探す場合） ☛P2-42

【電話帳】 ▶ 行に ▶ （必要に応じて【▲】／【▼】） ▶ 削除する名前に ▶ 【削除】 ▶ 【この登録を削除する】

現在ログイン中のユーザの電話帳を全件削除する ☛P2-43

【設定】 ▶ 【電話帳】 ▶ 【電話帳全件削除】 ▶ 【はい】

グループ名称を登録する ☛P2-44

【設定】 ▶ 【電話帳】 ▶ 【グループ名称】 ▶ 登録するグループに ▶ 名称を変更 ▶ 【確定】

ワンポイント

- **電話帳に登録できる内容は**
  - ・名前（全角のみで10文字までの漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号）
  - ・フリガナ（全角のみで20文字までのカタカナ、英字、数字、記号）
  - ・最大3件の電話番号（3～32桁）
  - ・グループ（10グループから選ぶ）
  - ・メモリ番号（「000」～「499」）

  電話番号には、「0」～「9」の数字、「#」「＊」を登録できます。ただし、「#」が入力できるのは、1桁目のみです。名前やフリガナを入力せずに、電話番号、グループ、メモリ番号だけでも登録できます。
- **グループ名称に使える文字は**
  全角のみで6文字までの漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号が使えます。
- **待受画面に戻るには**
  【待受画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- **1つ前の画面に戻るには**
  【前画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 電話帳を使って電話をかけるには（☛P2-9）

お願い

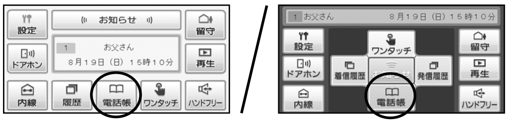
- 電話番号は必ず全桁（市外局番を含む）登録してください。

お知らせ

- 電話帳のフリガナを空白で登録した場合は、シンプルイメージでご利用のときに、電話帳に登録した電話番号を音声で読み上げます。

電話帳を登録する

<基本イメージ>　<携帯イメージ>



❶［電話帳］にタッチする

❷［新規］にタッチする

すでに500件登録済みの場合は、**［新規］**が表示されません。

❸名前を入力し、［確定］にタッチする

● 「文字入力のしかた」（☛P1-27）

❹フリガナを確認し、［確定］にタッチする

● **フリガナを修正するときは**
①**［1文字消去］**にタッチして文字を消去する
②ダイヤルボタンで文字を入力する（☛「文字入力のしかた」P1-27）

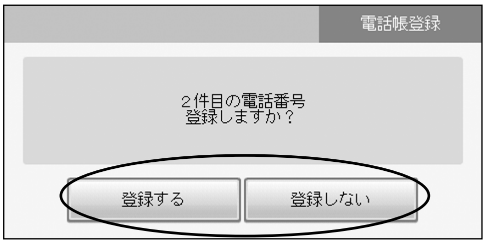
ワンポイント

● **手順❶のあとに表示される画面は**
前回選択した電話帳の検索画面が表示されます。
前回「グループ検索」を選択したときは、右のような画面が表示されますので、**［00］**～**［09］**のいずれかにタッチしてください。

次ページにつづく▶

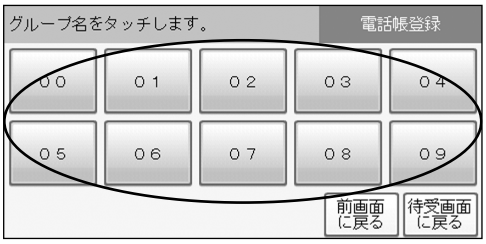
電話帳を使うには

❺ ダイヤルボタンで電話番号を入力し、**［確定］**にタッチする



❻ 操作によっていずれかにタッチする

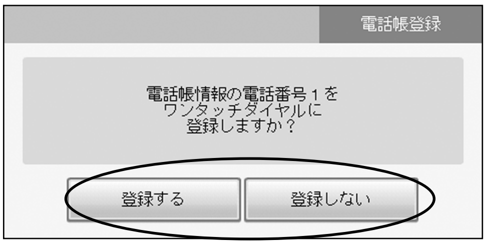
- 同じ電話帳に2件目の電話番号を登録しないときは
  ［登録しない］にタッチし、手順❼に進む
- 同じ電話帳に2件目の電話番号を追加登録するときは
  ①**［登録する］**にタッチする
  ②手順❺の操作をする
- 同じ電話帳に3件目の電話番号を登録しないときは
  ［登録しない］にタッチし、手順❼に進む
- 同じ電話帳に3件目の電話番号を追加登録するときは
  ①**［登録する］**にタッチする
  ②手順❺の操作を行い、手順❼に進む

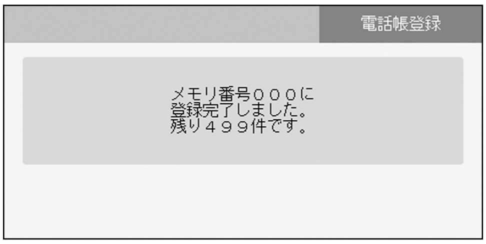


❼ 登録するグループにタッチする

❽ 表示されているメモリ番号（未登録の一番若い番号）を確認し、**［確定］**にタッチする

- メモリ番号を変えたいときは
  ①**［1文字消去］**にタッチしてメモリ番号を消去する
  ②ダイヤルボタンで番号を入力する
  ③**［確定］**にタッチする

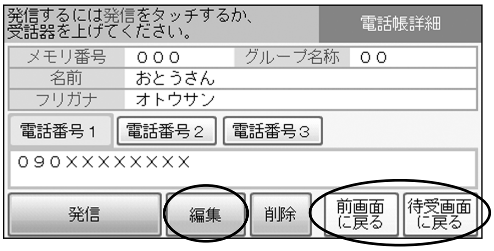




❾ 操作によっていずれかにタッチする

● **ワンタッチダイヤルに登録しないときは**
①**［登録しない］**にタッチする
②登録完了画面が表示され、手順❿の画面が表示されるので、手順❿に進む

● **ワンタッチダイヤルに登録するときは**
①**［登録する］**にタッチする
②登録先にタッチする
③**［確定］**にタッチする
④登録完了画面が表示され、手順❿の画面が表示されるので、手順❿に進む



❿ 内容を確認し、いずれかにタッチする

●**登録を終了して待受画面に戻るときは**
［待受画面に戻る］にタッチする

●**続けて電話帳の登録をするときは**
①**［前画面に戻る］→［新規］**の順にタッチする
②手順❸〜❿の操作をする

●**内容を修正するときは**
①**［編集］**にタッチする
②手順❸〜❿の操作をする

ワンポイント

● **発信履歴／着信履歴から電話帳に登録するには**（☛P2-49）

● **メモリ番号を自分で指定したいときは**
手順❽の「●メモリ番号を変えたいときは」の操作をします。入力したメモリ番号にすでに登録があった場合は、手順③のあと確認画面が表示されます。登録されていた電話帳を消去したくないときは**［いいえ］**にタッチしてメモリ番号を入力し直します。登録されていた電話帳を上書きするときは**［はい］**にタッチし、手順❾へ進みます。

● **ワンタッチダイヤルを上書きするときは**
電話番号をワンタッチダイヤルにも登録する場合、手順❾の「●ワンタッチダイヤルに登録するときは」の手順②で登録内容のあるワンタッチダイヤルにタッチすると、確認画面が表示されます。**［はい］**にタッチすると、内容が上書きされます。

お知らせ

● ワンタッチダイヤルに登録できるのは、1件目の電話番号（電話番号1）です。

電話帳を使うには

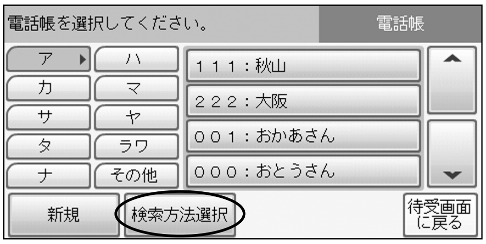
電話帳の内容を変更する

＜基本イメージ＞

＜携帯イメージ＞

❶［電話帳］にタッチする

電話帳の検索画面が表示されます。検索方法を変更する必要がない場合は、手順❹に進みます。



❷［検索方法選択］にタッチする

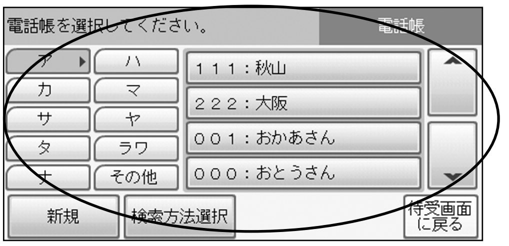
❸ 目的の検索方法にタッチする

- フリガナで探すときは
  ［フリガナ検索］にタッチする
- グループの中から探すときは
  ［グループ検索］にタッチする
- メモリ番号で探すときは
  ［メモリ番号検索］にタッチする

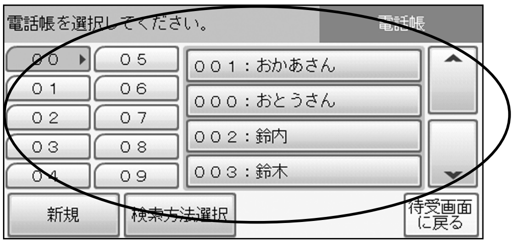
ワンポイント

- **手順❶のあと表示される画面は**
  前回選択した電話帳の検索画面が表示されます。
  前回「グループ検索」を選択したときは、右のような画面が表示されます。

❹ 電話帳を探す

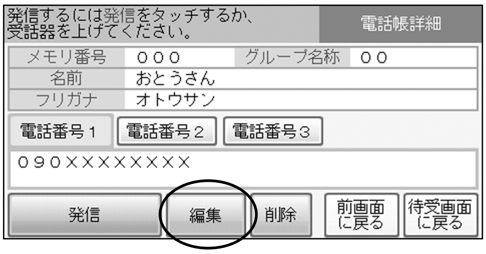


●フリガナで探すときは
①名前の1文字目の行（**[ア]** ～ **[その他]**）にタッチする
②目的の電話帳（名前）が表示されていないときは【▲】／【▼】にタッチして表示させ、目的の名前にタッチする



●グループの中から探すときは
①グループにタッチする
②目的の電話帳（名前）が表示されていないときは【▲】／【▼】にタッチして表示させ、目的の名前にタッチする

●メモリ番号で探すときは
①該当する範囲にタッチする
②目的の電話帳（名前）が表示されていないときは【▲】／【▼】にタッチして表示させ、目的の名前にタッチする



❺ [編集] にタッチする

❻「電話帳を登録する」（☛P2-37）の手順❸～❿の操作をする

ワンポイント

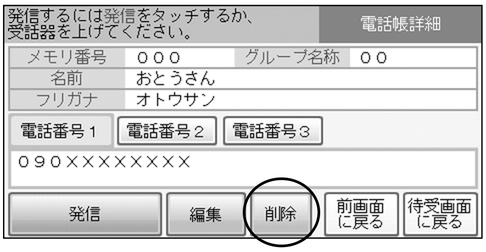
● 複数の電話番号のうちの1件のみを削除するには（☛P2-42）
● グループ名称を登録するには（☛P2-44）

電話帳を使うには

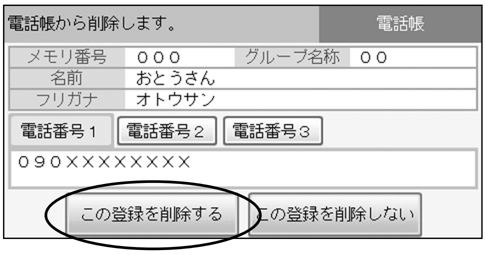
電話帳を1件削除する

電話帳を1件ずつ削除できます。1件の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、この操作でまとめて削除されます。

❶「電話帳の内容を変更する」（☛P2-40）の手順❶〜❹の操作をする



❷ **［削除］** にタッチする



❸ **［この登録を削除する］** にタッチする

ワンポイント

● **複数の電話番号のうちの1件のみを削除するには**

1つの電話帳に登録されている最大3件の電話番号のうちの1件を削除したいときは、次のように操作します。

① 「電話帳の内容を変更する」（☛P2-40）の手順❶〜❹の操作をする
② **［編集］** にタッチする
③ 1件目の電話番号を削除するときは、**［確定］** → **［確定］** の順にタッチする
　2件目の電話番号を削除するときは、**［確定］** → **［確定］** → **［確定］** の順にタッチする
　3件目の電話番号を削除するときは、**［確定］** → **［確定］** → **［確定］** → **［確定］** の順にタッチする
④ **［1文字消去］** にタッチして電話番号を全桁消去する
⑤ **［確定］** にタッチする
⑥ 1件目の電話番号を削除したときは、**［確定］** に2回タッチする
　2件目の電話番号を削除したときは、**［確定］** に1回タッチする
　3件目の電話番号を削除したときは、**［確定］** は表示されない
⑦ 目的のグループにタッチする
⑧ **［確定］** → **［はい］** の順にタッチする

たとえば3件の電話番号のうち **［電話番号2］** の電話番号を消去した場合、**［電話番号3］** の電話番号が **［電話番号2］** になります。

電話帳を全件削除する

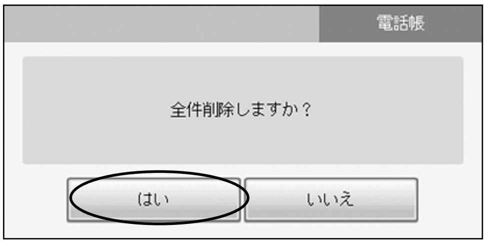
現在ログイン中のユーザが登録しているすべての電話帳をまとめて削除できます。

<基本イメージ>　　<携帯イメージ>

❶［設定］にタッチする

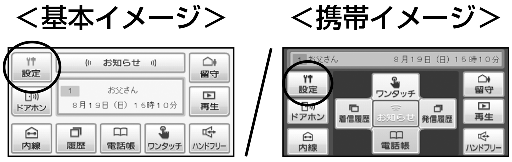
❷［電話帳］にタッチする

❸［電話帳全件削除］にタッチする



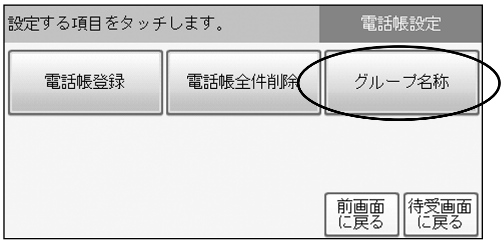
❹［はい］にタッチする

グループ名称を登録する

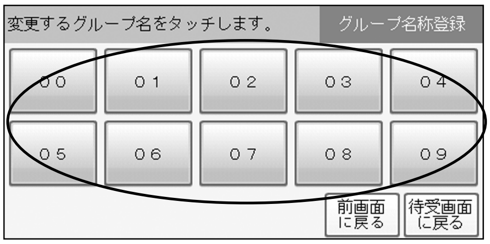


❶ **[設定]** にタッチする

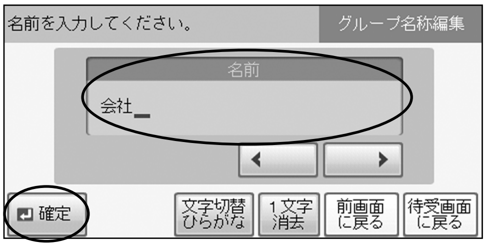
❷ **[電話帳]** にタッチする



❸ **[グループ名称]** にタッチする



❹ 目的のグループにタッチする



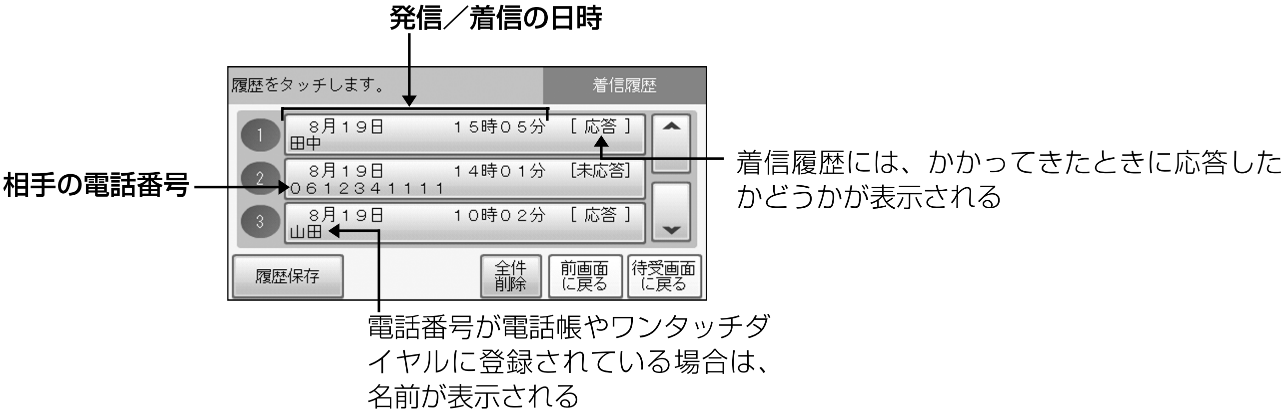
❺ グループ名称を入力し、**[確定]** にタッチする

●「文字入力のしかた」(☛P1-27)

発信／着信履歴を利用するには

かけた電話番号は、ユーザごとに最新の30件まで保存されます（発信履歴）。また、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、電話をかけてきた相手の電話番号も同様に保存されます（着信履歴）。
これらの電話番号を使って、簡単に電話をかけることができます。また、保存されている電話番号を電話帳に登録したり、かかってきた日時などを確認することもできます。
発信履歴や着信履歴は、1件ずつ削除したり、まとめて全件削除したりできます。

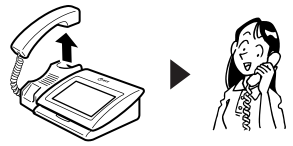
＜例：着信履歴の一覧画面＞



発信履歴や着信履歴を利用するには、次のように操作します。
〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

発信／着信履歴の電話番号に電話をかける ☛P2-48

［履歴］※ ▶ **［発信履歴］**／**［着信履歴］** ▶ （必要に応じて **［▲］**／**［▼］**） ▶ 目的の発信／着信履歴に ▶



※：携帯イメージの待受画面から操作する場合、この操作は不要です。

次ページにつづく▶

● 発信／着信履歴を利用するには ●

発信／着信履歴の電話番号を電話帳に登録する ☛P2-49

[履歴] ※1 ▶ **[発信履歴]**／**[着信履歴]** ▶（必要に応じて **[▲]**／**[▼]**）▶ 目的の発信／着信履歴に ▶

[電話帳登録] ▶ 名前を入力 ▶ **[確定]** ▶（必要に応じてフリガナを修正）▶ **[確定]** ▶ **[確定]** ▶

[登録しない] ※2 ▶ 登録するグループに ▶（必要に応じてメモリ番号を変更）▶ **[確定]** ▶

[登録しない] ※3

※1：携帯イメージの待受画面から操作する場合、この操作は不要です。
※2：2件目、3件目の電話番号も登録する場合は、**[登録する]** にタッチして電話番号を入力します。
※3：ワンタッチダイヤルにも登録する場合は、**[登録する]** にタッチします。

発信／着信履歴を1件削除する ☛P2-50

[履歴] ※ ▶ **[発信履歴]**／**[着信履歴]** ▶（必要に応じて **[▲]**／**[▼]**）▶ 削除する発信／着信履歴に ▶

[削除] ▶ **[この履歴を削除する]**

※：携帯イメージの待受画面から操作する場合、この操作は不要です。

発信／着信履歴を全件削除する ☛P2-51

[履歴] ※ ▶ **[発信履歴]**／**[着信履歴]** ▶ **[全件削除]** ▶ **[はい]**

※：携帯イメージの待受画面から操作する場合、この操作は不要です。

ワンポイント

● **ナンバー・ディスプレイを利用していない場合は**
着信履歴には、かかってきた日時と「応答」または「未応答」のみが表示され、かけてきた方の電話番号や登録名が表示されません。したがって、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

● **かけてきた相手が電話番号を通知してこなかったときは**
ナンバー･ディスプレイをご利用の場合でも、相手が電話番号を通知してこなかったときは、かかってきた日時、「応答」または「未応答」と、「非通知」が表示されます。

● **相手が公衆電話から電話をかけてきたときは**
ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、かかってきた日時、「応答」または「未応答」と、「公衆電話」が表示されます。

● **相手がナンバー・ディスプレイのサービスが利用できない地域や電話機からかけてきたときは**
ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、かかってきた日時、「応答」または「未応答」と、「表示圏外」が表示されます。

● **留守番電話で応答したときは**
「未応答」の着信として記録されます。ただし、着信と同時に留守番電話で応答した（応答時間が「即応答」に設定されている）場合は、着信履歴に記録されません。

● **待受画面に戻るには**
［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● **1つ前の画面に戻るには**
［前画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

● **保存されている発信／着信履歴がないときは**
待受画面の**［履歴］**や**［着信履歴］**、**［発信履歴］**が、タッチ無効の薄い表示になります。

● **発信／着信履歴をUD-主装置に保存するには**
発信／着信履歴は、UD-主装置に保存することにより他のUD-標準電話機にログインしたときでも利用できるようになっています。UD-主装置への保存は、ユーザがログアウトするときに自動的に行われます。また、発信／着信履歴の一覧画面で**［履歴保存］**にタッチすると、手動で保存することができます。**［履歴保存］**にタッチすると、発信履歴または着信履歴の最新データが保存されます。定期的に**［履歴保存］**にタッチして履歴を保存すると、停電などによって最新のデータが失われるのを防げます。

お知らせ

● 発信／着信履歴には、内線発信や内線着信の記録は保存されません。

● 発信／着信の日時は、あくまで目安としてご利用ください。

● 停電が発生した場合、UD-主装置に保存されていない発信／着信履歴は消失します。履歴の一覧には、最後に保存された時点の履歴が表示されます。

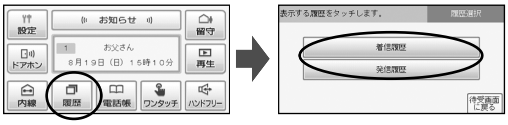
● すでに発信／着信履歴が30件保存されているときに新たに発信／着信があると、最も古い発信／着信履歴から自動的に消去されます。

● 下記の場合は、着信履歴に記録されません。
・代理応答（☛P2-20）した電話
・転送でんわ（☛P2-64）の転送開始時間を「無条件転送」に設定している場合の着信

● 発信／着信履歴を利用するには ●

発信／着信履歴の電話番号に電話をかける

＜基本イメージ＞

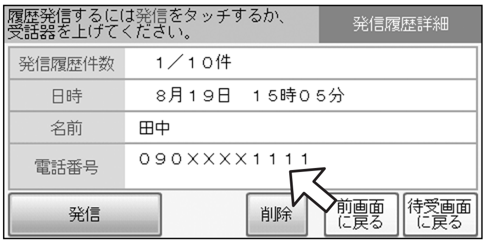


＜携帯イメージ＞

❶ **［履歴］➡［発信履歴］／［着信履歴］の順にタッチする**

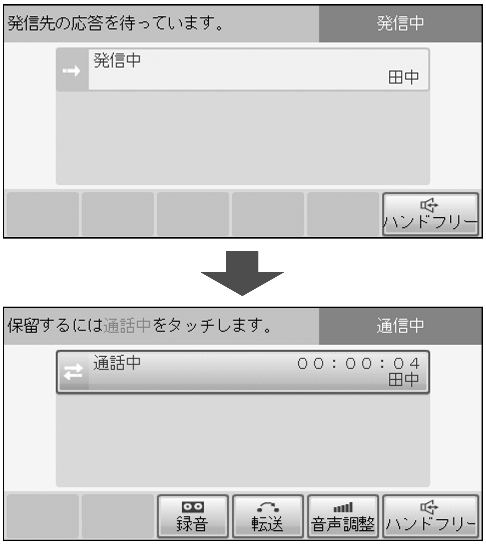
● 携帯イメージの待受画面から操作するときは **［発信履歴］／［着信履歴］**にタッチする

❷ **必要に応じて［▲］／［▼］にタッチして目的の履歴を表示し、タッチする**



❸ **表示されている電話番号を確認し、受話器を取りあげる**

● ハンドフリーでかけるときは **［発信］**にタッチする



❹ **相手につながったら、お話しする**

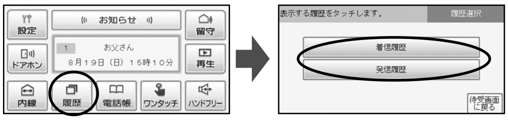
● ハンドフリーでかけたときは
相手につながったら、マイクに向かってお話しする

お知らせ

● 着信履歴に電話番号が表示されていない場合は、電話をかけることはできません。

発信／着信履歴の電話番号を電話帳に登録する

＜基本イメージ＞

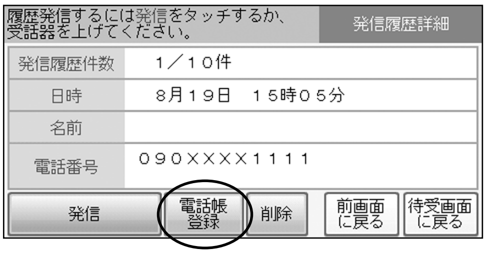


＜携帯イメージ＞

❶ **［履歴］➡［発信履歴］／［着信履歴］の順にタッチする**

● 携帯イメージの待受画面から操作するときは**［発信履歴］**／**［着信履歴］**にタッチする

❷ **必要に応じて［▲］／［▼］にタッチして目的の履歴を表示し、タッチする**



❸ **［電話帳登録］にタッチする**

● すでに履歴の電話番号が登録されているときや電話帳に空きがないときは**［電話帳登録］**が表示されない

❹ **「電話帳を登録する」（☛P2-37）の手順❸～❿の操作をする**

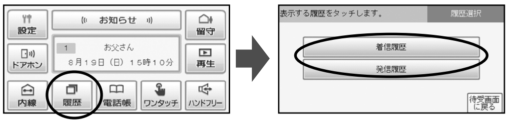
お知らせ

● すでに電話帳に登録されている電話番号は登録できません。
● 着信履歴に電話番号が表示されていない場合は、手順❸で電話番号欄が空欄で表示されます。

発信／着信履歴を利用するには

発信／着信履歴を1件削除する

<基本イメージ>

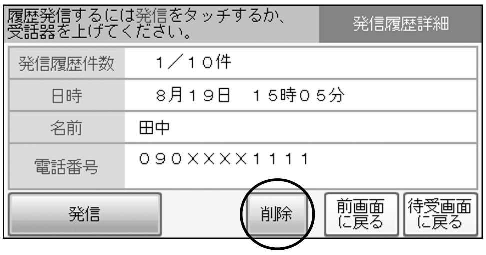


<携帯イメージ>

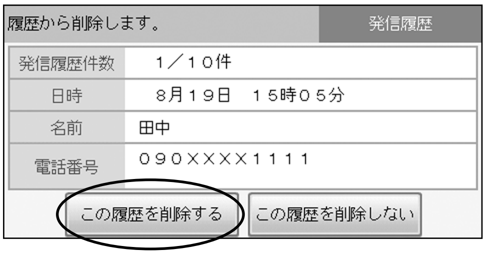
❶ **[履歴]➡[発信履歴]／[着信履歴]**の順にタッチする

●携帯イメージの待受画面から操作するときは
[発信履歴]／**[着信履歴]**にタッチする

❷ 必要に応じて**[▲]**／**[▼]**にタッチして目的の履歴を表示し、削除する履歴にタッチする



❸ **[削除]**にタッチする

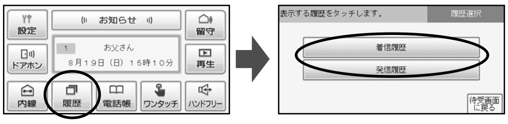


❹ **[この履歴を削除する]**にタッチする

発信／着信履歴を全件削除する

現在ログイン中のユーザの発信履歴または着信履歴をまとめて削除できます。

＜基本イメージ＞

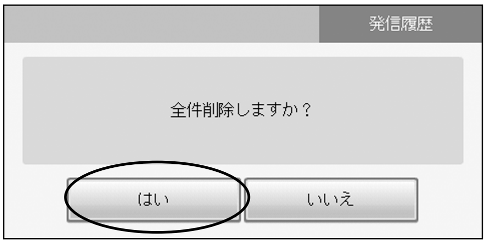


＜携帯イメージ＞

❶ [履歴] ➡ [発信履歴] ／ [着信履歴] の順にタッチする

● 携帯イメージの待受画面から操作するときは **[発信履歴]** ／ **[着信履歴]** にタッチする

❷ [全件削除] にタッチする



❸ [はい] にタッチする

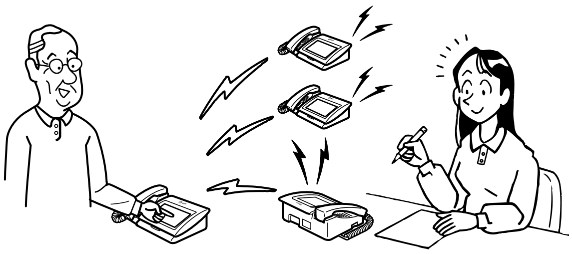
お知らせ

● 全件削除後の発信／着信履歴は、ユーザがログアウトしたときにUD-主装置に保存されますので、下記の場合は全件削除前の発信／着信履歴に戻ります。
・ ユーザがログアウトする前に停電が発生し、停電が復旧したとき
・ ユーザがログアウトする前に別のUD-標準電話機でログインしたとき

他の内線電話機とお話しするには（内線通話）

他の内線電話機に電話をかけてお話しすることができます。

また、すべての内線電話機の呼出音を一斉に鳴らすこともできます。この場合、応答した方とお話しできます。



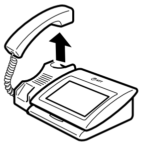
＜呼び出す内線の選択画面例＞

呼び出せる状態の内線は「待機」と表示される
下記の表示の内線は呼び出せない
「使用中」：通話中、発信中、ドアホン／内線着信中、個別保留中、用件メッセージ再生中、通話録音再生中、カメラドアホンの画像再生中
「着信中」：外線着信中、スライド着信中
※ログインしていないユーザは､タッチパネルに表示されません｡また、表示内容は、画面を表示している間は更新されません。

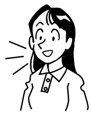
［一斉呼出］にタッチすると、待機中の内線を一斉に呼び出せる
※UD-コードレス電話機をお使いの内線は、「使用中」と表示されていても、一斉呼び出しができる場合があります。

内線通話の操作は、次の通りです。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

他の内線電話機に電話をかける ☛P2-54

［内線］ ▶ 呼び出す内線に ▶  ▶

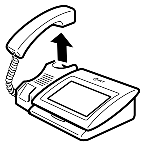
ハンドフリーで他の内線電話機に電話をかける ☛P2-54

［内線］ ▶ 呼び出す内線に ▶ 

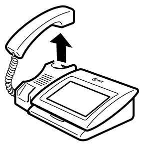
他の内線電話機の呼出音を一斉に鳴らす ☛P2-56

［内線］

▶ **［一斉呼出］**

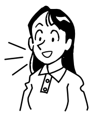
▶

▶

内線電話を受ける ☛P2-57


▶

ハンドフリーで内線電話を受ける ☛P2-57

［着信中］

▶

▶ 終了したら **［切る］**

ワンポイント

- **ハンドフリーでのお話しに切り替えるには**
  受話器を取りあげての発信中または通話中に、**［ハンドフリー］**にタッチして受話器を戻し、マイクに向かってお話しします。**［ハンドフリー］**にタッチしたあと受話器を戻さなくてもハンドフリーでお話しできますが、相手が電話を切ったときに「プープー…」いう話中音が受話器から聞こえます。
- **受話器を使ったお話しに切り替えるには**
  ハンドフリーで発信中または通話中に、受話器を取りあげます。
- **呼び出し中に外線着信／ドアホン着信があったときは**
  内線の呼び出しが中止され、着信中の画面になります。
- **呼び出し中の相手に外線着信があったときは**
  呼び出し中に相手の内線電話機に外から電話がかかってくると、「プープー…」という話中音が聞こえ、呼び出しが中止されることがあります。その場合は、受話器を戻してください。
- **待受画面に戻るには**
  ［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

お知らせ

- ログインしていないユーザは呼び出せません。

他の内線電話機とお話しするには（内線通話）

他の内線電話機に電話をかける

呼び出したい内線が表示されていない（ログインしていない）ときや、**［使用中］**または**［着信中］**が表示されている内線は呼び出せません。

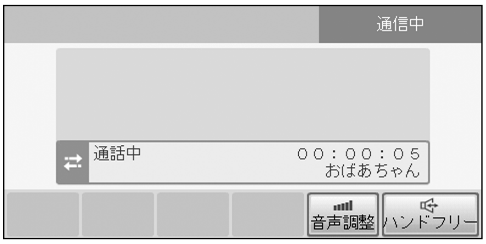
<基本イメージ>

<携帯イメージ>

❶ **［内線］**にタッチする

❷ 呼び出す内線にタッチする

- **目的の内線が表示されていないときは**
  ［待受画面に戻る］にタッチして待受画面に戻る
- **［使用中］または［着信中］が表示されているときは**
  ［待受画面に戻る］にタッチして待受画面に戻る



❸ 受話器を取りあげ、相手につながったらお話しする

- **ハンドフリーでかけるときは**
  受話器を取りあげずにそのまま待ち、相手につながったらマイクに向かってお話しする

❹ お話しが終わったら、受話器を戻すか、**［切る］**にタッチする

ワンポイント

- **内線番号を使って呼び出すには**
  受話器を使ってお話しするときは、次のように操作します。
  ① 受話器を取りあげる
  ② 内線番号を入力する
  ③ そのまま待つか**【発信】**または**【#】**にタッチし、相手が応答したらお話しする
  内線番号をダイヤルボタンで押してから受話器を取りあげて呼び出すこともできます。
  また、ハンドフリーでかけるときは、次のように操作します。
  ① **【ハンドフリー】**にタッチする
  ② 内線番号を入力する
  ③ そのまま待つか**【発信】**または**【#】**にタッチし、相手が応答したらマイクに向かってお話しする
- **呼出音でなく、声で呼び出すには**
  呼出音を鳴らさずに、声で呼びかけられるように設定することができます。（☛P3-8）
  声で呼び出せるのはUD-標準電話機だけです。UD-標準電話機以外の内線電話機を声で呼び出したときは、呼出音が鳴ります。

お知らせ

- 手順❶、❷のときに、外線または内線で電話がかかってきた場合やドアホンから呼び出された場合は、発信が中止されます。
- 手順❸でタッチパネルに「発信中」と表示されているときに、外線で電話がかかってきた場合やドアホンから呼び出された場合は、発信が中止されます。
- 内線発信先選択画面は、表示中に内線電話機の状態が変化しても更新されません。このため、手順❷で呼び出す内線にタッチしても呼び出せないことがあります。

他の内線電話機とお話しするには（内線通話）

他の内線電話機の呼出音を一斉に鳴らす

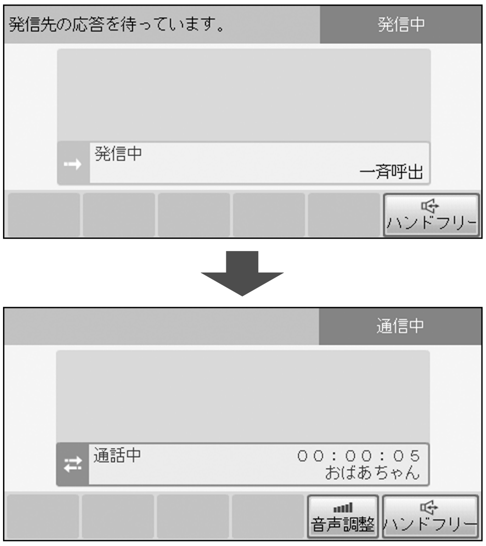
一斉呼び出しをすると、ログイン状態の内線電話機で呼出音が一斉に鳴ります。いずれかの内線電話機が応答すると、お話しできます。

<基本イメージ>

<携帯イメージ>

❶ **［内線］にタッチする**

❷ **［一斉呼出］にタッチする**



❸ **受話器を取りあげ、他の内線電話機が応答したらお話しする**

● ハンドフリーでかけるときは
受話器を取りあげずにそのまま待ち、他の内線電話機が応答したらマイクに向かってお話しする

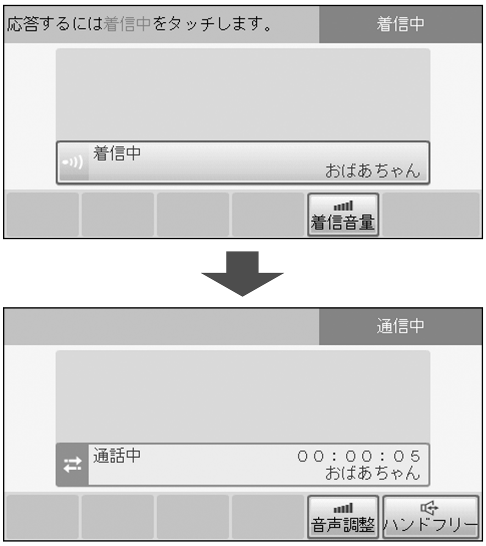
❹ **お話しが終わったら、受話器を戻すか、［切る］にタッチする**

お知らせ

- 音声で一斉呼び出しすることはできません。
- 内線発信先選択画面は、表示中に内線電話機の状態が変化しても更新されません。このため、手順❷で**［一斉呼出］**にタッチしても呼び出せないことがあります。
- UD-コードレス電話機をお使いの内線は、**［使用中］**と表示されていても、一斉呼び出しができる場合があります。
- 呼び出すことができる内線がない場合は、**［一斉呼出］**がタッチ無効の薄い表示になります。
- 他の内線電話機と同時に一斉呼び出しを行ったときは、呼び出しができないことがあります。その場合は、もう一度一斉呼び出しを行ってください。

内線電話を受ける

内線電話がかかってくると、呼出音または呼びかける声が聞こえます。外からかかってきたときと同様に、受話器を取りあげるとお話しできます。



❶ 着信中に受話器を取りあげて、お話しする

●ハンドフリーで受けるときは
［着信中］にタッチし、マイクに向かってお話しする

❷ お話しが終わったら、受話器を戻すか、［切る］にタッチする

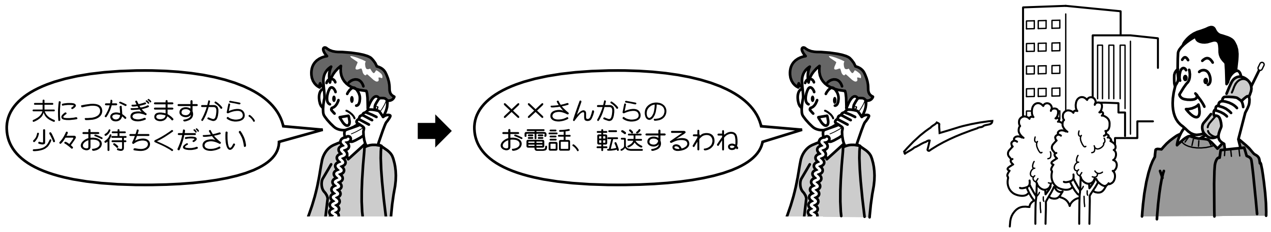
お知らせ

- 内線着信中にドアホンからの呼び出しがあったときは、ドアホンからの呼び出しが優先され、ドアホン着信に切り替わります。このとき、内線着信は切れます。
- 内線着信中に外線着信があったときは、外線着信が優先され、外線着信に切り替わります。このとき、内線着信は切れます。

電話を取り次ぐには（保留転送）

外の相手との通話をいったん保留して、他の内線電話機へ転送することができます（内線転送）。

また、通話を他の外線に転送することもできます（外線転送）。外線に転送するには、あらかじめ外線転送先の電話番号を登録しておく必要があります。転送先電話番号は、ユーザごとに5件まで登録できます。
このサービスをご利用になるには、当社とのダブルチャネルサービスまたは複数チャネルサービスのご契約（有料）が必要です。また、ご契約状況に合わせて複数チャネル契約の設定を変更しておく必要があります。（☛P2-90）



操作方法は、次の通りです。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

他の内線電話機に取り次ぐ（内線転送）　☛P2-60

通話中の相手に

▶ **［転送］** ▶ 転送先の内線に ▶ 相手が応答したら

▶ **［転送開始］**

外線に取り次ぐ（外線転送）　☛P2-61

通話中の相手に

▶ **［転送］** ▶ **［外線転送先リスト］** ▶ 転送先に ▶

相手が応答したら

▶ **［転送開始］**

転送先電話番号を登録／修正する ☛P2-62

【設定】 ▶ 【▼】 ▶ 【転送】 ▶ 【転送先外線登録】 ▶ 未登録／修正する転送先に ▶ 【編集】 ▶

名前を入力／修正 ▶ 【確定】 ▶（必要に応じてフリガナを修正）▶ 【確定】 ▶ 電話番号を入力／修正 ▶

【確定】

ワンポイント

● **保留の状態が5分以上続くと**
受話器またはスピーカから「ププププ、ププププ…」という通話中保留警報音が聞こえます。転送を完了するか、保留している相手との通話に戻ってください。何も操作をせず、そのまま保留状態が続くと、約30秒後に保留している相手との電話が切れます。外線転送や内線転送で、相手を呼び出しているときは「ププププ、ププププ…」という保留警報音は聞こえません。

● **転送先電話番号に登録できる内容は**
・名前（全角のみで10文字までの漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号）
・フリガナ（全角のみで20文字までのカタカナ、英字、数字、記号）
・電話番号（3〜32桁）
電話番号には、「0」〜「9」の数字、「#」「＊」を登録できます。ただし、「#」が入力できるのは、1桁目のみです。名前やフリガナを入力せずに**【確定】**にタッチし、電話番号だけでも登録できます。110番、119番、118番は登録しないでください。

● **待受画面に戻るには**
【待受画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● **1つ前の画面に戻るには**
【前画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

お知らせ

● **【複数チャネル契約】**（☛P2-95）を「設定する」に設定し、転送先電話番号を登録すると、外線転送のときに**【外線転送先リスト】**が表示されます。

● **【複数チャネル契約】**（☛P2-95）を「設定する」に設定すると、**【設定】**→**【▼】**のあとに**【転送】**が表示され、**【転送先外線登録】**の設定ができます。

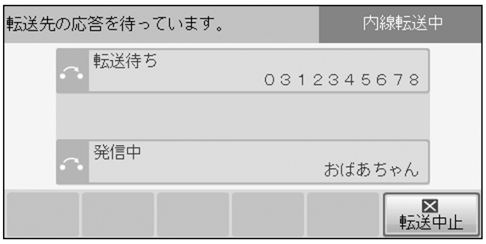
●電話を取り次ぐには（保留転送）●

他の内線電話機に取り次ぐ（内線転送）

外の相手との通話を保留にし、目的の内線を呼び出して転送します。呼び出したい内線が表示されていない（ログインしていない）ときは、呼び出せません。

❶ 通話中の相手に待っていただくように伝え、［転送］にタッチする

通話は継続しています。



❷ 転送先の内線にタッチする

保留状態になり、相手には保留メロディが流れます。

- **目的の内線が表示されていないときや［使用中］または［着信中］が表示されているときは**
  転送先の内線にタッチするまで通話は継続しているので、そのまま外の相手との通話に戻る

- **呼び出しを中止して外の相手との通話に戻るときは**
  ［転送中止］→［保留中］の順にタッチして外の相手との通話に戻る

❸ 相手が応答したら電話を取り次ぐことを伝え、［転送開始］にタッチする

ワンポイント

- **転送したい相手が近くにいるときは（口頭転送）**
  共通保留（☛P2-24）の操作のあと、電話を転送することを口頭で伝えます。転送先では、UD-標準電話機の受話器を取りあげると、電話に出ることができます。転送先のUD-標準電話機が着信中の場合は、**［保留中］**と表示されている番号にタッチしてから受話器を取りあげます。**［保留中］**にタッチせずに受話器を取りあげると、着信中の電話への応答となります。
- **呼び出し中の相手に外線着信があったときは**
  呼び出し中に相手の内線電話機に外から電話がかかってくると、「プープー…」という話中音が聞こえ、呼び出しが中止されることがあります。その場合は、**［転送中止］→［保留中］**の順にタッチして、外の相手との通話に戻ってください。

お知らせ

- 内線転送先選択画面は、表示中に内線電話機の状態が変化しても更新されません。このため、手順❷で転送先の内線にタッチしても呼び出せないことがあります。

外線に取り次ぐ（外線転送）

外の相手との通話を保留にし、転送先に電話をかけて転送します。あらかじめ転送先電話番号を登録しておく必要があります。（☛P2-62）

❶ 通話中の相手に待っていただくように伝え、［転送］にタッチする

通話は継続しています。

❷［外線転送先リスト］にタッチする

❸ 転送先にタッチする

保留状態になり、相手には保留メロディが流れます。

- **転送を中止して外の相手との通話に戻るときは**
  転送先にタッチするまで通話は継続しているので、そのまま外の相手とお話しする

- **転送先が応答しないときやお話し中のときは**
  ［転送中止］→**［保留中］**の順にタッチして外の相手との通話に戻る

❹ 相手が応答したら電話を取り次ぐことを伝え、［転送開始］にタッチする

お知らせ

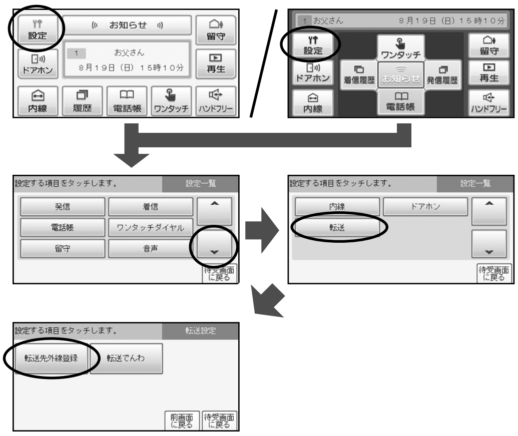
- あらかじめ転送先を登録していないと、手順❷で**［外線転送先リスト］**が表示されません。
- もう一つの回線が使用中の場合は、手順❷で**［外線転送先リスト］**が表示されません。

● 電話を取り次ぐには（保留転送）●

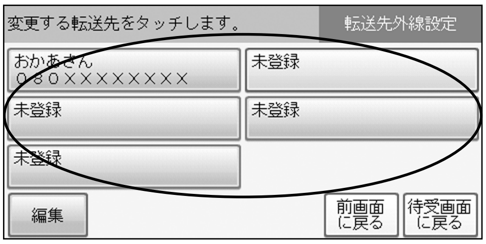
転送先電話番号を登録／修正する

転送先電話番号は、ユーザごとに5件まで登録できます。

<基本イメージ>　<携帯イメージ>



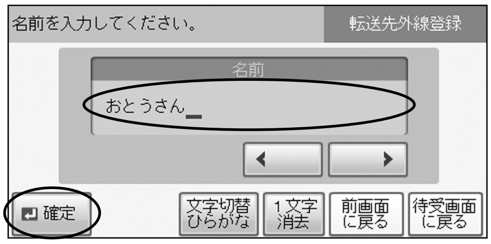
❶ **［設定］➡［⌄］➡［転送］➡［転送先外線登録］**の順にタッチする



❷ 新しい転送先を登録するときは**［未登録］**にタッチする

● **転送先を修正するには**
修正する転送先にタッチする

❸ **［編集］**にタッチする

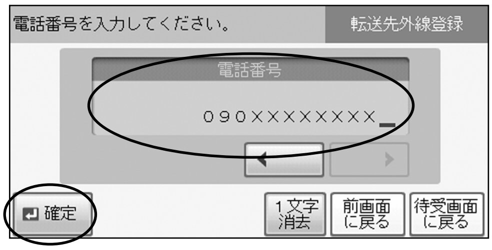


❹ 名前を入力し、**［確定］**にタッチする

● 「文字入力のしかた」（☛P1-27）

❺ フリガナを確認し、**【確定】**にタッチする

● **フリガナを修正するときは**
　①**【1文字消去】**にタッチして文字を消去する
　②ダイヤルボタンで文字を入力する（☛「文字入力のしかた」P1-27）



❻ ダイヤルボタンで転送先の電話番号を入力し、**【確定】**にタッチする

ワンポイント

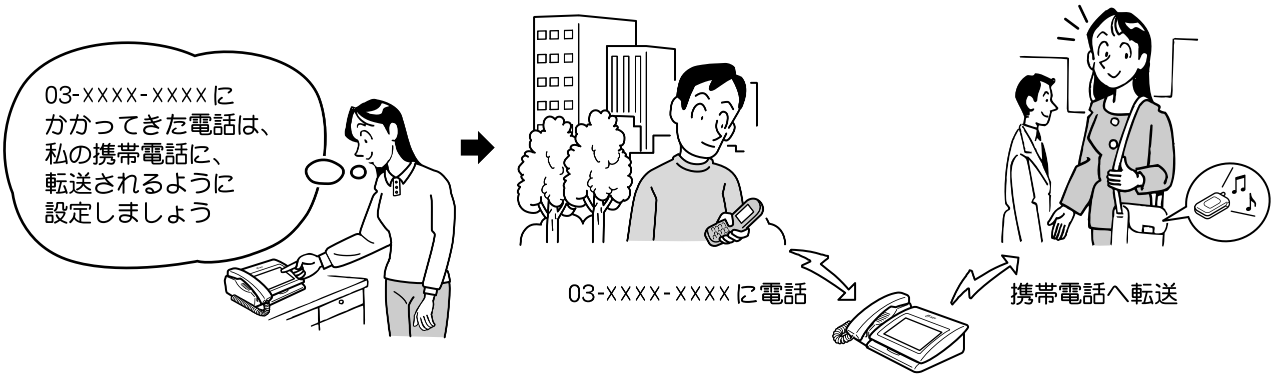
● **転送先電話番号を削除するには**
　① 手順❶の操作をする
　② 削除する登録内容にタッチする
　③ **【削除】**にタッチする
　④ **【この登録を削除する】**にタッチする

● **待受画面に戻るには**
　【待受画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● **1つ前の画面に戻るには**
　【前画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

かかってきた電話を自動的に転送させるには（転送でんわ）

かかってきた電話を、あらかじめ登録しておいた転送先電話番号に自動的に転送させることができます。このサービスをご利用になるには、当社とのダブルチャネルサービスまたは複数チャネルサービスのご契約（有料）が必要です。また、ご契約状況に合わせて複数チャネル契約の設定を変更しておく必要があります。（☛P2-90）
転送先は、番号（最大5回線）ごとに登録できます。また、着信から転送開始までの秒数を設定することができます。



転送でんわの設定方法は、次の通りです。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

転送を設定する　☛P2-66

［設定］ ▶ ［︾］ ▶ ［転送］ ▶ ［転送でんわ］ ▶ 設定する番号に ▶ 転送開始の秒数に※ ▶ 電話番号を入力 ▶ ［確定］

※：電話番号がすでに登録されている場合は、ここで操作が完了します。

転送先電話番号を変更する　☛P2-67

［設定］ ▶ ［︾］ ▶ ［転送］ ▶ ［転送でんわ］ ▶ 設定を変更する番号に ▶ ［転送先変更］ ▶ 電話番号を修正 ▶ ［確定］

転送を解除する　☛P2-67

［設定］ ▶ ［︾］ ▶ ［転送］ ▶ ［転送でんわ］ ▶ 設定を解除する番号に ▶ ［転送しない］

ワンポイント

- **転送先電話番号に登録できる内容は**
  3〜32桁の電話番号を登録できます。「#」、「＊」も登録できます。ただし、「#」が入力できるのは、1桁目のみです。110番、119番、118番は登録しないでください。登録しても転送は行われません。
  転送を設定する番号と同じ電話番号は登録しないでください。
- **着信と同時に転送するように設定するには**
  転送の開始時間を「無条件転送」に設定します。
- **待受画面に戻るには**
  ［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- **1つ前の画面に戻るには**
  ［前画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

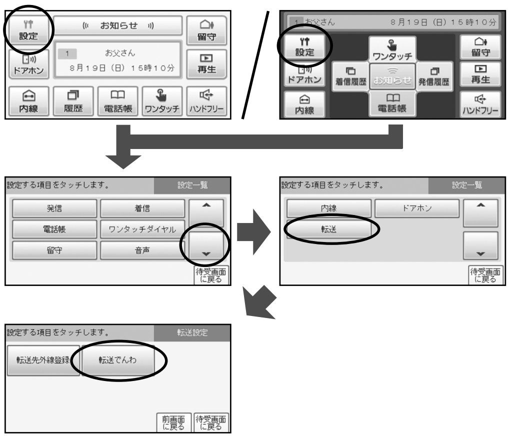
お知らせ

- 外線の空きがないときは、電話をかけてきた相手に「プープー…」という話中音が聞こえ、転送は中止されます。
- **［複数チャネル契約］**（☛P2-95）を「設定する」に設定すると、**［設定］**→**［ ▼ ］**のあとに**［転送］**が表示され、**［転送でんわ］**の設定ができます。
- テレビ電話着信時は、電話をかけてきた相手に「プープー…」という話中音が聞こえ、転送されません。
- 転送でんわをご利用になるときは、ひかり電話対応機器のアナログ端末の設定を「使用しない」に設定してください。設定方法については、ひかり電話対応機器の取扱説明書を参照してください。

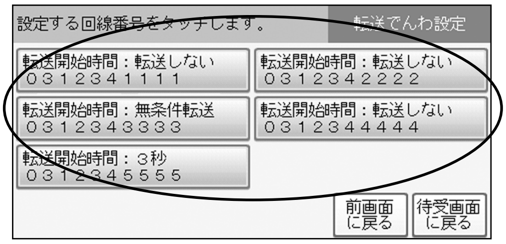
かかってきた電話を自動的に転送させるには（転送でんわ）

転送を設定する

＜基本イメージ＞　＜携帯イメージ＞



❶ **［設定］➡［ ⌄ ］➡［転送］➡［転送でんわ］**の順にタッチする



❷ 転送を設定する番号にタッチする

❸ 転送を開始する秒数にタッチする

- 着信と同時に転送させるときは**［無条件転送］**にタッチする
- 電話番号がすでに登録されているときはここで操作が完了します。

❹ ダイヤルボタンで転送先の電話番号を入力し、**［確定］**にタッチする

ワンポイント

● **転送先電話番号を変更するには**
① 手順❶の操作をする
② 転送先を変更する番号にタッチする
③ **【転送先変更】**にタッチする
④ 電話番号を修正し、**【確定】**にタッチする

● **転送を解除するには**
① 手順❶の操作をする
② 転送を解除する番号にタッチする
③ **【転送しない】**にタッチする

● **転送先電話番号を削除するには**
① 手順❶の操作をする
② 登録を削除する番号にタッチする
③ **【転送先削除】**にタッチする
④ **【この番号を削除する】**にタッチする

● **待受画面に戻るには**
【待受画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● **1つ前の画面に戻るには**
【前画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

● **外出先から転送を設定するには**
外出先から自宅に電話をかけ、リモート操作で転送を設定することができます。
① 転送を設定する番号に電話をかける
② 応答専用メッセージまたは留守番電話の応答メッセージが聞こえたら、# を押す
応答メッセージが停止し、「暗証番号とシャープを入力してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。
③ ダイヤルボタンでリモート操作用の暗証番号を押し、続けて # を押す
④ 9 # を押す
⑤ 4 # を押す
「転送電話を設定しました。」という音声ガイダンスが聞こえます。
⑥ 電話を切る
・転送の設定を解除するときは、手順⑤で 6 # を押します。
外出先から転送の設定を解除できるのは、応答専用メッセージまたは留守番電話の応答メッセージが聞こえた場合です。
・リモート操作できる電話機は、プッシュホンか、トーン信号を送ることができる電話機です。
ダイヤル回線でも電話機にトーン信号を送る機能があれば、リモート操作ができます。リモート操作のときは、ダイヤルボタンを長めに押してください。
・ダイヤル回線からの場合は、手順②で # を押す前にトーン信号に切り替えてください。
・暗証番号を3回間違えると、自動的に電話が切れます。
・リモート操作をするには、あらかじめリモート操作用の暗証番号（☛P2-80）、在宅留守応答（☛P2-86）または留守番電話（☛P2-72）、転送先電話番号が設定されている必要があります。

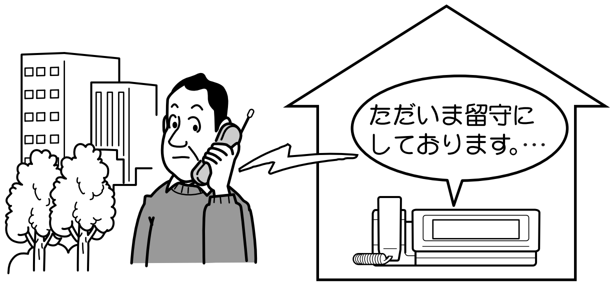
留守番電話を使うには

留守番電話を設定すると、外出中にかかってきた電話に対して応答メッセージを流し、用件を録音してもらうことができます。
留守番電話の設定は番号ごとにできるので、特定の番号にかかってきた電話にだけ留守番電話で応答するように設定することもできます。また、番号ごとに異なる応答メッセージを設定することもできます。

● 外出するとき
留守番電話を設定します。

留守が設定されると…
- **［留守］**が赤く表示される。
（番号が1つの場合、または着信可能な複数の番号のすべてを留守設定した場合）
- **［留守］**が緑に表示される。
（着信可能な複数の番号のうち、一部の番号を留守設定した場合）
- おしらせランプが点灯する。お知らせ（☛P4-6）がある場合は、点滅する。

● 外出中
留守中にかかってきた電話は、留守番電話が応答します。かけてきた方に用件メッセージを録音してもらいます。



● 帰宅したら
用件メッセージが録音されているときは、おしらせランプが点滅し、待受画面の**［再生］**が赤く表示されます。用件メッセージを再生して聞きます。

● さらに外線リモート操作を利用すると…
リモート操作用暗証番号を登録すると、外出先の電話機から次の留守番電話の操作ができるようになります（外線リモート操作）。
- 留守番電話に設定するのを忘れて外出したとき、外出先から自宅に電話をかけて設定する（☛P2-84）
- 録音された用件メッセージを外出先の電話機で聞く（☛P2-82）
- 録音された用件メッセージを外出先の電話機に転送する（用件転送）（☛P2-87）

留守番電話を使うには、次のように操作します。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

留守番電話を設定する　☛P2-72

[留守]※ ▶ 設定する番号に ▶ **[留守設定]**

※：着信できる番号が1つの場合は、これで設定が完了します。

留守番電話を解除する　☛P2-73

[留守]※ ▶ **[設定中]**と表示されている番号に ▶ **[留守設定]**

※：着信できる番号が1つの場合は、ここで解除が完了します。

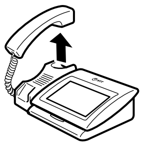
待受画面のお知らせ表示から用件を再生する　☛P2-74

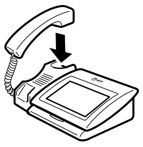
[お知らせ] ▶ **[録音メッセージが×件あります]**※ ▶ 再生する番号に ▶ **[再生]**

※：未再生の用件メッセージのある番号が1つの場合は、これで再生が始まります。

応答メッセージを自分の声で録音する　☛P2-78

[設定] ▶ **[留守]** ▶ **[応答メッセージ]** ▶ 設定する番号に ▶ **[録音音声]** ▶ **[応答メッセージ録音]** ▶

 ▶

▶ **[録音終了]** ▶ 

リモート操作用暗証番号を登録する　☛P2-80

[設定] ▶ **[留守]** ▶ **[留守暗証番号]** ▶ 設定する番号に ▶ 暗証番号（4桁の数字）を入力 ▶ **[確定]**

次ページにつづく▶

留守番電話を使うには

用件転送を設定する　☛P2-87

[設定] ▶ **[留守]** ▶ **[留守転送]** ▶ 設定する番号に ▶ **[転送する]**※ ▶

転送先の電話番号を入力 ▶ **[確定]**

※：電話番号がすでに登録されているときは、ここで操作が完了します。

用件転送を解除する　☛P2-88

[設定] ▶ **[留守]** ▶ **[留守転送]** ▶ 解除する番号に ▶ **[転送しない]**

ワンポイント

● **用件メッセージ録音中に電話に出るには**
受話器を取りあげると、録音中の相手とお話しすることができます。

● **用件メッセージ録音中にかかってきた別の電話に出るには**
［着信中］にタッチすると、あとからかけてきた相手とハンドフリーでお話しすることができます。受話器を取りあげると、受話器でお話しできます。

● **相手に流すメッセージ（応答メッセージ）を変更するには**
お買い求め時は、応答メッセージとしてあらかじめ用意されている固定音声メッセージが流れるように設定されています。

固定音声メッセージ：「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音のあとにお話しください。」

応答メッセージを応答専用メッセージに変更して、用件メッセージを録音しないように設定することもできます。（☛P3-7）

応答専用メッセージ：「ただいま出かけております。またお電話ください。」

録音した応答メッセージ：応答メッセージを録音し、録音した応答メッセージに変更することもできます。（☛P2-78、2-79、3-7）

● **用件メッセージの録音時間や件数は**
用件メッセージは1件につき約30秒まで録音できます。１件あたりの録音時間は、「5分」に変更することができます。（☛『②総合編』）用件メッセージ、通話録音メッセージと合わせて、IPテレホンUD全体で最大約45分、60件まで録音可能です。

● **録音が満杯になる条件は**
・用件メッセージ、通話録音メッセージと合わせて、IPテレホンUD全体で60件になっているとき
・録音できる時間の残りが、1件あたりの録音時間（お買い求め時の設定で約30秒）未満のとき

● **応答時間を変更するには**
電話をかけてから応答メッセージが流れるまでの時間を、未再生の用件メッセージがある場合と、ない場合とで、別々に設定することができます。（☛P3-6）

● **留守番電話を設定するときに前の用件を削除するには**
お買い求め時は、再生済みの用件を削除せずに保存しておく「アキュムレート録音」が設定されています。設定を変更し、一度留守番電話を解除して聞いた用件は、次に留守番電話を設定するときに自動的に削除されるようにすることができます。（☛『②総合編』）

＜用件A、Bが前回に録音され、すでに再生していた場合＞

アキュムレート録音：

用件 A	用件 B	用件 C	用件 D	用件 …

保存される　　ここから録音される

アキュムレート録音「しない」の場合：

用件 C	用件 D	用件 E	用件 F	用件 …

用件A、Bが削除され、先頭から録音される

● **在宅留守応答について**
在宅留守応答（☛P2-86）とは、留守番電話が設定されていないときでも着信後約45秒で自動的に応答し、応答専用メッセージを流す機能です。自動応答のあとリモート操作することにより、外出先から留守番電話を設定（☛P2-84）したり、保存されている用件メッセージを聞いたりすることができます。

お買い求め時は、すべての番号に在宅留守応答が設定されています。

お知らせ

●用件メッセージ録音中は、最後に留守番電話を設定したUD-標準電話機のスピーカから相手の声が聞こえます。用件メッセージ録音中に、ドアホンからの呼び出しがあったときは、スピーカからの相手の声は止まります。

● 下記の場合は、用件メッセージ録音中に相手の声がスピーカから聞こえません。
・留守番電話を設定したあとに、**［個別着信］**（☛P3-4）で着信させる番号の設定を解除したとき
・外線通話中、内線通話中、ドアホンで外の様子を確認中、ドアホン通話中に、外からかかってきた電話に留守番電話で応答したとき

● 録音が満杯のときは、応答専用メッセージでの応答となり、用件メッセージを録音できません。また、下記の場合は、留守番電話で応答できません。
・他の内線電話機が留守番電話機能や通話録音機能を使用しているとき
・外出先からリモート操作で留守番電話機能を使用しているとき
・他の回線が留守応答中のとき

留守番電話を使うには

外出する前に（留守の設定）

＜基本イメージ＞

＜携帯イメージ＞

❶［留守］にタッチする

着信できる番号が1つの場合は、これで設定完了です。

❷ 設定する番号にタッチする

- 複数の番号に留守番電話を設定するには
  設定する番号をすべてタッチする
- すべての番号に留守番電話を設定するには
  ［すべて選択］にタッチする

❸［留守設定］にタッチする

留守を設定した番号には、**［設定中］**と表示されています。

留守が設定されると、待受画面の**［留守］**が赤く表示されます。
複数の番号が着信可能な場合は、すべての番号を留守設定したときは待受画面の**［留守］**が赤く、一部の番号を留守設定したときは緑に表示されます。

ワンポイント

- 留守番電話を解除するには
  ① 手順❶の操作をする（着信できる番号が1つの場合は、これで解除されます。）
  ② **［設定中］**と表示されている番号にタッチして**［設定中］**の表示を消す
  ③ **［留守設定］**にタッチする
- 応答メッセージを設定するには
  ① **［設定］→［留守］→［応答メッセージ］**の順にタッチする
  ② 応答メッセージを設定する番号にタッチする
  現在設定されている応答メッセージがオレンジ色に表示されます。
  ③ **［固定音声］**／**［応答専用音声］**※／**［録音音声］**にタッチする
  応答メッセージにタッチしたあと**［応答メッセージ確認］**にタッチすると、再生して内容を確認できます。
  ④ **［確定］**にタッチする
  ※：**［応答専用音声］**を選択すると、留守番電話は応答専用に設定されます。
- 待受画面に戻るには
  ［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

お知らせ

- アキュムレート録音（☛P2-71）が「しない」に設定されているときに、留守を設定すると、録音されている用件メッセージがすべて削除されます。用件メッセージがすべて再生される前に留守を設定したときは、未再生の用件メッセージがあっても再生したものとみなされ、録音されている用件メッセージがすべて削除されます。
- アキュムレート録音（☛P2-71）が「しない」に設定されているときに、留守を設定すると、タッチパネルには実際の録音可能時間より少ない時間が表示されることがあります。
- 着信できる番号が1つの場合、他の内線電話機で留守番電話を設定したすぐあとに**［留守］**をタッチしても、留守番電話を解除できないことがあります。そのときは、もう一度**［留守］**にタッチしてください。

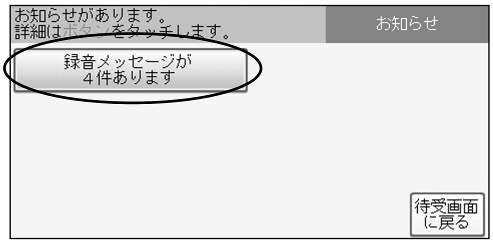
留守番電話を使うには

用件を聞く／削除する

外出中に用件メッセージが録音されていると、「お知らせ」が表示されます。用件メッセージは、録音された順に再生されます。

<基本イメージ>　<携帯イメージ>

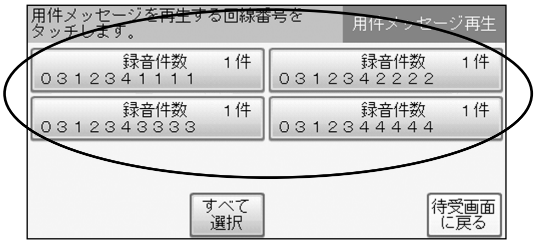
❶ ［お知らせ］にタッチする



❷ ［録音メッセージが×件あります］にタッチする

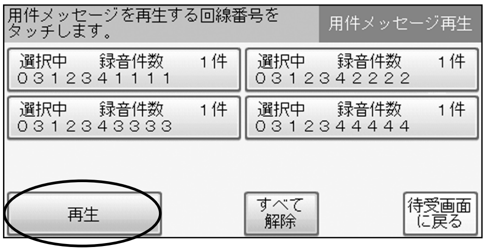
「×件」は再生していない用件メッセージの件数です。

用件メッセージが録音された番号が1つの場合は、手順❺に進みます。



❸ 再生する番号にタッチします。

- **複数の番号の用件メッセージを再生するには**
  再生する番号をすべてタッチする
- **すべての番号の用件メッセージを再生するには**
  ［すべて選択］にタッチする



❹ ［再生］にタッチする

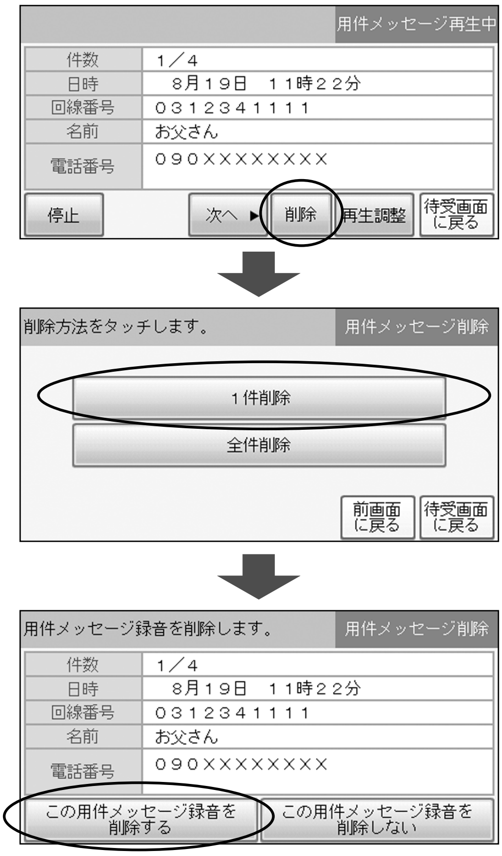
❺ 用件メッセージを聞く

録音件数「…件です。」のあと、用件メッセージが再生されます。各用件メッセージ再生後に録音日時をお知らせします（タイムスタンプ機能）。相手が電話番号を通知して電話をかけてきたときは、電話番号もお知らせします。

- **次の用件メッセージへスキップするには**
  ［次へ］にタッチする

● **1つ前の用件メッセージに戻るには**
［戻る］にタッチする

● **再生を停止するには**
［停止］にタッチする
（再生停止後、**［再生］**にタッチすると、その用件メッセージの先頭から再生される）



● **再生中の用件メッセージを削除するには**
［削除］→［1件削除］→［この用件メッセージ録音を削除する］の順にタッチする

次ページにつづく▶

留守番電話を使うには

ワンポイント

● **用件メッセージ再生中に電話がかかってきたら**
再生を中止して呼出音が鳴り、電話を受けることができます。

● **用件を聞き直すには**
① 待受画面で **【再生】→【用件メッセージ再生】** の順にタッチする
②「用件を聞く／削除する」（☛P2-74）の手順❸～❺の操作をする
（手順❸～❹は不要な場合があります。）

● **【お知らせ】にタッチしてから用件メッセージを全件削除するには**
次のように操作します。未再生の用件メッセージも削除されます。
① 手順❶～❺の操作をする
② 用件メッセージ再生中に **【削除】→【全件削除】→【はい】** の順にタッチする

● **待受画面から用件メッセージを全件削除するには**
次のように操作します。未再生の用件メッセージも削除されます。
① 待受画面で **【再生】→【用件メッセージ再生】** の順にタッチする
②「用件を聞く／削除する」の手順❸～❺の操作をする
（手順❸～❹は不要な場合があります。）
③ 用件メッセージ再生中に **【削除】→【全件削除】→【はい】** の順にタッチする

お知らせ

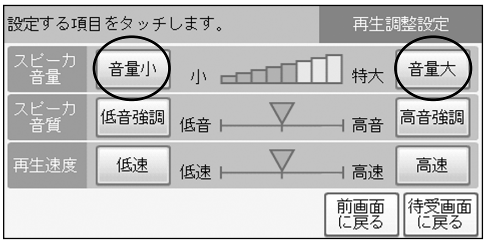
● 手順❶で **【お知らせ】** にタッチしたあと、**【録音メッセージがX件あります】** のタッチが有効になるまでに時間がかかることがあります。
● 手順❸、❹で、約30秒間何も操作をしないと、待受画面に戻ります。
● 手順❺で、再生を停止してから約30秒間何も操作をしないと、待受画面に戻ります。
● 用件メッセージは番号ごとに録音されますが、再生時には、番号に関係なく録音された順に再生されます。
● 下記の場合は、用件を聞いたり、削除することはできません。
・ 他の内線電話機が留守番電話機能や通話録音機能を使用しているとき
・ 外出先からリモート操作で留守番電話機能を使用しているとき
● 相手が約10秒間何も話さなかったり、声が小さすぎたときは、電話が切れます。このときも1件分の用件メッセージとして数えられることがあります。また、相手が応答メッセージの途中で電話を切ったときも、1件分の用件メッセージとして数えられることがあります。
● 2秒以内の用件メッセージは録音されません。
● 録音が満杯になると、応答メッセージは自動的に応答専用メッセージに切り替わります。
● 用件メッセージの全件削除を行うと、件数によって削除に時間（最大30秒）がかかることがあります。その間、留守番電話機能や通話録音機能は利用できません。
● 用件メッセージを録音した相手のワンタッチダイヤルや電話帳に登録されている登録名（フリガナ）は、音声で読み上げません。

再生の音量／音質／速度を調整する

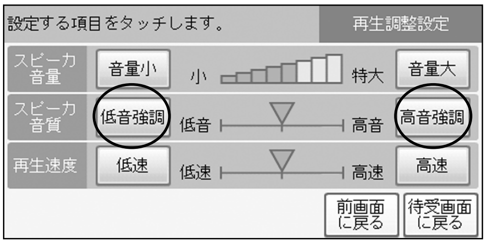
音量は、「小」から「特大」までの8段階に調整できます。
音質を「低音強調」、「標準」、「高音強調」のいずれかに調整することにより、聞き取りにくい声が聞こえやすくなる場合があります。
再生速度は「低速」、「標準」、「高速」に調整できます。早口で聞き取りにくいときは「低速」に、素速く聞き取りたいときには「高速」を設定します。

❶ 用件メッセージの再生中に **［再生調整］** にタッチする

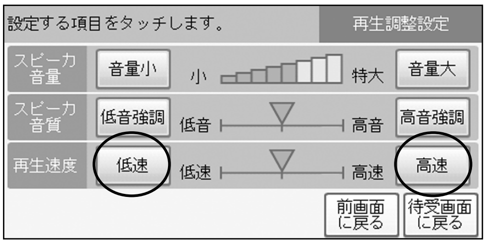
❷ 再生音声を調整する



● **再生音量を調整するには**
「スピーカ音量」の **［音量小］** ／ **［音量大］** にタッチする



● **再生音質を調整するには**
「スピーカ音質」の **［低音強調］** ／ **［高音強調］** にタッチする



● **再生速度を調整するには**
「再生速度」の **［低速］** ／ **［高速］** にタッチする

お知らせ

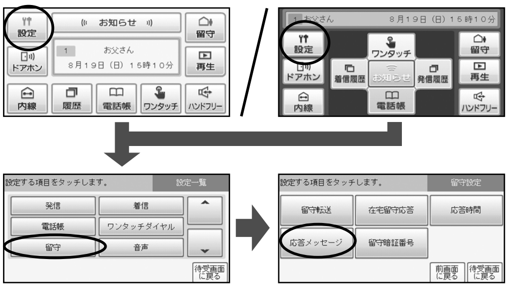
- 再生音量の設定は、スピーカ音量の共通の設定として保存され、ハンドフリーでお話しするときのスピーカ音量にも反映されます。
- 再生中の用件メッセージに再生速度の変更は反映されません。次の用件メッセージの再生から速度が変わります。
- スピーカ音質を調整するときに、音が途切れることやプツプツという音がすることがあります。

留守番電話を使うには

応答メッセージを自分の声で録音する

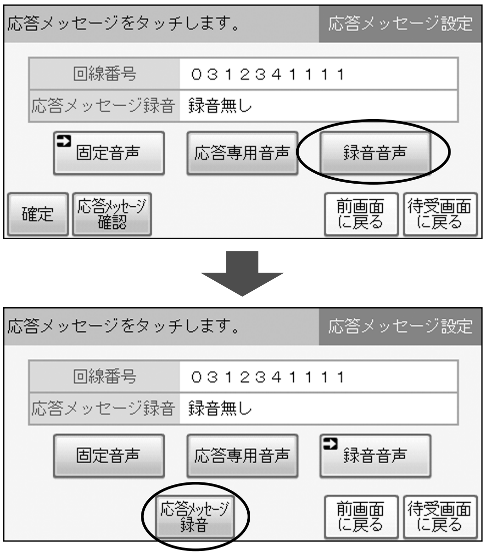
自分の声で応答メッセージを録音することができます。番号ごとに異なるメッセージを録音できます。録音できる時間は、約15秒です。録音後は、応答メッセージを再生し、確認してください。

<基本イメージ>　<携帯イメージ>



❶ [設定] ➡[留守] ➡[応答メッセージ] の順にタッチする

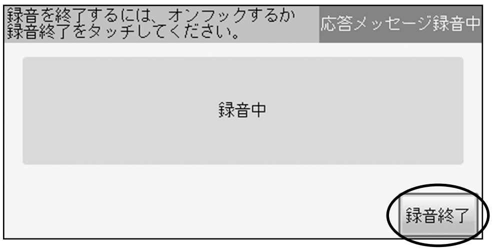
❷ 設定する番号にタッチする



❸ [録音音声] ➡[応答メッセージ録音] の順にタッチする

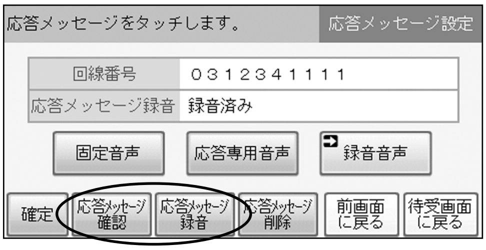
❹ 受話器を取りあげて、応答メッセージを話す

「録音します。ピー」という音声ガイダンスが聞こえますので、「ピー」という音のあとに3秒以上録音してください。



❺ [録音終了] にタッチし、受話器を戻す

約15秒経過すると、自動的に録音が終了します。



❻ 録音した応答メッセージを確認し、必要に応じて録音し直す

●録音した応答メッセージを確認するときは
[応答メッセージ確認] にタッチする

●録音し直すときは
① **[応答メッセージ録音]** にタッチする
②手順❹～❺の操作をする

ワンポイント

● 録音した応答メッセージを設定するには
① 手順❶の操作をする
② 応答メッセージを設定する番号にタッチする
現在設定されている応答メッセージがオレンジ色に表示されます。
③ **[録音音声]** にタッチする
[録音音声] にタッチしたあと **[応答メッセージ確認]** にタッチすると、再生して内容を確認できます。
④ **[確定]** にタッチする

● 録音した応答メッセージを削除するには
① 手順❶～❷の操作をする
② **[録音音声]** → **[応答メッセージ削除]** → **[はい]** の順にタッチする
録音した応答メッセージを削除すると、応答メッセージの設定は「固定音声」になります。

● 録音中に電話がかかってきたときは
録音が中止され、呼出音が鳴ります。**[着信中]** にタッチすると、電話を受けてお話しすることができます。このとき、録音していた内容は破棄されます。

● 待受画面に戻るには
[待受画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
[前画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

お知らせ

● 下記の場合は録音できません。
・他のUD-標準電話機が留守応答中、用件メッセージを再生中、通話録音中、通話録音再生中、応答メッセージを録音中のとき
・外出先からリモート操作で留守番電話機能を使用しているとき

● 何も話さず無音のまま録音を終了しても応答メッセージとして録音されますので、ご注意ください。

●「声の速度を調整する」(☛P2-27) の「音声速度」を「低速」に設定している場合は、手順❹の音声ガイダンスが低速になります。また、「ピー」という音が終了する約1秒前から録音されることがあります。

● 手順❺で **[録音終了]** にタッチしないで受話器を戻しても録音は終了しますが、応答メッセージに雑音が入ることがあります。

留守番電話を使うには

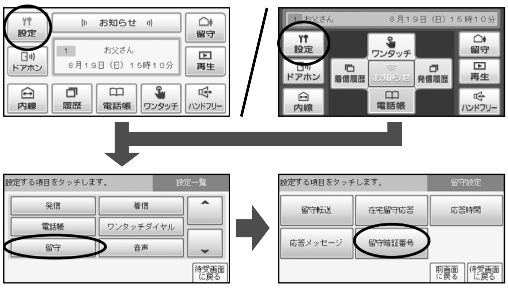
外出先からリモート操作する

外出先から自宅に電話をかけて留守番電話を設定したり、録音された用件メッセージを聞いたりするなどの操作をすることができます。リモート操作をするには、あらかじめリモート操作用の暗証番号（4桁の数字）を登録しておく必要があります。また、外出先から留守番電話を設定するには、在宅留守応答を設定しておく必要があります。

リモート操作用の暗証番号を登録する

お買い求め時、リモート操作用の暗証番号は登録されていません。リモート操作用の暗証番号は、番号ごとに登録することができます。

＜基本イメージ＞　＜携帯イメージ＞



❶ **［設定］➜［留守］➜［留守暗証番号］の順にタッチする**

❷ **設定する番号にタッチする**

暗証番号が設定されている番号には、**［暗証番号設定中］**と表示されています。

❸ **ダイヤルボタンで暗証番号（4桁の数字）を入力し、［確定］にタッチする**

● **暗証番号を修正するときは**
① **［1文字消去］**にタッチして番号を消去する
② ダイヤルボタンで番号を入力する

ワンポイント

● **暗証番号を変更するには**
① 手順❶～❷の操作をする
② **【1文字消去】** にタッチして番号を消去する
③ ダイヤルボタンで番号を入力し、**【確定】** にタッチする

● **暗証番号の登録を削除するには**
① 手順❶～❷の操作をする
② **【1文字消去】** にタッチして番号を全桁消し、**【確定】** にタッチする

● **待受画面に戻るには**
【待受画面に戻る】 が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● **1つ前の画面に戻るには**
【前画面に戻る】 が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

● **暗証番号を忘れたときは**
『②総合編』の「3章　Web設定を行う」の「留守暗証番号」を参照し、確認してください。

お知らせ

● 暗証番号は第三者に知られることのないようにご注意ください。また、定期的に変更することをおすすめします。

次ページにつづく▶

留守番電話を使うには

外出先から用件を聞く

外出先から自宅に電話をかけ、リモート操作で用件メッセージを聞くことができます。
リモート操作をするときは、確認したい番号に電話をかけてください。暗証番号を登録していない番号では、リモート操作ができません。

❶ 録音された用件メッセージを聞く番号に電話をかける

❷ 応答メッセージが聞こえている間に、# を押す

応答メッセージが停止し、「暗証番号とシャープを入力してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。

❸ ダイヤルボタンでリモート操作用の暗証番号を押し、続けて # を押す

❹ 7 # を押し、用件メッセージを聞く

「…件です。」のあと、用件メッセージが再生されます。各用件メッセージ再生後に録音日時をお知らせします（タイムスタンプ機能）。相手が電話番号を通知して電話をかけてきたときは、電話番号もお知らせします。

- **次の用件メッセージを再生するには**
  3 # を押す
- **1つ前の用件メッセージの再生／再生中の用件メッセージの頭出しをするには**
  1 # を押す
- **再生を停止するには**
  5 # を押す
- **再生中の用件メッセージを削除するには**
  0 # を押す
- **用件メッセージをすべて削除するには**
  ① 8 # を押す
  ② 音声ガイダンスに従い、4 # を押す
- **留守設定を解除するには**
  ① 用件メッセージ再生中のときは 5 # を押して再生を停止する
  ② 0 # を押す

❺ 操作が終わったら電話を切る

ワンポイント

- **リモート操作できる電話機**
  リモート操作できる電話機は、プッシュホンかトーン信号を送ることができる電話機です。ダイヤル回線でも電話機にトーン信号を送る機能があれば、リモート操作ができます。リモート操作のときは、ダイヤルボタンを長めに押してください。
- **応答メッセージが流れるまでの時間は**
  電話をかけてから応答メッセージが流れるまでの時間は、応答時間（☛下記）の設定に従います。
  お買い求め時、応答時間は次のように未再生の用件メッセージがあるときと、ないときとで異なる時間が設定されており、つながるまでの時間で未再生の用件メッセージの有無がわかるようになっています（トールセイバ）。
  未再生の用件メッセージが録音されているとき　：約6秒
  未再生の用件メッセージが録音されていないとき：約15秒
- **応答時間を設定するには**
  ① 待受画面で **［設定］→［留守］→［応答時間］** の順にタッチする
  ② 応答時間を変更する番号にタッチする
  ③ 未再生の用件メッセージありのときの設定にタッチする
  ④ 未再生の用件メッセージなしのときの設定にタッチする
  操作中、手順④の設定画面を表示してから手順③の設定画面に戻ると、未再生の用件メッセージありのときの設定内容は、設定前の状態に戻ってしまいます。手順③〜④は手順通り対で設定してください。
- **用件メッセージの頭出しについて**
  手順❹で用件メッセージの頭出しをするときの動作は次のようになります。
  1件目の用件メッセージのとき：[1] [#] を押すと、頭出し
  2件目以降の用件メッセージのとき：
  ・3秒以内に [1] [#] を押すと、1つ前の用件メッセージに戻る
  ・3秒以上経過後に [1] [#] を押すと、その用件メッセージの頭出し

お知らせ

- 下記の場合は留守番電話での応答が行われず、外出先から用件を聞くことができません。しばらくたってから、かけ直してください。
  ・内線電話機が留守応答中、通話録音中のとき
  ・他の人が外出先からリモート操作で留守番電話機能を使用しているとき
- ダイヤル回線からの場合は、手順❷で [#] を押す前にトーン信号に切り替えてください。
- 暗証番号を3回間違えると、自動的に電話が切れます。
- 用件メッセージを録音した相手のワンタッチダイヤルや電話帳に登録されている登録名（フリガナ）は、音声で読み上げません。

次ページにつづく▶

留守番電話を使うには

外出先から留守番電話を設定する

留守番電話を設定し忘れて外出したときは、リモート操作で留守番電話を設定することができます。

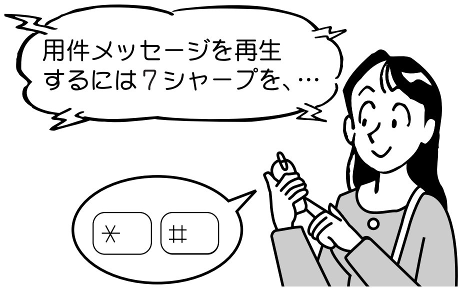
❶ 留守番電話を設定する番号に電話をかける

約45秒経過すると、応答専用メッセージが流れます。

❷ 応答専用メッセージが聞こえている間に、[＃]を押す

応答専用メッセージが停止し、「暗証番号とシャープを入力してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。

❸ ダイヤルボタンでリモート操作用の暗証番号を押し、続けて[＃]を押す



❹ [＊][＃]の順に押す

「留守に設定しました。」という音声ガイダンスが聞こえます。

❺ 電話を切る

ワンポイント

● **外出先から留守番電話を解除するには**

① 解除する番号に電話をかける
② 応答メッセージが聞こえたら、# を押す
③ ダイヤルボタンでリモート操作用の暗証番号を押し、続けて # を押す
④ 0 # の順に押す
⑤ 電話を切る

お知らせ

● 外出先から留守番電話を設定するには、あらかじめ在宅留守応答（☛P2-86）を設定しておく必要があります。お買い求め時は、すべての番号に在宅留守応答が設定されています。在宅留守応答が設定されていない番号は、約45秒間呼び出しても応答専用メッセージは流れません。そのまま呼び出し続けます。

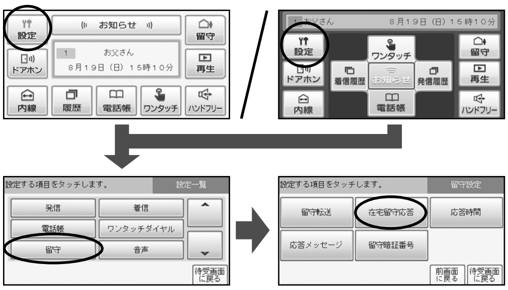
次ページにつづく▶

留守番電話を使うには

在宅留守応答を設定する

在宅留守応答とは、留守番電話が設定されていないときでも着信後約45秒で自動的に応答し、応答専用メッセージを流す機能です。自動応答のあとリモート操作することにより、外出先から留守番電話を設定したり、保存されている用件メッセージを聞いたりすることができます。
お買い求め時は、すべての番号に在宅留守応答が設定されています。

<基本イメージ>　<携帯イメージ>



❶ **[設定]➡[留守]➡[在宅留守応答]の順にタッチする**

❷ **設定する番号にタッチし、[確定]にタッチする**

在宅留守応答が設定されている番号には、**[設定中]** と表示されています。

● **複数の番号に在宅留守応答を設定するには**
設定する番号をすべてタッチする

● **すべての番号に在宅留守応答を設定するには**
[すべて選択] にタッチする

ワンポイント

● 在宅留守応答を解除するには
① 手順❶の操作をする
② **[設定中]** と表示されている番号にタッチして **[設定中]** の表示を消し、**[確定]** にタッチする
※すべての番号の在宅留守応答を解除するときは、**[すべて解除]** にタッチし、**[確定]** にタッチしてください。

● 待受画面に戻るには
[待受画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
[前画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

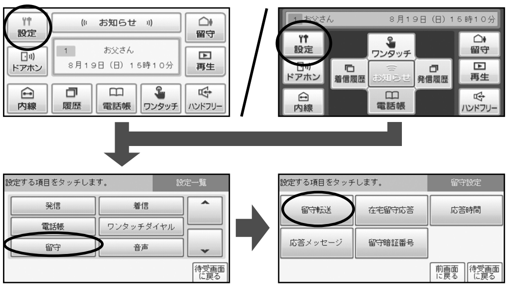
録音された用件を転送する

留守番電話の用件メッセージが録音されたことを、外出先の電話機に知らせることができます。転送先の電話機からは、リモート操作で用件メッセージを聞くことができます。

用件転送を設定する

転送先の電話番号を登録し、用件転送を設定します。転送先の電話番号は、番号ごとに登録することができます。

<基本イメージ>　<携帯イメージ>



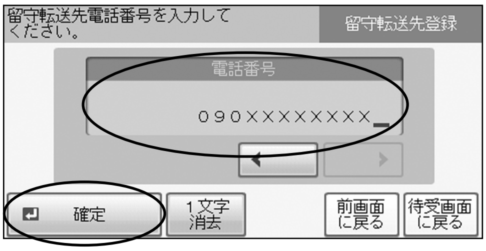
❶ ［設定］➡［留守］➡［留守転送］の順にタッチする

❷ 設定する番号にタッチする

転送が設定されている番号には、**［転送する］**と表示されています。

❸ ［転送する］にタッチする

- **電話番号がすでに登録されているときは**
  ここで操作が完了します。



❹ ダイヤルボタンで転送先の電話番号を入力し、［確定］にタッチする

- **電話番号を修正するときは**
  ①**［1文字消去］**にタッチして番号を消去する
  ②ダイヤルボタンで番号を入力する

次ページにつづく▶

留守番電話を使うには

ワンポイント

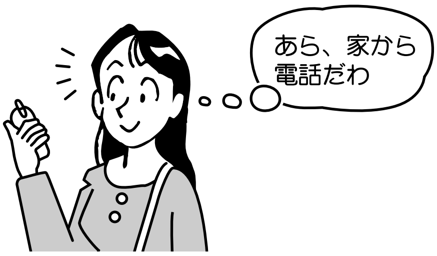
- **転送先電話番号に登録できる内容は**
  3～32桁の電話番号を登録できます。「#」、「＊」も登録できます。ただし、「#」が入力できるのは1桁目のみです。110番、119番、118番は登録しないでください。登録しても転送は行われません。
  転送を設定する番号と同じ電話番号は登録しないでください。
- **用件転送を解除するには**
  ① 手順❶～❷の操作をする
  ② **［転送しない］**にタッチする
  用件転送を解除しても、登録されている転送先の電話番号は削除されません。
- **転送先を変更するには**
  ① 手順❶～❷の操作をする
  ② **［転送先変更］**にタッチする
  ③ **［1文字消去］**にタッチして番号を消去する
  ④ ダイヤルボタンで番号を入力し、**［確定］**にタッチする
- **転送先の登録を削除するには**
  ① 手順❶～❷の操作をする
  ② **［転送先削除］**にタッチする
  ③ **［この番号を削除する］**にタッチする
- **待受画面に戻るには**
  ［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- **1つ前の画面に戻るには**
  ［前画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

お知らせ

- 用件転送で転送先の電話機から用件メッセージを聞くためには、あらかじめリモート操作用の暗証番号を設定しておく必要があります。
- 用件転送を設定しても、実際に用件メッセージが転送されるのは、留守番電話の設定中のみです。
- 用件転送中や転送先で電話を受けているときは、留守番電話機能や通話録音機能は使用できません。
- 用件転送は、用件メッセージ録音終了約1分後に開始します。
- 下記の間は、用件転送を開始しません。
  ・他の内線電話機が留守番電話機能や通話録音機能を使用しているとき
  ・外出先からリモート操作で留守番電話機能を使用しているとき
  ・他の回線が留守応答中のとき

転送先で電話を受ける

用件転送を設定しておくと、留守番電話に用件メッセージが録音されるたびに転送先の電話機を呼び出して知らせます。
転送先がお話し中などで応答しなかったときや、約50秒間呼び出しても応答しなかった場合は、約1分間隔で2回まで呼び出します。それでも応答しない場合は、さらに約30分間隔で3回まで呼び出します。



❶ 転送先の電話機で電話を受ける

❷「ピッピッ転送します。」と聞こえたら、# を押す

「暗証番号とシャープを入力してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。

❸ ダイヤルボタンでリモート操作用の暗証番号を押し、続けて # を押す

用件メッセージが再生されます。用件メッセージの再生が終了すると、続けて外線リモート操作ができます。
(☛P2-82)

❹ 操作が終わったら電話を切る

ワンポイント

● **リモート操作できる電話機**
リモート操作できる電話機は、プッシュホンかトーン信号を送ることができる電話機です。ダイヤル回線でも電話機にトーン信号を送る機能があれば、リモート操作ができます。リモート操作のときは、ダイヤルボタンを長めに押してください。

お知らせ

● 用件転送で転送先の電話機から用件メッセージを聞くためには、あらかじめリモート操作用の暗証番号を設定しておく必要があります。
● ダイヤル回線からの場合は、手順❷で # を押す前にトーン信号に切り替えてください。
● 暗証番号を3回間違えると、自動的に電話が切れます。

ひかり電話の付加サービスを利用するには

ひかり電話の付加サービスの利用にあわせて設定をすると、便利な機能が利用できます。
ひかり電話の次の付加サービスを契約された場合は、設定が必要です。
・ダブルチャネルサービス／複数チャネルサービス（有料）
・テレビ電話接続サービス（無料）
・ナンバー・ディスプレイ（有料）
ご契約がお済みでも、正しく設定を行っていないと、サービスを利用した機能をお使いになれません。
サービスについての詳細は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

ご契約にあわせて、次のように操作します。〈詳しくは、操作説明ページを参照してください。〉

ダブルチャネル／複数チャネル契約の設定をする ☛P2-95

［設定］ ▶ **［∧］** ▶ **［主装置機能］** ▶ **［複数チャネル契約］** ▶ **［設定する］**

テレビ電話接続サービス契約の設定をする ☛P2-95

［設定］ ▶ **［∧］** ▶ **［主装置機能］** ▶ **［テレビ電話接続サービス契約］** ▶ **［設定する］**

ナンバー･ディスプレイ契約の設定をする ☛P2-95

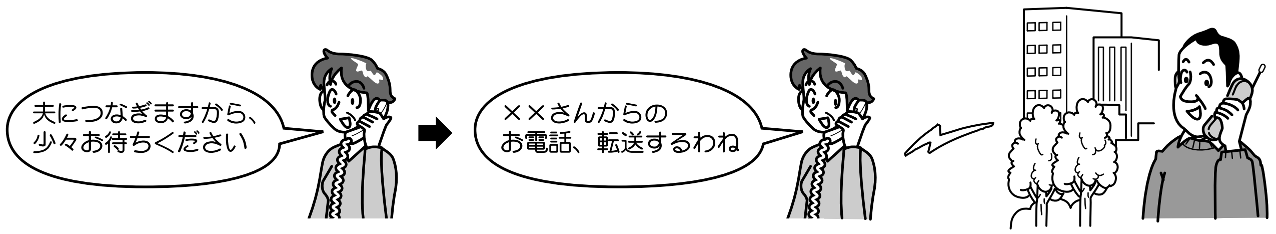
［設定］ ▶ **［∧］** ▶ **［主装置機能］** ▶ **［ナンバーディスプレイ契約］** ▶ **［設定する］**

付加サービスを利用した機能について

ダブルチャネル／複数チャネル

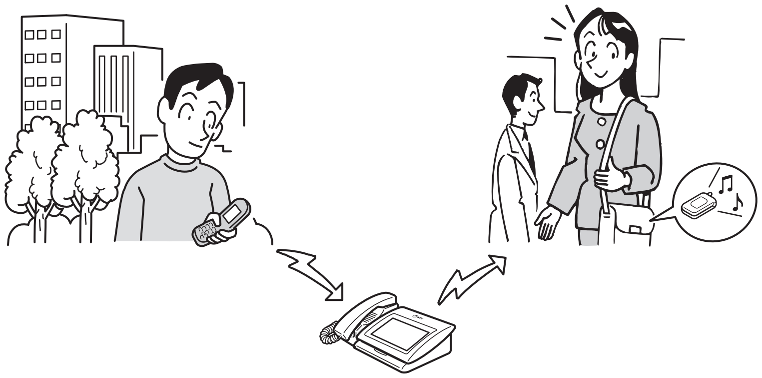
電話が2回線分同時にお話しできるサービスです。このサービスをご利用になると、以下の便利な機能がお使いになれます。

● 通話中の電話を他の外線に転送する「外線転送」
外の相手との通話を外線に転送できます。



※ ダブルチャネルまたは複数チャネルのご契約と設定のほかに、転送先電話番号の登録が必要です。（☛「転送先電話番号を登録／修正する」P2-62）

● かかってきた電話を自動的に転送させる「転送でんわ」
かかってきた電話を、あらかじめ登録しておいた転送先に自動的に転送できます。



※ ダブルチャネルまたは複数チャネルのご契約と設定のほかに、転送の設定が必要です。（☛「転送を設定する」P2-66）

次ページにつづく▶

ひかり電話の付加サービスを利用するには

テレビ電話接続サービス

NTTドコモのFOMAとテレビ電話ができるサービスです。このサービスをご利用になると、以下の便利な機能がお使いになれます。

● ドアホンからの呼び出しにFOMAでテレビ電話応答する
外出しているときでも、来訪者とテレビ電話でお話しできます。

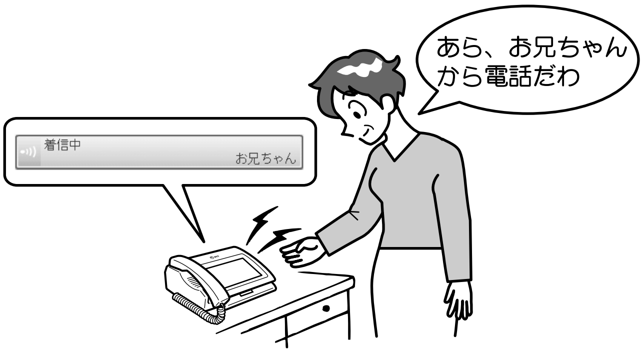
※ テレビ電話接続サービスのご契約と設定のほかに、あらかじめドアホン転送の設定が必要です。(☛「ドアホン転送を設定する」P2-112)

● 保存されているカメラドアホン画像をFOMAで確認する
FOMAからUD-映像アダプタ(別売)に接続し、リモート操作で保存されている画像を再生できます。
詳しくは、UD-映像アダプタの取扱説明書を参照してください。

ナンバー・ディスプレイ

電話をかけてきた相手の電話番号がディスプレイに表示されるサービスです。このサービスをご利用になると、以下の便利な機能がお使いになれます。

● **電話をかけてきた相手の名前を出る前に確認**
ナンバー・ディスプレイを利用すると、電話をかけてきた相手の情報がディスプレイに表示されるので、相手を確認してから電話に出ることができます。



ナンバー・ディスプレイの着信表示は次のようになります。

電話番号が通知されてきた場合は…
相手の電話番号がワンタッチダイヤルや電話帳と照合され、ディスプレイに次のように表示されます。

<名前>

ワンタッチダイヤルや電話帳に登録されている名前
ワンタッチダイヤルや電話帳に登録されている電話番号の場合は、登録されている名前が表示されます。

<電話番号>

通知されてきた相手の電話番号
ワンタッチダイヤルや電話帳に登録されていない電話番号の場合は、電話番号が表示されます。

お知らせ

● ワンタッチダイヤルと電話帳に同じ電話番号が登録されている場合は、ワンタッチダイヤルに登録されている名前が表示されます。

次ページにつづく▶

ひかり電話の付加サービスを利用するには

電話番号が通知されてこなかった場合は…
ナンバー・ディスプレイを利用しているときでも、相手から電話番号が通知されてこなかったときは、ディスプレイにその理由が表示されます。

<非通知>

相手が電話番号を通知しない契約や設定で電話をかけてきたときは、「非通知」と表示されます。

<公衆電話>

相手が公衆電話から電話をかけてきたときは、「公衆電話」と表示されます。

<ナンバー・ディスプレイ表示圏外>

相手がナンバー・ディスプレイのサービスが利用できない地域からかけてきたときは「表示圏外」と表示されます。

● **かけてきた相手の電話番号を利用（着信履歴）**
電話をかけてきた相手の電話番号は、ユーザごとに最新の30件まで保存され、この電話番号を使って電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。（☛P2-45）

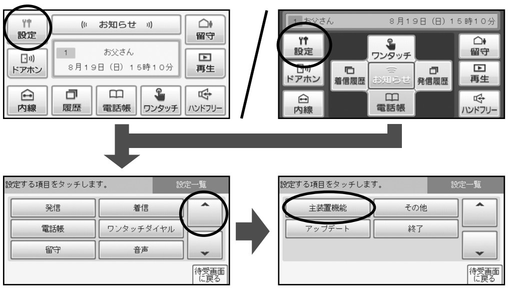
● **電話をかけてきた相手のグループを着信音でお知らせ**
ナンバー・ディスプレイをご利用になると電話帳のグループごとに着信音を設定することができるので、着信音を聞くだけでどのグループの相手からなのか区別することができます。（☛P3-5）

● **迷惑な電話の着信を拒否**
あらかじめ拒否したい電話番号を登録しておくと、その番号からかかってきたとき、相手に対して拒否メッセージを流し、着信音は鳴らさないようにできます。（☛P2-96）
また、「非通知」や「公衆電話」の着信を拒否するように設定することもできます。（☛P2-100）

サービス契約の設定をする

サービスのご契約状況に合わせて設定してください。

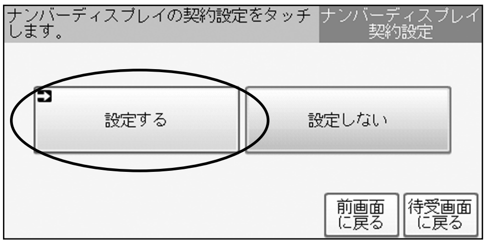
＜基本イメージ＞　＜携帯イメージ＞



❶ [設定] ➧ [▲] ➧ [主装置機能] の順にタッチする

❷ 設定する項目にタッチする

- ダブルチャネル／複数チャネルを設定するときは **[複数チャネル契約]** にタッチする
- テレビ電話接続サービスを設定するときは **[テレビ電話接続サービス契約]** にタッチする
- ナンバー・ディスプレイを設定するときは **[ナンバーディスプレイ契約]** にタッチする



❸ [設定する] にタッチする

ワンポイント

- **サービス契約の設定を解除するには**
  ① 手順❶の操作をする
  ② 設定を解除する項目にタッチする
  ③ **[設定しない]** にタッチする
- **待受画面に戻るには**
  [待受画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- **1つ前の画面に戻るには**
  [前画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

お知らせ

- ダブルチャネル／複数チャネルをご契約の場合は、**[複数チャネル契約]** を「設定しない」に設定しても、発信中や通話中に電話がかかってくることがあります。
- 他の内線電話機が通話中に **[複数チャネル契約]** の設定を変更した場合は、通話終了後に設定されます。

迷惑電話の着信を拒否するには

迷惑な電話に対して、拒否メッセージを流し、着信音を鳴らさないようにすることができます。

着信拒否には3種類があり、それぞれ次の拒否メッセージが流れます。

①着信拒否する電話番号を登録する
「この電話はお受けできません。ご了承ください。」

②非通知（☛P2-94）の着信を拒否する
「恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知してお かけ直しください。」

③公衆電話からの着信を拒否する
「この電話はお受けできません。ご了承ください。」

なお、着信拒否をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイ（☛P2-90）のご契約および設定が必要です。

着信拒否の設定をするには、次のように操作します。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

電話番号を指定して着信を拒否する　☛P2-97

［設定］ ▶ **［着信］** ▶ **［着信拒否］** ▶ 設定する番号に ▶ **［着信拒否番号］** ▶ **［新規］** ▶

拒否する電話番号を入力 ▶ **［確定］**

非通知の着信を拒否する　☛P2-100

［設定］ ▶ **［着信］** ▶ **［着信拒否］** ▶ 設定する番号に ▶ **［非通知着信拒否］** ▶ **［拒否する］**

公衆電話からの着信を拒否する　☛P2-100

［設定］ ▶ **［着信］** ▶ **［着信拒否］** ▶ 設定する番号に ▶ **［公衆電話着信拒否］** ▶ **［拒否する］**

ワンポイント

● **着信を拒否する電話番号に登録できる内容は**
3～32桁の電話番号を登録できます。「#」、「＊」も登録できます。ただし、「#」が入力できるのは1桁目のみです。110番、119番、118番は登録しないでください。登録しても着信拒否は行われません。

お願い

● 着信を拒否する電話番号は、必ず全桁（市外局番を含む）登録してください。

お知らせ

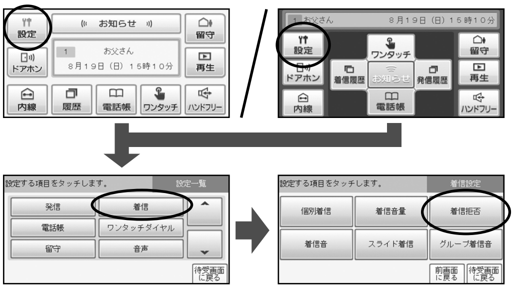
● 拒否した着信は、着信履歴に保存されません。
● **［ナンバーディスプレイ契約］**（☛P2-95）を「設定する」に設定すると、**［設定］** → **［着信］** のあとに **［着信拒否］** が表示され、設定した番号、番号非通知の相手、公衆電話からの着信拒否が設定できます。

電話番号を指定して着信を拒否する

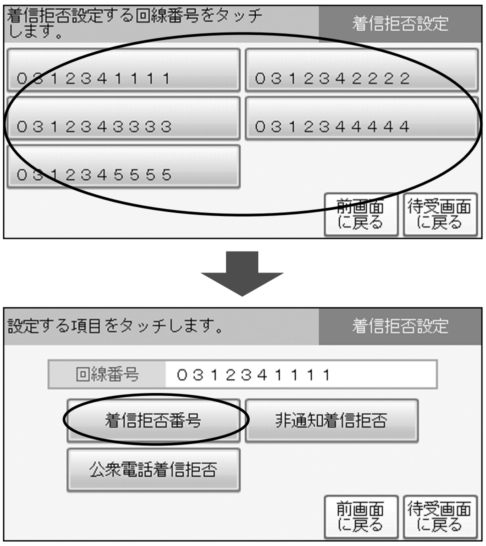
着信拒否する電話番号を登録する

着信拒否の電話番号は、最大30件まで登録できます。

＜基本イメージ＞　＜携帯イメージ＞



❶ **［設定］➡［着信］➡［着信拒否］** の順にタッチする



❷ 設定する番号にタッチし、**［着信拒否番号］** にタッチする

すでに登録されている着信拒否の電話番号が表示されます。

❸ **［新規］** にタッチする

すでに30件登録済みの場合は、**［新規］** が表示されません。

❹ ダイヤルボタンで拒否する電話番号を入力し、**［確定］** にタッチする

次ページにつづく▶

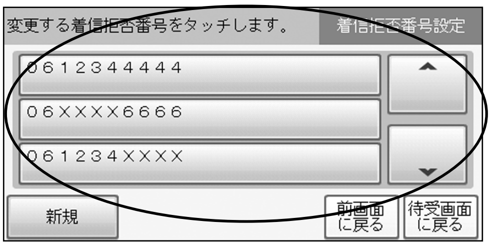
迷惑電話の着信を拒否するには

ワンポイント

- 待受画面に戻るには
  ［待受画面に戻る］ が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- 1つ前の画面に戻るには
  ［前画面に戻る］ が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

着信拒否の電話番号を変更する

❶「着信拒否する電話番号を登録する」（☛P2-97）の手順❶～❷の操作をする



❷ 目的の電話番号が表示されていないときは［▲］／［▼］にタッチして表示させ、変更する電話番号にタッチする

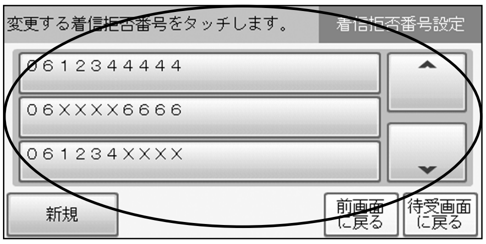
❸ **［編集］** にタッチする

❹ **［1文字消去］** にタッチして番号を消去する

❺ ダイヤルボタンで番号を入力し、**［確定］** にタッチする

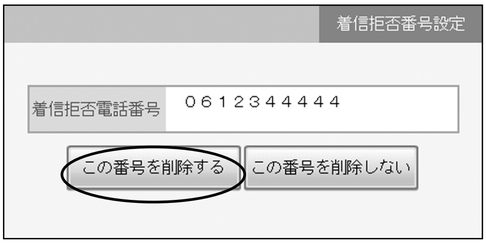
着信拒否の電話番号を削除する

❶「着信拒否する電話番号を登録する」（☛P2-97）の手順❶〜❷の操作をする



❷ 目的の電話番号が表示されていないときは［▲］／［▼］にタッチして表示させ、削除する電話番号にタッチする

❸ **［削除］**にタッチする

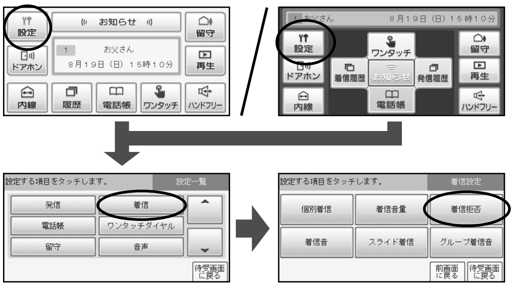


❹ **［この番号を削除する］**にタッチする

迷惑電話の着信を拒否するには

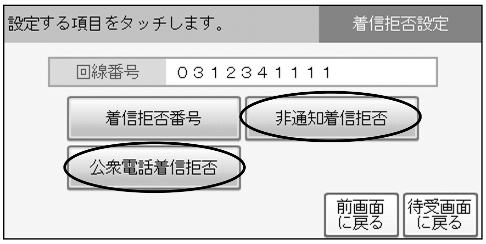
非通知／公衆電話からの着信を拒否する

電話番号が通知されない理由が「非通知」（☛P2-94）の着信や、公衆電話からの着信を拒否するように設定します。

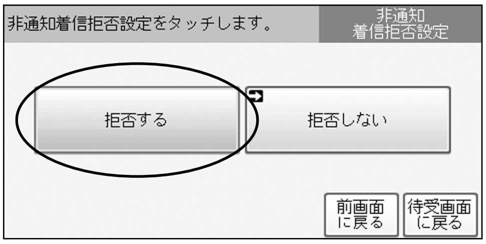


❶ **［設定］➡［着信］➡［着信拒否］**の順にタッチする

❷ 設定する番号にタッチする



❸ **［非通知着信拒否］**または**［公衆電話着信拒否］**にタッチする



❹ **［拒否する］**にタッチする

ワンポイント

- 待受画面に戻るには
  ［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- 1つ前の画面に戻るには
  ［前画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

ドアホン（別売）を利用するには

別売のドアホンを接続してご利用になれます。接続できるドアホンは、相手とお話しができる音声ドアホンと、話しながら相手の画像も確認できるカメラドアホンで、それぞれ2台まで接続できます。
詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご相談ください。カメラドアホンをご利用の場合は、UD-映像アダプタの取扱説明書もあわせてご覧ください。

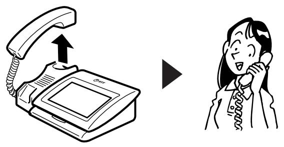
カメラドアホンを接続すると、次の便利な機能がご利用になれます。

● **来訪者の画像を録画保存**
ドアホンでお話し中の相手の画像を録画保存して、あとから見直すことができます。ドアホンからの呼び出しに応答しなかったときや、外出中の来訪者の画像を自動的に保存することもできます。

● **外出中のドアホンからの呼び出しにFOMAで応答（ドアホン転送）**
ドアホンから呼び出されると、あらかじめ登録しておいたFOMAにテレビ電話がかけられ、FOMAから応答することができます。ドアホン転送をご利用になるには、テレビ電話接続サービスのご契約（無料）と設定（☛P2-90）が必要です。

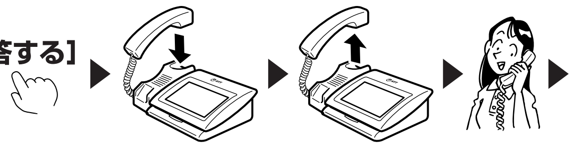
ドアホンを利用するときは、次のように操作します。〈詳しくは、各ページを参照してください。〉

ドアホンからの呼び出しに応答する ☛P2-103

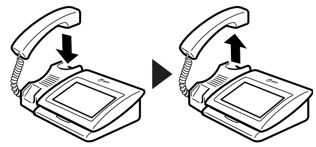


外線通話中にドアホンからの呼び出しに応答する ☛P2-105

[応答する]



▶ 外線通話の相手に戻るときは



次ページにつづく▶

ドアホン（別売）を利用するには

外の様子を確認する　☛P2-107

［ドアホン］ ▶ 呼び出すドアホンに ▶ 確認が終わったら **［切る］**

カメラドアホンの画像を録画する　☛P2-108

カメラドアホンとお話し中に
外の様子を確認中に
［保存］

カメラドアホンの画像を再生する　☛P2-108

［ドアホン］ ▶ **［ドアホン画像再生］** ▶ 再生するカメラドアホンに ▶ **［再生］**

未再生のカメラドアホンの画像を再生する　☛P2-110

［お知らせ］ ▶ **［未再生画像があります］**

ドアホン転送を設定する　☛P2-112

［設定］ ▶ **［﹀］** ▶ **［ドアホン］** ▶ **［ドアホン転送］** ▶ 設定するドアホンに ▶ **［転送する］**※ ▶

転送先FOMAの電話番号を入力 ▶ **［確定］**

※：電話番号がすでに登録されているときは、ここで操作が完了します。

ワンポイント

● お話し中に相手の声を調整するには（☛P2-26、2-28）

お知らせ

● **［テレビ電話接続サービス契約］**（☛P2-95）を「設定する」に設定すると、**［設定］**→**［﹀］**のあとに**［ドアホン］**が表示され、**［ドアホン転送］**の設定ができます。

● ご使用のカメラドアホンによっては、夜間などカメラドアホン側が暗いときは白黒映像になります。

● カメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。

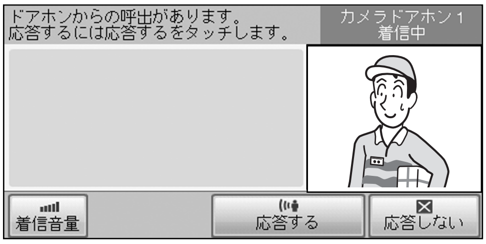
● 音声ドアホンまたはカメラドアホンとの通話中は、他の音声ドアホンまたはカメラドアホンからの呼び出しは受けられません。

● ドアホン通話を終了するときは、受話器を戻すか**［切る］**にタッチしてください。受話器を戻すか**［切る］**にタッチしないと、外線着信や内線着信に応答できないことがあります。

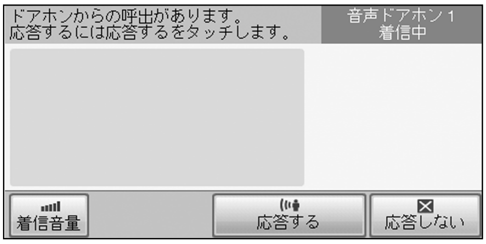
ドアホンからの呼び出しに応答する

ドアホンから呼び出しがあると、呼出音が鳴り、カメラドアホンの場合は画面に映像が映ります。

＜カメラドアホンの場合＞



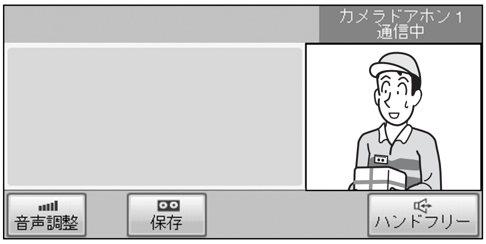
＜音声ドアホンの場合＞



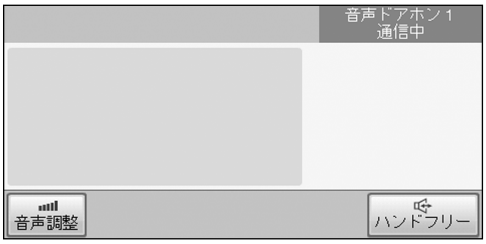
❶ ドアホンから呼び出されたら、受話器を取りあげる

● **ハンドフリーで応答するときは**
［応答する］にタッチする

＜カメラドアホンの場合＞



＜音声ドアホンの場合＞



❷ お話しする

❸ お話しが終わったら、受話器を戻す

● **ハンドフリーで応答したときは**
お話しが終わったら**［切る］**にタッチする

次ページにつづく▶

ドアホン（別売）を利用するには

ワンポイント

● 呼び出しに応答しないときは
手順❶で**［応答しない］**にタッチすると、ドアホンからの呼び出し表示が消え、待受画面に戻ります。

● カメラドアホンをご利用のときは
相手の画像が自動的に保存され、待受画面の**［お知らせ］**表示で未再生のドアホン画像があることをお知らせします。（☛P2-110）画像の保存動作は変更することができます。詳しくは、UD-映像アダプタの取扱説明書を参照してください。

● ドアホンと通話中に外線で電話がかかってきたときは
受話器から「プップッ、プップッ…」という通話中着信音が聞こえ、タッチパネルに「着信中」と表示されます。外線着信に応答するときは、受話器を戻すか**［切る］**にタッチしてドアホンとの通話を終わらせてから、受話器を取りあげるか**［着信中］**にタッチします。

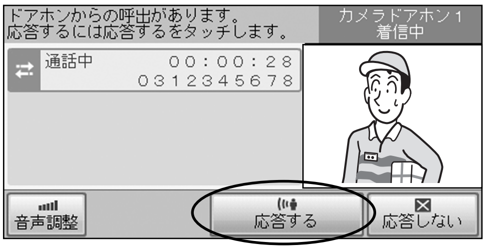
● カメラドアホンの映像を映す内線電話機を設定するには
カメラドアホンからの呼び出し時に映像を確認できる内線電話機は2台までです。どの内線電話機に映像を映すかの設定は、UD-主装置のWeb設定で行います。映像を映すように設定されていない内線電話機でも、呼び出しに応答すると映像が映ります。

お知らせ

● 約30秒間応答しないと、呼び出しは自動的に終了します。
● ハンドフリー通話中は、「プップッ、プップッ･･･」という通話中着信音は聞こえません。

外線通話中にドアホンからの呼び出しに応答する

＜カメラドアホンの場合＞



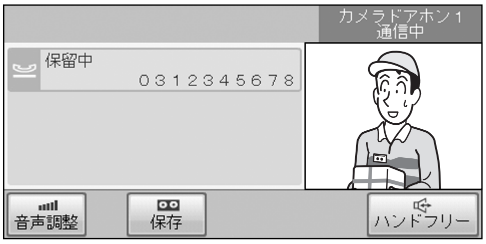
＜音声ドアホンの場合＞

❶ **外線通話中にドアホンから呼び出されたら、［応答する］にタッチしてから受話器を戻し、もう一度受話器を取りあげる**

外線通話は保留になり、ドアホンの相手とお話しできるようになります。

● ハンドフリーで応答するときは
［応答する］にタッチし、受話器を戻します。

＜カメラドアホンの場合＞



＜音声ドアホンの場合＞

❷ **お話しする**

❸ **外線通話の相手に戻るときは、受話器を戻し、もう一度受話器を取りあげる**

● ハンドフリーでドアホンに応答しているときは
お話しが終わったら、**［切る］**にタッチしてから**［保留中］**にタッチする

次ページにつづく▶

ドアホン（別売）を利用するには

ワンポイント

● 呼び出しに応答しないときは
手順❶で【応答しない】にタッチすると、ドアホンからの呼び出し表示が消え、通話中の画面に戻ります。

● カメラドアホンをご利用のときは
相手の画像が自動的に保存され、待受画面の【お知らせ】表示で未再生のドアホン画像があることをお知らせします。（☛P2-110）画像の保存動作は変更することができます。詳しくは、UD-映像アダプタの取扱説明書を参照してください。

● 内線通話中にドアホンからの呼び出しに応答するには
外線通話中にドアホンから呼び出されたときと同じ操作で応答できます。ただし、内線通話中にドアホンに応答した場合、内線通話は終了します。
応答しない場合の操作も、外線通話中と同じです。

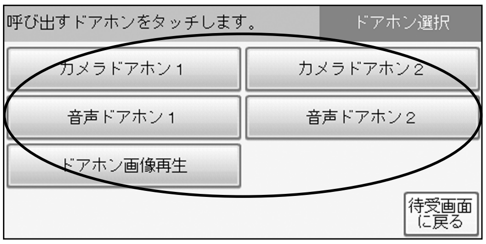
外の様子を確認する

ドアホンを呼び出して、周囲の音を聞くことができます。また、ドアホン通話が終わったあと、もう一度お話しがしたいときなどにもドアホンを呼び出せます。

＜基本イメージ＞

＜携帯イメージ＞

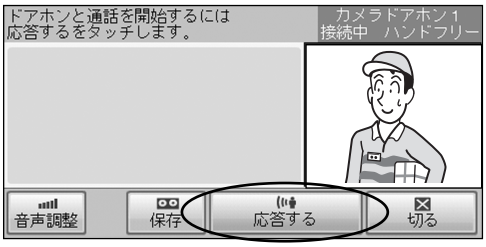
❶［ドアホン］にタッチする



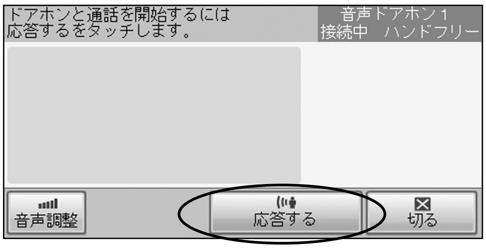
❷ 呼び出すドアホンにタッチする

スピーカからドアホンの周囲の音が聞こえます。
このとき、こちらの声はドアホン側には聞こえません。

＜カメラドアホンの場合＞



＜音声ドアホンの場合＞



- **ハンドフリーでドアホンとお話しするときは**
  ［応答する］にタッチしてお話しする
- **受話器で様子を確認するときは**
  受話器を取りあげる
  このとき、こちらの声はドアホン側には聞こえません。
- **受話器で様子を確認後、ドアホンとお話しするときは**
  ［応答する］にタッチしてお話しする

❸ 確認が終わったら、［切る］にタッチする

- **受話器で確認またはお話ししていたときは**
  受話器を戻す

お知らせ

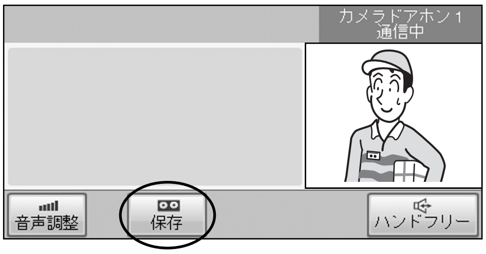
- 他の内線電話機が音声ドアホンで外の様子を確認中のときや音声ドアホンと通話中は、音声ドアホンを呼び出すことはできません。
- 他の内線電話機がカメラドアホンで外の様子を確認中のときやカメラドアホンと通話中は、カメラドアホンを呼び出すことはできません。

ドアホン（別売）を利用するには

カメラドアホンの画像を録画／再生する

画像を録画する

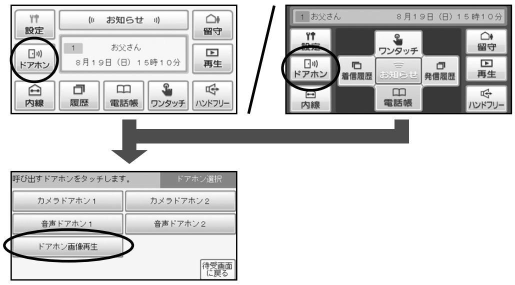
カメラドアホンでお話し中の相手の画像や、確認中の外の様子を録画することができます。



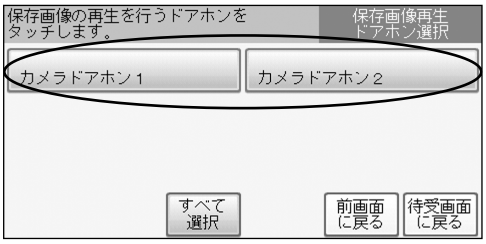
❶ カメラドアホンとお話し中、または外の様子を確認中に［**保存**］にタッチする

画像を再生する

<基本イメージ>　<携帯イメージ>

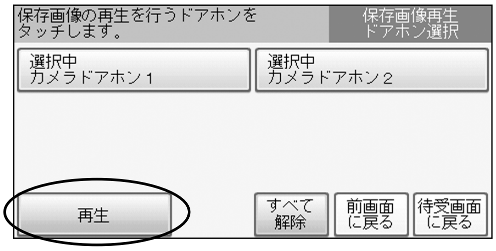


❶ **［ドアホン］➡［ドアホン画像再生］**の順にタッチする



❷ 再生するカメラドアホンにタッチする

●すべてのカメラドアホンの画像を再生するときは［**すべて選択**］にタッチする



❸ ［**再生**］にタッチする

保存された順に画像が再生されます。

● **次の画像を再生するには**
［次へ］にタッチする
タッチしてから画面が変わるまでに、少し時間がかかります。

● **1つ前の画像を再生するには**
［戻る］にタッチする
タッチしてから画面が変わるまでに、少し時間がかかります。

● **再生を停止するには**
［待受画面に戻る］にタッチする

ワンポイント

● **保存画像を1件削除するには**
① 手順❶～❸の操作をする
② 削除する画像の再生中に**［削除］**→**［1件削除］**→**［この画像を削除する］**の順にタッチする

● **保存画像を全件削除するには**
次のように操作します。未再生の画像も削除されます。
① 手順❶～❸の操作をする
② **［削除］**→**［全件削除］**→**［はい］**の順にタッチする

● **保存画像を保護／保護解除するには**
保存画像を削除しないように保護を設定することができます。保護できる画像は2件までです。
① 手順❶～❸の操作をする
② 保護する画像の再生中に**［保護設定］**にタッチする
保護した保存画像の再生中は**［削除］**が表示されません。保護を解除する場合は、解除する画像の再生中に**［保護解除］**にタッチします。

お知らせ

● 画像の再生が終了してから約30秒間何も操作をしないと、待受画面に戻ります。
● カメラドアホンの画像を再生するとき、カメラドアホンの画像がその左側の画面よりも先に表示されることがあります。
● 画像再生中の音はスピーカから聞こえます。画像再生中にスピーカ音量を調整することはできません。スピーカ音量は、留守番電話の用件メッセージ再生時などの音量と同じになります。
● 画像再生中の音の音質は「再生の音量／音質／速度を調整する」（☛P2-77）で調整した音質と同じになります。速度を調整することはできません。

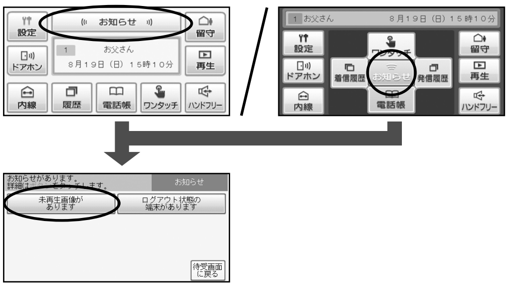
次ページにつづく▶

●ドアホン（別売）を利用するには●

未再生のカメラドアホンの画像を再生する

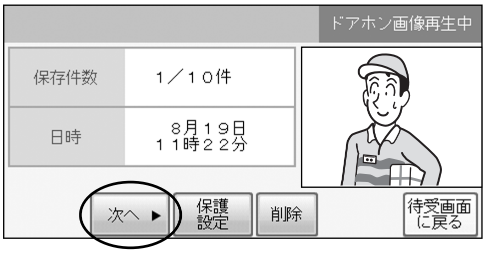
未再生の画像は、**［お知らせ］**の表示から操作して確認することができます。

<基本イメージ>　<携帯イメージ>



❶ ［お知らせ］➡［未再生画像があります］の順にタッチする

保存されている画像のうち、未再生の画像が録画された順に再生されます



● **次の画像を再生するには**
［次へ］にタッチする

● **1つ前の画像を再生するには**
［戻る］にタッチする

● **再生を停止するには**
［待受画面に戻る］にタッチする

ワンポイント

● **画像を1件削除するには**
① 手順❶の操作をする
② 削除する画像の再生中に **［削除］** → **［1件削除］** → **［この画像を削除する］** の順にタッチする

● **画像を全件削除するには**
次のように操作します。未再生の画像も削除されます。
① 手順❶の操作をする
② 画像再生中に **［削除］** → **［全件削除］** → **［はい］** の順にタッチする

● **画像を保護／保護解除するには**
画像を削除しないように保護を設定することができます。保護できる画像は2件までです。
① 手順❶の操作をする
② 保護する画像の再生中に **［保護設定］** にタッチする
保護した保存画像の再生中は **［削除］** が表示されません。保護を解除する場合は、解除する画像の再生中に **［保護解除］** にタッチします。

お知らせ

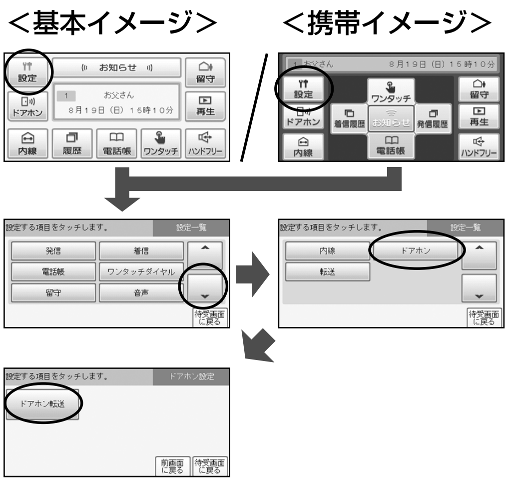
● 画像の再生が終了してから約30秒間何も操作をしないと、待受画面に戻ります。
● カメラドアホンの画像を再生するとき、カメラドアホンの画像がその左側の画面よりも先に表示されることがあります。
● 手順❶で **［お知らせ］** にタッチしたあと、**［未再生画像があります］** のタッチが有効になるまでに時間がかかることがあります。
● 画像再生中の音はスピーカから聞こえます。画像再生中にスピーカ音量を調整することはできません。スピーカ音量は、留守番電話の用件メッセージ再生時などの音量と同じになります。
● 画像再生中の音の音質は「再生の音量／音質／速度を調整する」（☛P2-77）で調整した音質と同じになります。速度を調整することはできません。

・ドアホン（別売）を利用するには・

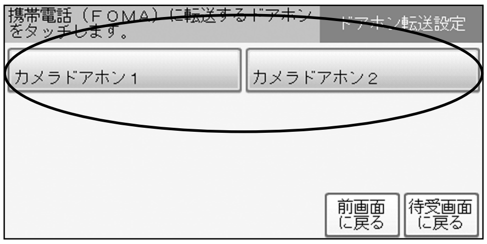
カメラドアホンからの呼び出しにFOMAで応答する

外出するときにドアホン転送を設定し、転送先に登録してあるFOMAでカメラドアホンからの呼び出しにテレビ電話応答することができます。

ドアホン転送を設定する



❶ **［設定］➡［﹀］➡［ドアホン］➡［ドアホン転送］** の順にタッチする



❷ 設定するドアホンにタッチする

ドアホン転送が設定されているドアホンには、**［転送する］**と表示されています。

❸ **［転送する］** にタッチする

●電話番号がすでに登録されているときは
ここで操作が完了します

❹ ダイヤルボタンで転送先FOMAの電話番号を入力し、**［確定］** にタッチする

●電話番号を修正するときは
①**［1文字消去］** にタッチして番号を消去する
②ダイヤルボタンで番号を入力する

ワンポイント

- 転送先電話番号に登録できる内容は
  3～32桁の電話番号を登録できます。「#」、「＊」も登録できます。ただし、「#」が入力できるのは1桁目のみです。110番、119番、118番は登録しないでください。登録しても転送は行われません。
- ドアホン転送を解除するには
  ① 手順❶～❷の操作をする
  ② **［転送しない］** にタッチする
  ドアホン転送を解除しても、登録されている転送先の電話番号は削除されません。
- 転送先を変更するには
  ① 手順❶～❷の操作をする
  ② **［転送先変更］** にタッチする
  ③ **［1文字消去］** にタッチして番号を消去する
  ④ ダイヤルボタンで番号を入力し、**［確定］** にタッチする
- 転送先の登録を削除するには
  ① 手順❶～❷の操作をする
  ② **［転送先削除］** にタッチし、**［この番号を削除する］** にタッチする
- 待受画面に戻るには
  ［待受画面に戻る］ が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- 1つ前の画面に戻るには
  ［前画面に戻る］ が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

お知らせ

- ダブルチャネルサービスまたは複数チャネルサービスをご利用になっている場合、外線の空きが1回線のときは転送されません。
- 外線の空きがないときは転送されません。

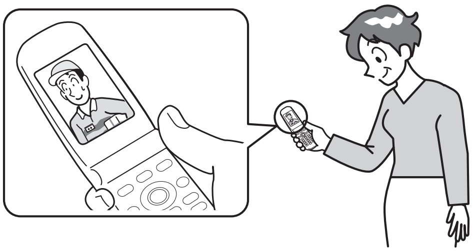
次ページにつづく▶

ドアホン（別売）を利用するには

ドアホン転送にFOMAで応答する

カメラドアホンの映像を確認したあと、ボタン操作を行うことにより、通話できる状態になります。
詳しくは、UD-映像アダプタの取扱説明書を参照してください。

❶ 転送先FOMAでテレビ電話の応答操作をする



カメラドアホンの映像が表示されます。こちら側の声は相手に聞こえません。
カメラドアホンの映像が表示されるまでに、約11秒かかります。

❷ 音声ガイダンスに従って[0]を押す

「ピー」という音が聞こえたら、テレビ電話で通話できる状態になります。

❸ お話しが終わったら電話を切る

ワンポイント

● **カメラドアホンの映像を確認後、お話しせずに電話を切るには**
通常と同じように、電話を切る操作をします。

お知らせ

● FOMAでカメラドアホンに応答するには、FOMAからプッシュ信号を送出する必要があります。プッシュ信号を送出する方法については、FOMAの取扱説明書を参照してください。一部のテレビ電話未対応機器、およびプッシュ信号送出未対応の機器はご利用になれません。
● カメラドアホンからの呼び出しに応答しなかった場合、約30秒で呼び出しが止まります。
● 通話できる状態に切り替えなかった場合は、約1分で切れます。
● カメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。
● カメラドアホンとの通話中は、他のカメラドアホンからの呼び出しは受けられません。

第3章

各種設定を行う

［設定］の項目一覧 3-2

設定を行う 3-3

［設定］の項目一覧

待受画面の**［設定］**にタッチすると、さまざまな設定や登録を行うための項目が表示されます。項目は、次のように**［発信］**から**［終了］**までの13項目に分類され、さらにいくつもの項目に分岐しています。
各項目の操作については、各ページを参照してください。

発信（☛P3-3）	桁間タイマ ※	
	発信者番号通知 ※	
着信（☛P3-4）	個別着信 ※	
	着信音量 ※	
	着信拒否 ※	
	着信音	外線着信音 ※
		内線着信音 ※
	スライド着信 ※	
	グループ着信音 ※	
電話帳（☛P3-5）	電話帳登録 ※	
	電話帳全件削除 ※	
	グループ名称 ※	
ワンタッチダイヤル（☛P3-6）※		
留守（☛P3-6）	留守転送 ※	
	在宅留守応答 ※	
	応答時間 ※	
	応答メッセージ ※	
	留守暗証番号 ※	
音声（☛P3-7）	音声調整 ※	
	スピーカ音量調整 ※	

内線（☛P3-8）	内線呼出 ※	
ドアホン（☛P3-8）	ドアホン転送 ※	
転送（☛P3-9）	転送先外線登録 ※	
	転送でんわ ※	
主装置機能（☛P3-10）	ログインユーザ	ログインユーザ名称 ※
		ログインパスワード ※
	複数チャネル契約 ※	
	テレビ電話接続サービス契約 ※	
	ナンバーディスプレイ契約 ※	
その他（☛P3-11）	バックライト明るさ調整	
	工場出荷時に戻す	
	タッチパネル調整	
	キータッチ音 ※	
アップデート（☛P3-11）	手動アップデート	
	自動アップデート ※	
終了（☛P3-12）		

：UD-主装置のWeb設定でも設定や登録が行えます。
※ ：他のUD-標準電話機でも設定や登録が行えます。

ワンポイント

- **UD-主装置でのみ設定できる内容について**
  ここで説明している設定のほかに、UD-主装置でのみ行える設定があります。『②総合編』の「3章 Web設定を行う」を参照してください。

お知らせ

- UD-主装置のWeb設定や他のUD-標準電話機で設定や登録を行った場合は、最新の設定、登録内容が適用されます。
- 下記の場合は、設定が中止されます。
  - ・外線または内線で電話がかかってきたとき
  - ・ドアホンからの呼び出しがあったとき
  - ・他のUD-標準電話機などが共通保留（☛P2-24）をしたとき
- **［複数チャネル契約］**を「設定する」に設定すると、**［設定］**→**［ ⌄ ］**のあとに**［転送］**が表示され、**［転送先外線登録］**と**［転送でんわ］**の設定ができます。
- **［テレビ電話接続サービス契約］**を「設定する」に設定すると、**［設定］**→**［ ⌄ ］**のあとに**［ドアホン］**が表示され、**［ドアホン転送］**の設定ができます。
- **［ナンバーディスプレイ契約］**を「設定する」に設定すると、**［設定］**→**［着信］**のあとに**［着信拒否］**が表示され、設定した番号、番号非通知の相手、公衆電話からの着信拒否が設定できます。

設定を行う

[発信]

：お買い求め時の設定

[桁間タイマ] ダイヤルボタンを押してから発信が開始されるまでの秒数を変更します。	① **[設定]** → **[発信]** → **[桁間タイマ]** の順にタッチする ② 設定（3／4／5／6／7秒）にタッチする
[発信者番号通知] 電話をかけるときに相手に通知する電話番号を設定します。	① **[設定]** → **[発信]** → **[発信者番号通知]** の順にタッチする ② 通知する電話番号（電話番号1／電話番号2／電話番号3／電話番号4／電話番号5／非通知）にタッチする ・通知する番号は、**[個別着信]** に設定した番号の中から選択できます。 ・**[個別着信]** の設定を変更した場合、**[発信者番号通知]** が「非通知」になることがあります。

ワンポイント

● 待受画面に戻るには
[待受画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
[前画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

設定を行う

[着信]

　：お買い求め時の設定

[個別着信] マイナンバーサービス／追加番号サービスをご利用の場合に、どの電話番号にかかってきた電話を着信させるかを設定します。	① **[設定]** → **[着信]** → **[個別着信]** の順にタッチする ② 着信させるすべての番号（電話番号1 ／ 電話番号2 ／ 電話番号3 ／ 電話番号4 ／ 電話番号5 ）にタッチする※ 設定されている番号には、「設定中」と表示されています。「設定中」と表示されている番号にタッチすると、設定が解除されます。 ③ **[確定]** にタッチする ※：着信させる番号を設定しない場合でも、110番、119番、118番などの呼び出し（緊急着信）は着信します。
[着信音量] 着信音量を設定します。ドアホン着信音の音量も同時に切り替わります。	① **[設定]** → **[着信]** → **[着信音量]** の順にタッチする ② **[音量小]** ／ **[音量大]** にタッチ※して音量（「切」／「小」／「中」／「大」／「特大」）を調整する ※：調整後の音量（「切」は無音）で着信音が短く鳴ります。 ③ **[前画面に戻る]** にタッチする
[着信拒否] 着信拒否する電話番号の登録や、番号非通知の相手からの着信拒否の設定などを行います。(☛P2-96) **お願い** ● 着信を拒否する電話番号は、必ず全桁（市外局番を含む）登録してください。	**＜電話番号を登録する場合＞** ① **[設定]** → **[着信]** → **[着信拒否]** の順にタッチする ② 着信拒否を設定する番号にタッチする ③ **[着信拒否番号]** にタッチする ④ **[新規]** にタッチする ⑤ 着信を拒否する電話番号※を入力し、**[確定]** にタッチする ※：110番、119番、118番は登録しないでください。登録しても着信拒否は行われません。 **＜電話番号を修正する場合＞** ①「＜電話番号を登録する場合＞」の手順①～③の操作をする ② 目的の電話番号が表示されていないときは **[▲]** ／ **[▼]** にタッチして表示させ、電話番号にタッチする ③ **[編集]** にタッチする ④ **[1文字消去]** にタッチし、電話番号を消す ⑤ 電話番号を入力し、**[確定]** にタッチする **＜電話番号を削除する場合＞** ①「＜電話番号を登録する場合＞」の手順①～③の操作をする ② 目的の電話番号が表示されていないときは **[▲]** ／ **[▼]** にタッチして表示させ、電話番号にタッチする ③ **[削除]** にタッチする ④ **[この番号を削除する]** にタッチする **＜非通知の相手からの着信拒否を設定する場合＞** ①「＜電話番号を登録する場合＞」の手順①～②の操作をする ② **[非通知着信拒否]** にタッチする ③ **[拒否する]** ／ **[拒否しない]** にタッチする **＜公衆電話からの着信拒否を設定する場合＞** ①「＜電話番号を登録する場合＞」の手順①～②の操作をする ② **[公衆電話着信拒否]** にタッチする ③ **[拒否する]** ／ **[拒否しない]** にタッチする
[着信音]　**[外線着信音]** 外線の着信音を設定します。	① **[設定]** → **[着信]** → **[着信音]** → **[外線着信音]** の順にタッチする ② 設定する番号にタッチする ③ 設定（ベル音1／2／3／4／メロディ1～4）にタッチ※する ※：タッチした音が、設定されている着信音量（「切」時は無音）で短く鳴ります。 ④ **[確定]** にタッチする

：お買い求め時の設定

【着信音】	【内線着信音】 内線の着信音を設定します。	①【設定】→【着信】→【着信音】→【内線着信音】の順にタッチする ② 設定（ベル音1／2／3／4／メロディ1～4）にタッチ※する ※：タッチした音が、設定されている着信音量（「切」時は無音）で短く鳴ります。 ③【確定】にタッチする
【スライド着信】 スライド着信をするかどうかを設定します。		①【設定】→【着信】→【スライド着信】の順にタッチする ② 設定する番号にタッチする スライド着信が設定されている番号には、「スライド着信中」と表示されています。 ③【設定する】／【設定しない】にタッチする
【グループ着信音】 電話帳グループに、通常と異なる着信音を設定します。		①【設定】→【着信】→【グループ着信音】の順にタッチする ② 設定するグループにタッチする ③ 設定（ベル音1～4／メロディ1～4／設定しない）にタッチ※する ※：タッチした音が、設定されている着信音量（「切」時は無音）で短く鳴ります。 ④【確定】にタッチする

【電話帳】

：お買い求め時の設定

【電話帳登録】 電話番号や名前を電話帳に登録します。 お願い ● 電話番号は必ず全桁（市外局番を含む）登録してください。	①【設定】→【電話帳】→【電話帳登録】の順にタッチする ② 名前を入力し、【確定】にタッチする ③ 必要に応じてフリガナを修正し、【確定】にタッチする ④ 電話番号を入力し、【確定】にタッチする（他に電話番号を登録しない場合は手順⑥に進む） ⑤【登録する】にタッチし、手順④の操作をする ⑥【登録しない】にタッチする ⑦ 登録先グループにタッチする ⑧ 必要に応じてメモリ番号を修正し、【確定】にタッチする ⑨【登録しない】※にタッチする ※：ワンタッチダイヤルにも登録する場合は、【登録する】→登録先のワンタッチ→【確定】の順にタッチする
【電話帳全件削除】 現在ログイン中のユーザが登録している電話帳をまとめて削除します。（☛P2-43）	①【設定】→【電話帳】→【電話帳全件削除】の順にタッチする ②【はい】にタッチする
【グループ名称】 電話帳のグループ名称を変更します。（☛P2-44）	①【設定】→【電話帳】→【グループ名称】の順にタッチする ② グループ名を変更するグループにタッチする ③ グループ名（00～09）を修正し、【確定】にタッチする

ワンポイント

● 待受画面の【電話帳】から登録するには（☛P2-37）

● 待受画面に戻るには
【待受画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
【前画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

設定を行う

[ワンタッチダイヤル]

① **[設定]** → **[ワンタッチダイヤル]** の順にタッチする
② 未登録のワンタッチにタッチする
③ 名前を入力し、**[確定]** にタッチする
④ 必要に応じてフリガナを修正し、**[確定]** にタッチする
⑤ 電話番号を入力し、**[確定]** にタッチする

お願い

● 電話番号は必ず全桁（市外局番を含む）登録してください。

[留守]

■：お買い求め時の設定

[留守転送] 留守番電話に用件が録音されたときに、自動的に用件を転送する電話機の電話番号を登録したり、転送を設定／解除したりします。(☛P2-87)	＜転送先電話番号を登録する場合＞ ① **[設定]** → **[留守]** → **[留守転送]** の順にタッチする ② 転送先電話番号を登録する番号にタッチする ③ **[転送する]** にタッチする ④ 転送先の電話番号※を入力し、**[確定]** にタッチする ※：110番、119番、118番は登録しないでください。登録しても転送は行われません。 転送を設定する番号と同じ電話番号は登録しないでください。 ＜転送の設定／解除を切り替える場合＞ ① **[設定]** → **[留守]** → **[留守転送]** の順にタッチする ② 転送を設定／解除する番号※にタッチする ③ **[転送する]** ／ **[転送しない]** にタッチする ※：転送が設定されている番号には、「転送する」と表示されています。
[在宅留守応答] 在宅留守応答を設定すると、留守番電話を設定していないときでも応答専用メッセージによる自動応答が行われ、外出先からのリモート操作ができます。(☛P2-86)	① **[設定]** → **[留守]** → **[在宅留守応答]** の順にタッチする ② 在宅留守応答を設定／解除する番号※にタッチする ③ **[確定]** にタッチする ※：お買い求め時は、すべての番号に在宅留守応答が設定されています。在宅留守応答が設定されている番号には、「設定中」と表示されています。
[応答時間] 外から電話をかけたときに留守応答するまでの時間を、未再生の用件メッセージがある場合と、ない場合について設定します（トールセイバ）。(☛P2-83)	① **[設定]** → **[留守]** → **[応答時間]** の順にタッチする ② 応答時間を変更する番号にタッチする ③ 未再生の用件メッセージありのときの設定（即応答／3秒／6秒／9秒～30秒）にタッチする ④ 未再生の用件メッセージなしのときの設定（即応答／3秒～12秒／15秒／18秒～30秒）にタッチする 操作中、手順④の設定画面を表示してから手順③の設定画面に戻ると、未再生の用件メッセージありのときの設定内容は、設定前の状態に戻ってしまいます。手順③～④は手順通り対で設定してください。

ワンポイント

● ワンタッチダイヤルを待受画面の **[ワンタッチ]** から登録するには（☛P2-32）

● 待受画面に戻るには
[待受画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
[前画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

■：お買い求め時の設定

[応答メッセージ] 留守応答時に流すメッセージの選択や、自作のメッセージの録音をします。 (☛P2-73、2-78)	<応答メッセージを選択する場合> ① **[設定]** → **[留守]** → **[応答メッセージ]** の順にタッチする ② 応答メッセージを設定する番号にタッチする ③ **[固定音声]** ／ **[応答専用音声]**※／ **[録音音声]**にタッチする ④ **[確定]** にタッチする ※：**[応答専用音声]** を選択すると、留守番電話は応答専用に設定されます。 <自作の応答メッセージを録音する場合> ① **[設定]** → **[留守]** → **[応答メッセージ]** の順にタッチする ② 応答メッセージを設定する番号にタッチする ③ **[録音音声]** にタッチする ④ **[応答メッセージ録音]** にタッチする ⑤ 受話器を取りあげてメッセージを話す ⑥ 録音が終わったら、**[録音終了]** にタッチし、受話器を戻す ⑦ 必要に応じて録音したメッセージの確認や削除、録音し直しなどを行う
[留守暗証番号] リモート操作用の暗証番号を登録します。(☛P2-80)	① **[設定]** → **[留守]** → **[留守暗証番号]** の順にタッチする ② 暗証番号を登録する番号※にタッチする ※：暗証番号が設定されている番号には、「暗証番号設定中」と表示されています。 ③ 暗証番号（4桁）を入力し、**[確定]** にタッチする

[音声]

■：お買い求め時の設定

[音声調整] 受話器から聞こえる相手の声を調整します。	<音量を調整する場合> ① **[設定]** → **[音声]** → **[音声調整]** の順にタッチする ② **[音量小]** ／ **[音量大]** にタッチして音量（小（1）〜（4）〜特大（8））を調整する ③ **[前画面に戻る]** にタッチする <音質を調整する場合> ① **[設定]** → **[音声]** → **[音声調整]** の順にタッチする ② **[低音強調]** ／ **[高音強調]** にタッチして音質（「低音」〜「標準」〜「高音」）を調整する ③ **[前画面に戻る]** にタッチする <速度を調整する場合> ① **[設定]** → **[音声]** → **[音声調整]** の順にタッチする ② **[低速]** ／ **[標準]** にタッチして音速（「低速（1）」〜「標準（6）」）を調整する ③ **[前画面に戻る]** にタッチする
[スピーカ音量調整] スピーカ音量を調整します。	① **[設定]** → **[音声]** → **[スピーカ音量調整]** の順にタッチする ② **[音量小]** ／ **[音量大]** にタッチして音量（小（1）〜（4）〜特大（8））を調整する ③ **[前画面に戻る]** にタッチする

設定を行う

[内線]

：お買い求め時の設定

[内線呼出] 内線電話の呼び出し方法を設定します。 音声で呼び出せるのはUD-標準電話機だけです。UD-標準電話機以外の内線電話機を音声で呼び出したときは、呼出音が鳴ります。	① **[設定]** → **[▼]** → **[内線]** → **[内線呼出]** の順にタッチする ② **[トーン]** ／ **[音声]** にタッチする

[ドアホン]

：お買い求め時の設定

[ドアホン転送] カメラドアホン着信時に、指定したFOMAにテレビ電話を発信し、映像を転送します。 (☛P2-112)	<転送先電話番号を登録し、転送を設定する場合> ① **[設定]** → **[▼]** → **[ドアホン]** → **[ドアホン転送]** の順にタッチする ② 設定を変更するドアホンにタッチする ドアホン転送が設定されているドアホンには、「転送する」と表示されています。 ③ **[転送する]** にタッチする ④ FOMAの電話番号※を入力し、**[確定]** にタッチする ※：110番、119番、118番は登録しないでください。登録しても転送は行われません。 <転送を解除する場合> ① **[設定]** → **[▼]** → **[ドアホン]** → **[ドアホン転送]** の順にタッチする ② 設定を変更するドアホンにタッチする ③ **[転送しない]** にタッチする

ワンポイント

- 待受画面に戻るには
  [待受画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。
- 1つ前の画面に戻るには
  [前画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

[転送]

：お買い求め時の設定

[転送先外線登録] 通話中の電話を外線に転送するための登録です。転送先の電話番号を登録します。(☛P2-62)	＜登録／修正する場合＞ ① **[設定]** → **[▼]** → **[転送]** → **[転送先外線登録]** の順にタッチする ② **[未登録]** ／修正する転送先にタッチする ③ **[編集]** にタッチする ④ 名前を入力／修正し、**[確定]** にタッチする ⑤ 必要に応じてフリガナを修正し、**[確定]** にタッチする ⑥ 転送先の電話番号※を入力し、**[確定]** にタッチする ※：110番、119番、118番は登録しないでください。登録しても転送は行われません。 ＜削除する場合＞ ①「＜登録／修正する場合＞」の手順①の操作をする ② 削除する転送先にタッチする ③ **[削除]** にタッチする ④ **[この登録を削除する]** にタッチする
[転送でんわ] 転送先の電話番号の登録や、転送を開始するまでの秒数の変更、転送の解除ができます。 (☛P2-66)	＜転送を設定する場合＞ ① **[設定]** → **[▼]** → **[転送]** → **[転送でんわ]** の順にタッチする ② 設定する番号にタッチする ③ 設定（無条件転送／3秒～60秒／ 転送しない ）にタッチする ④ 転送先の電話番号※を入力し、**[確定]** にタッチする ※：110番、119番、118番は登録しないでください。登録しても転送は行われません。 転送を設定する番号と同じ電話番号は登録しないでください。 ＜転送を解除する場合＞ ①「＜転送を設定する場合＞」の手順①～②の操作をする ② **[転送しない]** にタッチする ＜転送先電話番号を変更する場合＞ ①「＜転送を設定する場合＞」の手順①～②の操作をする ② **[転送先変更]** にタッチする ③ 電話番号を修正し、**[確定]** にタッチする ＜転送先電話番号を削除する場合＞ ①「＜転送を設定する場合＞」の手順①～②の操作をする ② **[転送先削除]** にタッチする ③ **[この番号を削除する]** にタッチする

【主装置機能】

：お買い求め時の設定

【ログインユーザ】	**【ログインユーザ名称】** ユーザ名を変更します。（☛P1-12）	① **【設定】→【▲】→【主装置機能】→【ログインユーザ】→【ログインユーザ名称】**の順にタッチする ② 名前（「内線1～8」）を修正し、**【確定】**にタッチする ③ 必要に応じてフリガナを修正し、**【確定】**にタッチする
	【ログインパスワード】 ユーザごとのパスワード（4桁の数字）を設定します。（☛P1-17）	<登録する場合> ① **【設定】→【▲】→【主装置機能】→【ログインユーザ】→【ログインパスワード】**の順にタッチする ② パスワード（設定なし）を入力し、**【確定】**にタッチする <パスワードなしにする場合> ①「<登録する場合>」の手順①の操作をする ② **【1文字消去】**にタッチして全桁消去し、**【確定】**にタッチする
【複数チャネル契約】 ダブルチャネルまたは複数チャネルの契約状況に合わせて設定を変更します。（☛P2-95）		① **【設定】→【▲】→【主装置機能】→【複数チャネル契約】**の順にタッチする ② **【設定する】**／**【設定しない】**にタッチする
【テレビ電話接続サービス契約】 テレビ電話接続サービスの契約状況に合わせて設定を変更します。（☛P2-95）		① **【設定】→【▲】→【主装置機能】→【テレビ電話接続サービス契約】**の順にタッチする ② **【設定する】**／**【設定しない】**にタッチする
【ナンバーディスプレイ契約】 ナンバー・ディスプレイの契約状況に合わせて設定を変更します。（☛P2-95）		① **【設定】→【▲】→【主装置機能】→【ナンバーディスプレイ契約】**の順にタッチする ② **【設定する】**／**【設定しない】**にタッチする

[その他]

：お買い求め時の設定

[バックライト明るさ調整] タッチパネルの明るさを5段階で調整できます。	① **[設定]** → **[▲]** → **[その他]** → **[バックライト明るさ調整]** の順にタッチする ② **[暗い]** ／ **[明るい]** にタッチして明るさ（暗い1／2／3／4／5明るい）を調整する ③ **[待受画面に戻る]** にタッチし、待受画面に戻る
[工場出荷時に戻す] お使いのUD-標準電話機をお買い求め時の状態に戻します。(☛P5-6)	① **[設定]** → **[▲]** → **[その他]** → **[工場出荷時に戻す]** の順にタッチする ② **[はい]** にタッチする
[タッチパネル調整] タッチしても画面が切り替わらないときに、タッチパネルの調整を行います。(☛P4-4)	① **[設定]** → **[▲]** → **[その他]** → **[タッチパネル調整]** の順にタッチする ② マーク（次々に4か所表示）の中心を、付属品のタッチペンで正確にタッチする ③ **[待受画面に戻る]** にタッチし、待受画面に戻る
[キータッチ音] ダイヤルボタンを押すとき、およびタッチパネルにタッチするときにキータッチ音を鳴らすかどうか設定します。(☛P1-25)	① **[設定]** → **[▲]** → **[その他]** → **[キータッチ音]** の順にタッチする ② **[鳴る]** ／ **[鳴らない]** にタッチする

[アップデート]

：お買い求め時の設定

[手動アップデート] 新しい更新ファイルの有無をチェックし、更新ファイルがあった場合には、お使いのUD-標準電話機を手動でアップデートします。(☛P5-10)	① **[設定]** → **[▲]** → **[アップデート]** → **[手動アップデート]** の順にタッチする ② **[手動アップデートを行う]** ／ **[手動アップデートを行わない]** にタッチする
[自動アップデート] 更新ファイルの有無のチェックおよびアップデートを自動で行うように設定します。(☛P5-12)	① **[設定]** → **[▲]** → **[アップデート]** → **[自動アップデート]** の順にタッチする ② **[自動アップデートを行う]** ／ **[自動アップデートを行わない]** にタッチする

ワンポイント

● 待受画面に戻るには
[待受画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
[前画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

[終了]

ログアウトします。(☛P1-23)	① **[設定]** → **[▲]** → **[終了]** の順にタッチする ② **[はい]** にタッチする

ワンポイント

● 待受画面に戻るには
[待受画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

第4章

こんなときには

「聞こえにくい」を解決するには 4-2

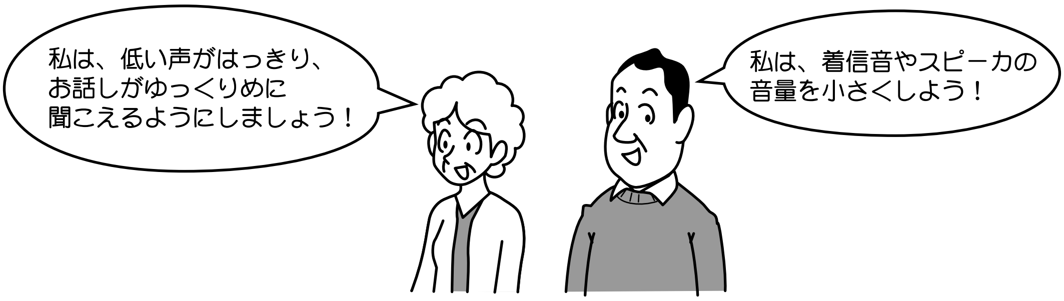
タッチしても画面が切り替わらないときは
（タッチパネル調整）..4-4

おしらせランプが点滅しているときは／お知らせ表示が
出たときは..4-6

停電のときは 4-8

・「聞こえにくい」を解決するには・

音量や音質などは、各ユーザのお好みに合わせて設定できます。1台のUD-標準電話機を複数のユーザで使用する場合でも、ユーザごとに聞き取りやすい設定でご利用になれます。
調整した結果は現在ログイン中のユーザの設定として保存され、同じユーザが次に調整を行うまで変わりません。



着信音が小さすぎる／大きすぎるときは

[着信音量] で音量を調整してください。(☛P3-4)
着信音量は、「切（鳴らない）」から「特大」までの5段階で調整できます。着信音量は、待受画面からの操作だけでなく、着信音が鳴っているときにも調整できます。(☛P2-14)

受話器からの声が小さすぎる／大きすぎるときは

[音声調整] で音声の音量を調整してください。(☛P3-7)
音声音量は、「小」から「特大」までの8段階で調整できます。聞き取りやすい音量に調整してください。
音声音量は、待受画面からの操作だけでなく、通話中にも調整できます。(☛P2-26)

受話器からの声がこもった感じやキンキンした感じで聞き取りにくいときは

[音声調整] で音声の音質を調整してください。(☛P3-7)
音声音質は「低音強調」／「標準」／「高音強調」の3種類から選べます。たとえばこもった感じで聞き取りにくい方は、「高音強調」にしてみてください。音声音質は、待受画面からの操作だけでなく、通話中にも調整できます。(☛P2-26)

早口の相手とのお話しが聞き取りにくいときは

[音声調整] で音声の速度を調整してください。(☛P3-7)
音声速度を調整すると、相手の声の速さを実際よりもゆっくりに変換することができます。早口の方との通話が苦手な方は、低速に調整してみてください。速度は、「低速（1）」から「標準（6）」の6段階で調整できます。
音声速度は、待受画面からの操作だけでなく、通話中にも調整できます。(☛P2-27)

ハンドフリー通話時のスピーカからの声が小さすぎる／大きすぎるときは

[スピーカ音量調整] で音声の音量を調整してください。(☛P3-7)
スピーカ音量は、「小」から「特大」までの8段階で調整できます。聞き取りやすい音量に調整してください。スピーカ音量は、待受画面からの操作だけでなく、通話中にも調整できます。(☛P2-28)

※調整したスピーカ音量は、そのユーザの設定として保存され、留守番電話の用件や通話録音の再生時のスピーカ音量にも反映されます。

用件や通話録音の再生音声が聞き取りにくいときは

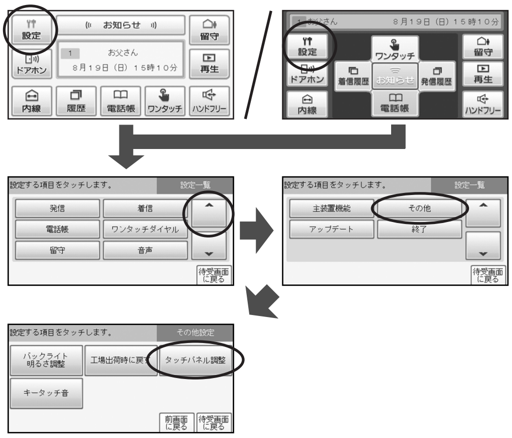
再生中に**【再生調整】**で音量、音質、速度を調整してください。（☛P2-77）
スピーカから聞こえる再生音声が聞き取りにくいときは、再生中に調整します。
スピーカ音量※は、「小」から「特大」までの8段階で調整できます。スピーカ音質は「低音強調」／「標準」／「高音強調」の3種類から選べます。再生速度は「低速」／「標準」／「高速」の3種類から選べます。

※：再生中に調整したスピーカ音量は、そのユーザの設定として用件再生終了後も保存され、ハンドフリー通話のスピーカ音量にも反映されます。

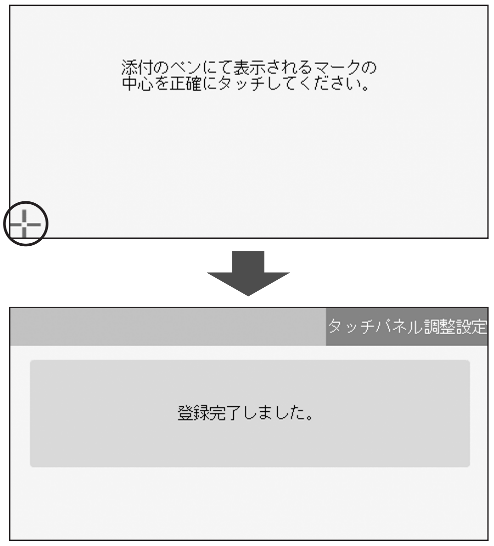
タッチしても画面が切り替わらないときは（タッチパネル調整）

お使いいただいているうちに、タッチパネルへのタッチが効きにくくなることがあります。タッチしても表示が切り替わりにくくなったと感じたときは、付属品のタッチペン（☛P1-2）を使って次の操作を行ってください。
調整の結果はUD-標準電話機の設定として保存されます。ユーザごとに調整を行う必要はありません。

＜基本イメージ＞　＜携帯イメージ＞

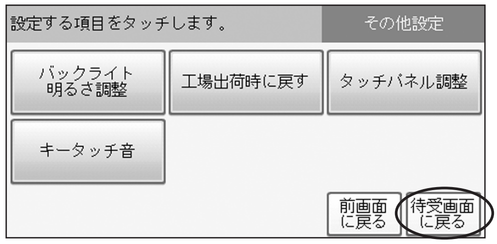


❶ ［設定］➡［︿］➡［その他］➡［タッチパネル調整］の順にタッチする



❷ 表示されるマークの中心を、タッチペンで正確にタッチする

マークの中心をタッチすると、別のマークが表示されますので、マークの中心を正確にタッチします。4回繰り返します。



❸ ［待受画面に戻る］にタッチし、待受画面に戻る

タッチパネル調整の結果がUD-標準電話機に保存されます。

ワンポイント

- **タッチパネル調整中に電話がかかってきたときは**
  タッチパネル調整が中止され、電話に出ることができます。
- **タッチパネル調整を中止するには**
  受話器を取りあげると、調整が中止されます。
- **タッチパネル調整したのにタッチが効きにくいときは**
  調整が正しく行われていない可能性があります。もう一度タッチパネル調整を行ってください。

お願い

- タッチパネル調整時には、付属品のタッチペン以外のものを使用しないでください。他の先のとがったものを使うと、タッチパネルが傷ついたり割れたりすることがあります。また、動作しなくなる可能性があります。

お知らせ

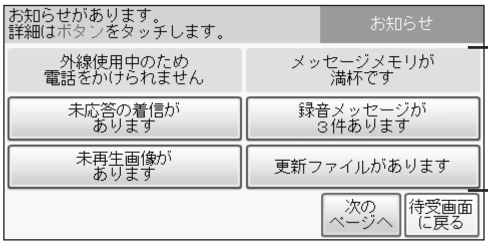
- タッチペンでマークの中心をタッチするときに、指などが画面に触れると正確に調整できないのでご注意ください。

おしらせランプが点滅しているときは／お知らせ表示が出たときは

電話に出なかったときや、留守番電話に用件が録音されたときなど、お知らせがあるときには、おしらせランプが点滅し、待受画面に**［お知らせ］**と表示されます。また、電話をかけられない状況のときや転送動作中にも表示されます。
［お知らせ］にタッチするとお知らせ情報画面が表示されます。

<基本イメージ>

<携帯イメージ>



- 背景が白いお知らせ情報は、タッチすることにより対処のための操作ができる
- 状態のみをお知らせする情報は、背景が灰色（タッチしても画面が変わらない）
- お知らせ情報が7つ以上ある場合は、**［次のページへ］**にタッチすると他の情報を確認できる

［お知らせ］と表示されていたときは、タッチしてお知らせ情報を確認してください。お知らせ情報によっては、すばやく対処の操作が行えます。

お知らせ情報	対処のしかた
［未応答の着信があります］ 出なかった電話があります。着信時間やかけてきた相手などを確認してください。	① **［お知らせ］→［未応答の着信があります］**の順にタッチする ② 表示された着信履歴を確認する（☛P2-45）
「メッセージメモリが満杯です」 録音用のメモリがいっぱいになり、録音ができません。用件などの削除が必要です。	不要な録音内容を削除してください。（☛P2-29、2-74）
「外線使用中のため電話をかけられません」 ・外線に空きがありません。 ・UD-主装置の自動登録が完了していません。	・外線に電話をかけるには、外線に空きができるまでお待ちください ・『②総合編』の「各部の名前」と「こんなときには」を参照して、UD-主装置のひかり電話ランプを確認してください。
［録音メッセージがXX件あります］ 未再生の用件があります。用件を再生してください。	① **［お知らせ］→［録音メッセージがXX件あります］**の順にタッチする ② 用件を再生して確認する（☛P2-74）

お知らせ情報	対処のしかた
[未再生画像があります] 未再生のドアホン画像があります。録画内容を再生してください。	① **[お知らせ]** → **[未再生画像があります]** の順にタッチする ② 録画内容を確認する（☛P2-110）
「留守転送中」 現在、用件メッセージ録音の転送中です。	−
[ログアウト状態の端末があります] いずれかの内線電話機がログアウト状態になっています。	① **[お知らせ]** → **[ログアウト状態の端末があります]** の順にタッチする ② ログアウトしているユーザを確認する ③ **[確認]** にタッチする
[更新ファイルがあります] UD-標準電話機を最新の状態にアップデートできます。	① **[お知らせ]** → **[更新ファイルがあります]** の順にタッチする ② **[手動アップデートを行う]** にタッチする（☛P5-8）
「電話が利用できなくなっています」 ネットワークの問題が発生しています。	ネットワークの問題が解決すると、表示が消えます。
「主装置の更新ファイルがあります」 UD-主装置を最新の状態にアップデートできます。	UD-主装置がアップデートされると、表示が消えます。

ワンポイント

● 待受画面に戻るには
[待受画面に戻る] が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

お知らせ

● 状況が変化してもお知らせ情報の表示は更新されません。たとえば、**[外線使用中のため電話をかけられません]** 表示中に外線に空きができても、お知らせ情報は消えません。

● ログアウト中ユーザの確認画面は、状況が変化しても更新されません。たとえば、確認画面表示中にログアウトしていたユーザがログインしても、ユーザ名が消えません。

● 下記の場合は、電話の発信や着信ができません。このとき、お知らせ情報の「外線使用中のため電話をかけられません」は表示されません。
・ダブルチャネル／複数チャネルをご契約の場合に、フレッツフォンなどでテレビ電話を使用している、またはカメラドアホンからの呼び出しにFOMAで応答しているなどして、外線の空きが1回線のとき

停電のときは

停電になると

停電中は、電話の発着信をはじめ、すべての機能がご利用になれません。UD-標準電話機のタッチパネルが消灯し、何も表示されなくなります。
また、外の相手や内線、ドアホンとの通話中、保留中に停電が発生した場合は、電話が切れます。

停電が復旧すると

UD-標準電話機のタッチパネルが点灯します。ログインしていた電話機では待受画面が表示され、ログアウトしていた電話機ではユーザ選択画面が表示されます。

お知らせ

- 停電になっても、設定内容や発信履歴、着信履歴、電話帳、ワンタッチダイヤルなどのデータ、留守番電話の用件メッセージ、録音した応答メッセージ、通話録音メッセージはUD-主装置に保存されています。
- 設定中に停電になった場合は、設定内容は保存されません。
- 発信／着信履歴は、ユーザがログアウトしたときや発信／着信履歴の一覧画面で**【履歴保存】**にタッチしたときにUD-主装置に保存されます。停電が発生した場合、UD-主装置に保存されていない発信／着信履歴は消失します。履歴の一覧には、最後に保存された時点の履歴が表示されます。
- タッチパネル調整（☛P4-4）の操作中に停電になった場合は、調整内容が保存されないか、未調整の状態になります。
- バックライトの明るさ調整（☛P3-11）の操作中に停電になった場合は、調整内容が保存されないか、お買い求め時の設定に戻ります。
- 通話録音中、用件メッセージ録音中、応答メッセージ録音中に停電になった場合は、録音内容は消去されます。

第5章

ご参考に

故障かな？と思ったら 5-2

こんな音がしたときは 5-5

お使いのUD-標準電話機をお買い求め時の状態に戻すには
（初期化）...5-6

お使いのUD-標準電話機をアップデートするには 5-8

設置と接続について 5-13

お手入れのしかた 5-15

索引 5-16

リモート操作カード 5-19

保守サービスのご案内..5-21

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●電話をかける／受ける

こんなときは	原　因	確認してください	参　照
すべてのUD-標準電話機が使えない	UD-主装置の電源が入っていない。	UD-主装置の電源を入れてください。	①セットアップガイド
	停電している。	停電中は、電話の発着信をはじめ、すべての機能がご利用になれません。	P4-8
一部のUD-標準電話機が使えない	UD-標準電話機の電源が入っていない。	UD-標準電話機の電源を入れてください。	P5-13、5-14
	UD-標準電話機のLANケーブルが抜けている。	UD-標準電話機のLANケーブルを正しく接続してください。UD-標準電話機がログイン中のときは、LANケーブルを接続すると再起動します。	P5-13
	ログアウトしている。	ログインしてください。	P1-21
着信音が鳴らない	着信音量が「切」になっている。	着信音量を「小」「中」「大」「特大」のどれかにしてください。	P3-4
	着信拒否になっている。	着信拒否を解除してください。	P3-4
	着信する番号が設定されていない。	**［個別着信］**で、着信する番号を設定してください。	P3-4
	着信するすべての番号に、「転送でんわ」の「無条件転送」が設定されている。	転送を解除するか、転送を開始するまでの時間（3秒～60秒）を設定してください。	P2-66、3-9
	ログアウトしている。	ログインしてください。	P1-21
「ツー」という発信音が聞こえない	ログアウトしている。	ログインしてください。	P1-21
	受話器が浮いている。	受話器をしっかり置き、しばらく待ってから電話をかけ直してください。	－
発信履歴や着信履歴の一部が保存されていない	停電が発生し、保存されていない発信履歴や着信履歴が消失した。	故障ではありません。 発信履歴と着信履歴は、ログアウトしたときや、履歴を保存する操作を行ったときにUD-主装置に保存されます。履歴の消失を防ぐためには、定期的に保存を行ってください。	P2-47

●タッチパネル

こんなときは	原　因	確認してください	参　照
タッチパネルが暗い	お買い求め時は、バックライトの明るさが5段階（暗い1／2／3／4／5明るい）の「2」に設定されている。	バックライトの明るさを3～5に設定してください。	P3-11
タッチパネルが突然暗くなる	操作をしないと、約20秒でタッチパネルのライトが減光し、暗くなる。	タッチパネルにタッチすると明るくなります。	P1-5
タッチパネルが消えている **タッチパネルが突然消える**	操作をしないと、約1分でタッチパネルのライトが消灯する。	タッチパネルにタッチすると点灯します。	P1-5
タッチしても表示が切り替わりにくい	タッチパネルの調整がずれている。	タッチパネル調整を行ってください。	P4-4

●留守番電話

こんなときは	原　因	確認してください	参　照
用件が録音できない **応答メッセージが、内蔵の応答専用メッセージに変わってしまう**	用件が60件録音されている。または、用件が合計で約45分録音されている。	録音されている用件を確認してから削除してください。	P2-74、2-76

●音声ドアホン／カメラドアホン

こんなときは	原　因	確認してください	参　照
ドアホンからの呼び出しがあったときの着信音が鳴らない	着信音量が「切」になっている。	着信音量を「小」「中」「大」「特大」のどれかにしてください。	P3-4
	ログアウトしている。	ログインしてください。	P1-21
カメラドアホンからの呼び出しがあったときに、相手の映像が表示されない	映像を表示する内線電話機に設定されていない。	故障ではありません。カメラドアホンから呼び出しがあったときに、相手の映像が表示されるUD-標準電話機は2台までです。	P2-104
カメラドアホンとのお話しが切れる	約8分間で自動的に切れる。	故障ではありません。	—
待受画面に［ドアホン］が表示されない	UD-主装置のWeb設定で、「ドアホン設定」→「ドアホン設定」の「ドアホン接続」が「接続しない」になっている。	「ドアホン接続」を「接続する」に設定してください。	②総合編
使いたいドアホンがタッチパネルに表示されない			
待受画面の［ドアホン］がタッチ無効の薄い表示になっている	他の内線電話機が、ドアホンを使用中。	しばらくお待ちください。	—
ドアホン機能が使用できない	ドアホンとUD-映像アダプタ、またはドアホンとUD-FAXドアホンユニットの接続が外れている。	ドアホンとUD-映像アダプタ、またはドアホンとUD-FAXドアホンユニットの接続を確認してください。	—

●その他

こんなときは	原　因	確認してください	参　照
文字が入力できない	入力範囲すべてに文字（スペース含む）を入力した。	故障ではありません。	−
	入力範囲すべてにスペースを入力した。	**［1文字消去］**に繰り返しタッチして、カーソルを一番左に戻してから入力し直してください。	−
ログイン中に「しばらくおまちください。」と表示されたままになる	ログイン中に電話がかかってくると、電話がかかってきている間、「しばらくおまちください。」と表示されたままになる。	しばらくお待ちください。	−
通話中におしらせランプが点滅する	ご利用の回線をすべて使用中のとき、おしらせランプが点滅する。	故障ではありません。	−
電話を切ると、タッチパネルに［お知らせ］が一瞬表示され、すぐに「お知らせはありません」に変わる	UD-標準電話機の特性のため。	故障ではありません。	−
設定を完了したときなどに「主装置との通信に失敗しました。」と表示される	UD-標準電話機とUD-主装置との通信に失敗したため。	故障ではありません。もう一度やり直してください。何度もメッセージが表示される場合は、UD-標準電話機とUD-主装置の接続を確認してください。	−

次ページにつづく▶

故障かな？と思ったら

こんなときは	原　因	確認してください	参　照
留守番電話の用件メッセージやカメラドアホンの画像を再生しようとしたときなどに、以下の状態となり再生できない ・タッチパネルの項目がタッチ無効の薄い表示になっている ・タッチする項目が表示されない ・「現在使用できません。」と表示される	下記の場合は、留守番電話の用件メッセージやカメラドアホンの画像を再生できない。 ・他の内線電話機が留守番電話機能や通話録音機能を使用しているとき ・外出先からリモート操作で留守番電話機能を使用しているとき ・他の内線電話機がカメラドアホンの画像を再生するなどして、UD-映像アダプタを使用しているとき	しばらく待ってから、もう一度やり直してください。	－
	用件メッセージ、通話録音メッセージ、カメラドアホンの画像が１件もない。	故障ではありません。	－
・留守番電話機能や通話録音機能が使用できない **・ドアホン機能が使用できない**	UD-標準電話機の電源が切れた、またはUD-標準電話機のLANケーブルが抜けた。	UD-標準電話機の電源を入れたあと、またはUD-標準電話機のLANケーブルを接続したあと約5分間は、留守番電話機能やドアホン機能が使用できないことがあります。	－
タッチパネルに「終話」と表示されたままになっている	通話が切れたときに、切れた通話以外に保留や着信などがある場合は、「終話」と表示されたままになる。	故障ではありません。	－
操作を受け付けなくなり、再起動する	UD-標準電話機に過剰な負荷がかかると、再起動することがある。	故障ではありません。正常性を保つために再起動をします。再起動が終了するまでしばらくお待ちください。	－
UD-標準電話機や電源アダプタがあたたかい	内部に発熱するところがあるため、多少温度が上がる。	故障ではありません。	－

●ハンドフリー通話

こんなときは	原　因	確認してください	参　照
相手の声が小さい	スピーカ音量が小さくなっている。	スピーカ音量を大きくしてください。	P3-7
	スピーカからの音が大きいまたはUD-標準電話機を壁に向けて置いているため、ハウリングを防ぐために自動的にスピーカの音が小さくなっている。	スピーカ音量を小さくするか、UD-標準電話機を壁から離してください。	P3-7
相手の声が途切れる	双方で同時に話している。	故障ではありません。相手の方が話し終えてから話し始めてください。	－
	室内がざわついている。	周囲を静かにしてご利用ください。	－
	通話の状態により、相手の声が一時途切れることがある。	故障ではありません。	－
相手に伝わる声が小さい	UD-標準電話機のマイクから離れすぎている。	マイクとの距離は、約50cmを目安としてお話しください。	－
「キーン」というハウリング音が入る	UD-標準電話機のマイクに手や顔を近づけている。	手や顔を遠ざけてください。	－

こんな音がしたときは

こんな音が…	原　因	こうします
プープー… （話中音）	電話をかけた相手がお話し中。	しばらく待ってから、かけ直してください。
ピー（約20秒間）	受話器がはずれている。	受話器はずれの警報音が鳴っている電話機の受話器を戻してください。
ピーピー・・・ （保留警報音）	外線通話の保留状態が5分以上続いている。	保留を解除してください。（☛P2-24） 解除しなかった場合は、約30秒間保留警報音が鳴ったあと、自動的に電話が切れ、保留警報音が停止します。また、相手の方が電話を切った場合にも、保留警報音が停止します。
ププププ、 ププププ・・・ （通話中保留警報音）	通話中の相手を保留にして、あとからの電話を受けたときに、保留状態が5分以上続いている。	保留している相手との通話に戻ってください。（☛P2-18） 何も操作をせず、そのまま保留状態が続くと、約30秒後に保留している相手との電話が切れ、通話中保留警報音が停止します。 また、保留している相手が電話を切った場合も、通話中保留警報音が停止します。
	内線転送中または外線転送中に、保留状態が5分以上続いている。	転送を完了するか、保留している相手との通話に戻ってください。（☛P2-60、2-61） 何も操作をせず、そのまま保留状態が続くと、約30秒後に保留している相手との電話が切れ、通話中保留警報音が停止します。 また、保留している相手が電話を切った場合も、通話中保留警報音が停止します。
プッププッ、プッププッ・・・ （通話中着信音）	外線通話中や内線通話中の外線着信音。	「通話中にかかってきた別の電話を受ける」（☛P2-18）を参照してください。
	ドアホンと通話中の外線着信音。	「ドアホンと通話中に外線で電話がかかってきたときは」（☛P2-104）を参照してください。
ピッ	ダイヤルボタンを押しているかタッチパネルにタッチしていることをお知らせするキータッチ音。	キータッチ音が鳴らないように、ユーザごとに設定を変更することができます。（☛P1-25）
ピピピピピ	誤った操作をしたことをお知らせするエラー音。	エラー音は、スピーカから常に同じ音量で聞こえます。鳴らないようにすることはできません。

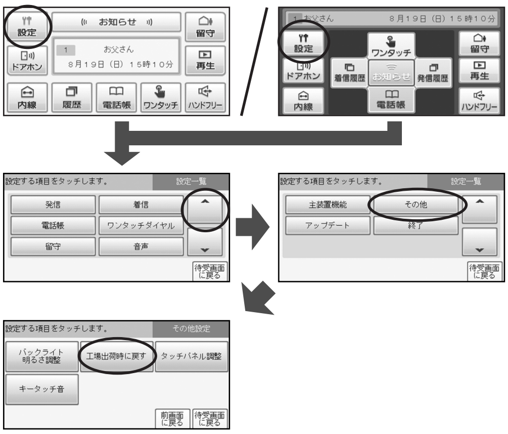
ワンポイント

● **受話器はずれの警報音が鳴っているときに電話がかかってくると**
警報音が停止し、着信音が鳴ります。電話を受けるには、いったん受話器を戻してからもう一度取りあげます。

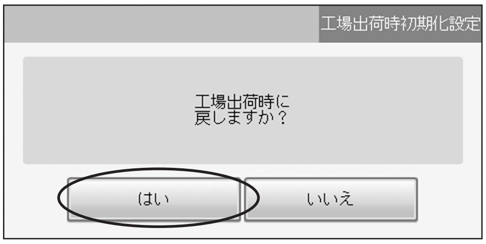
お使いのUD-標準電話機をお買い求め時の状態に戻すには(初期化)

お使いのUD-標準電話機を廃棄、譲渡、または返却するときは、次の操作を行って、電話機をお買い求め時の状態に戻してください。また、この操作は、特定の方のユーザ登録を抹消したいときにも有効です。

<基本イメージ>　<携帯イメージ>

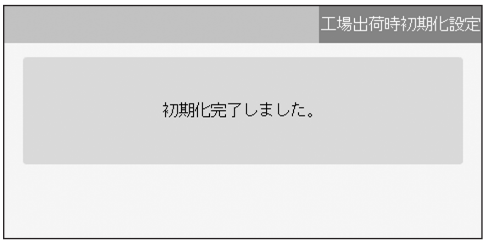


❶［設定］➡［ ▲ ］➡［その他］➡［工場出荷時に戻す］の順にタッチする



❷［はい］にタッチする

ログアウトします。



自動的に再起動します。

再起動後、ユーザ選択画面が表示されます。

●待受画面を表示させるには
　ログインしてください。

ワンポイント

● **初期化を行うと**

・初期化の操作を行ったユーザは、ユーザ固有の登録内容や履歴、各種設定などが消去され、利用できなくなります。例えば、「お父さん」でログインしているときに初期化を行うと、「お父さん」でログインしているときに登録したワンタッチダイヤル、電話帳や着信履歴、発信履歴、各種設定などを利用できなくなります。

・バックライト明るさ調整およびタッチパネル調整の設定が、お買い求め時の状態に戻ります。

お願い

● 初期化は、UD-標準電話機がUD-主装置に接続され、正しく動作している状態で行ってください。UD-標準電話機をUD-主装置に接続していない状態で初期化を行ったときは、初期化の操作を行ったユーザのユーザ固有の登録内容や履歴、各種設定などが消去されないことがあります。

● 「しばらくおまちください。」の表示中は、絶対に電源を切らないでください。故障の原因になります。

お知らせ

● 初期化を行ったあとでも、その他のユーザは引き続きこのUD-標準電話機をご利用になれます。引き続きご利用になる場合は、必ずタッチパネル調整（☛P4-4）を行ってください。また、必要に応じてバックライト明るさ調整（☛P3-11）を行ってください。

お使いのUD-標準電話機をアップデートするには

お使いのUD-標準電話機のソフトウェアを最新の状態にアップデートできます。アップデートを行うには、次の3通りの方法があります。

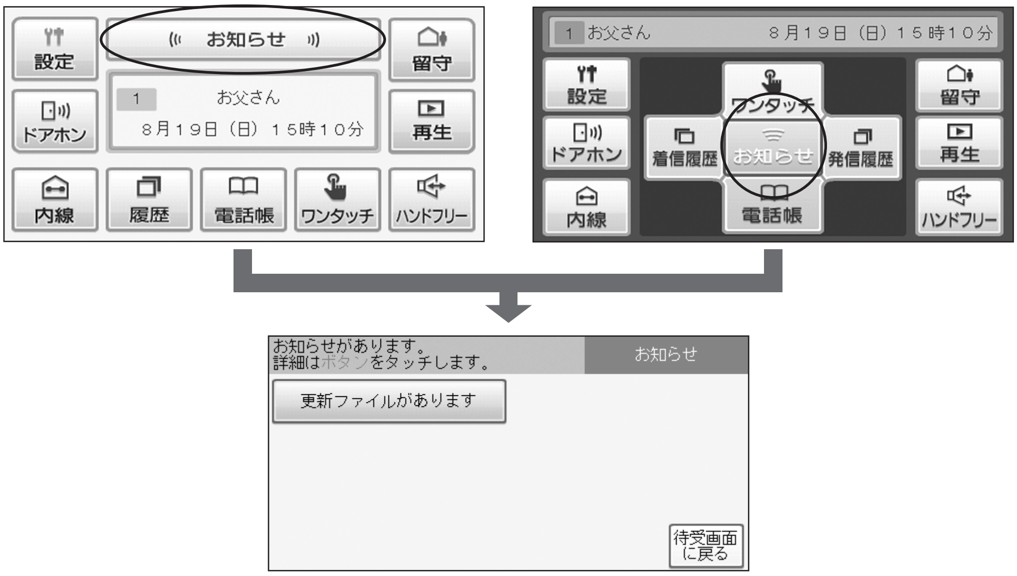
・ソフトウェア更新のお知らせが表示されたときに、手動でアップデートする
・手動で更新ファイルの有無をチェックし、更新ファイルがあったときにアップデートする
・自動で更新ファイルの有無のチェックとアップデートが行われるように設定しておく

UD-標準電話機のソフトウェアをアップデートするには、プロバイダと契約し、ひかり電話対応機器側でインターネット接続の設定をする必要があります。

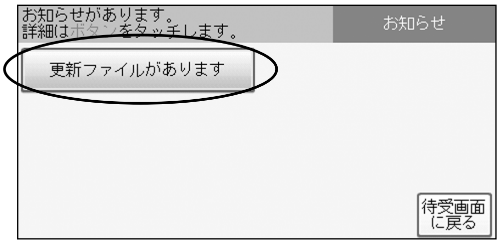
お知らせがあったときに手動でアップデートを行う

更新されたソフトウェアがあった場合には、お知らせ情報の表示でお知らせします。

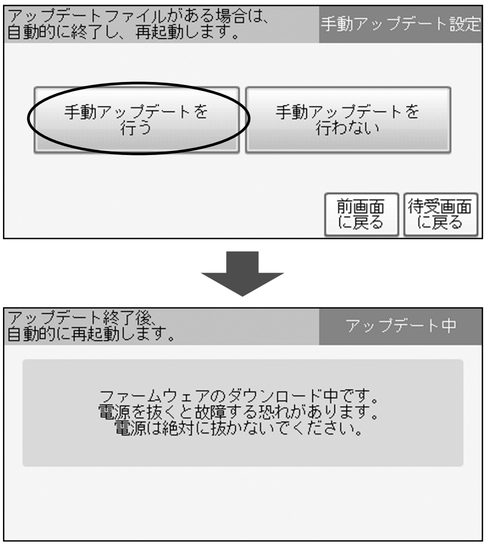
更新ファイルがある場合には、待受画面に表示された **［お知らせ］** にタッチしたときに **［更新ファイルがあります］** が表示されます。



［更新ファイルがあります］ が表示された場合には、次のように操作して、アップデートを実行してください。



❶ ［更新ファイルがあります］にタッチする



❷ [手動アップデートを行う] にタッチする

アップデートが完了すると、自動的に再起動し、待受画面が表示されます。
待受画面が表示されるまで、発信をはじめとする電話の利用がいっさいできません。また、どこからも電話を受けることができません。

ワンポイント

● **更新されたソフトウェアの有無をチェックするタイミングは**
次のタイミングで自動的にチェックされます。
・このUD-標準電話機の電源を入れたとき、または再起動したとき
・このUD-標準電話機の電源を入れてから、または再起動してから、24時間経過するごと
チェックの結果、更新されたソフトウェアがあった場合には、お知らせ情報の表示でお知らせします。

お願い

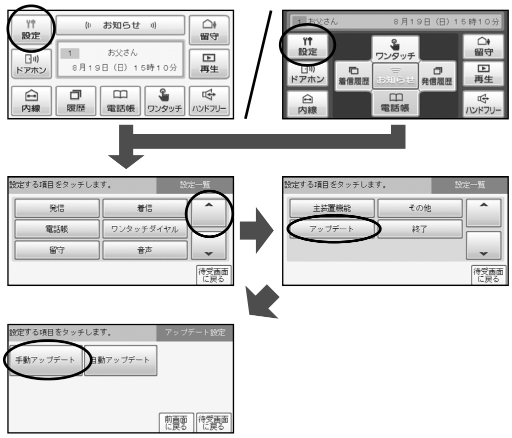
●「ファームウェアのダウンロード中です。」の表示中は、絶対に電源を切ったり、LANケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因になります。

お使いのUD-標準電話機をアップデートするには

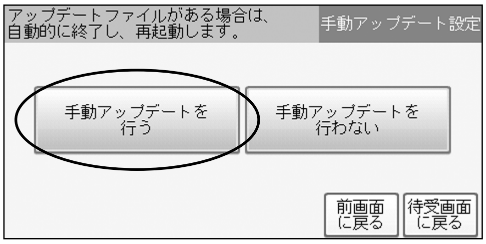
手動でチェックとアップデートを行う

更新ファイルがあるかどうかは、手動でチェックすることもできます。更新ファイルがあったときは、続けてアップデートを実行できます。

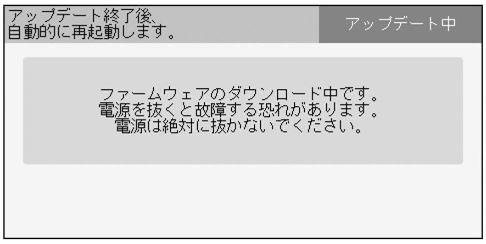
<基本イメージ>　<携帯イメージ>



❶ **[設定]➡[⌃]➡[アップデート]➡[手動アップデート]の順にタッチする**



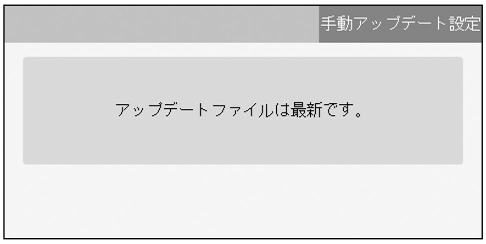
❷ **[手動アップデートを行う]にタッチする**



●更新ファイルがあったときは

アップデートが開始され、完了すると自動的に再起動し、待受画面が表示されます。

待受画面が表示されるまで、発信をはじめとする電話の利用がいっさいできません。また、どこからも電話を受けることができません。



●更新ファイルがなかったときは

「アップデートファイルは最新です。」と表示されたあと、待受画面に戻ります。

ワンポイント

● 待受画面に戻るには
【待受画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
【前画面に戻る】が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

お願い

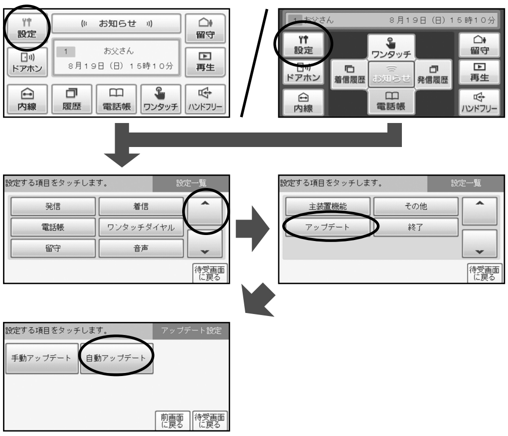
●「ファームウェアのダウンロード中です。」の表示中は、絶対に電源を切ったり、LANケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因になります。

お使いのUD-標準電話機をアップデートするには

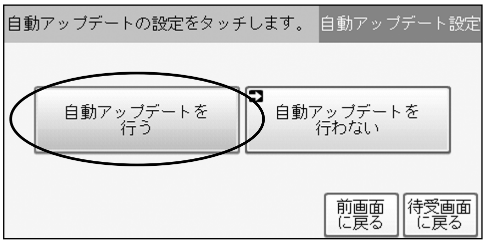
自動アップデートを設定する

更新ファイルの有無のチェックとアップデート操作が自動的に行われるように、あらかじめ設定しておくことができます。お買い求め時は、「自動アップデートを行わない」に設定されています。

＜基本イメージ＞　＜携帯イメージ＞



❶［設定］➡［▲］➡［アップデート］➡［自動アップデート］の順にタッチする



❷［自動アップデートを行う］にタッチする

●自動アップデートを解除するときは
［自動アップデートを行わない］にタッチする

ワンポイント

● 待受画面に戻るには
［待受画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると待受画面に戻ります。

● 1つ前の画面に戻るには
［前画面に戻る］が表示されているときは、これにタッチすると1つ前の画面に戻ります。

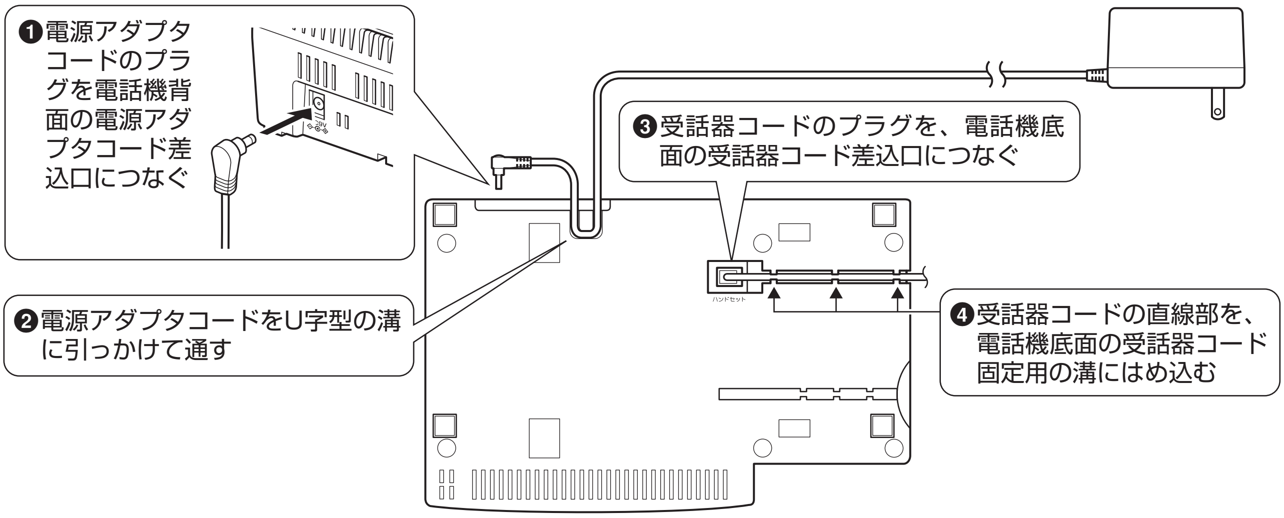
● 自動アップデートが行われるタイミングは
更新されたソフトウェアの有無は、次のタイミングで自動的にチェックされ、更新ファイルがあったときは午前4時から1時間以内にアップデートが行われます。このUD-標準電話機が通話中だった場合は、次の日の午前4時から1時間以内にアップデートが行われます。
・このUD-標準電話機の電源を入れたとき、または再起動したとき
・このUD-標準電話機の電源を入れてから、または再起動してから、24時間経過するごと
アップデートが完了すると、自動的に再起動し、待受画面が表示されます。

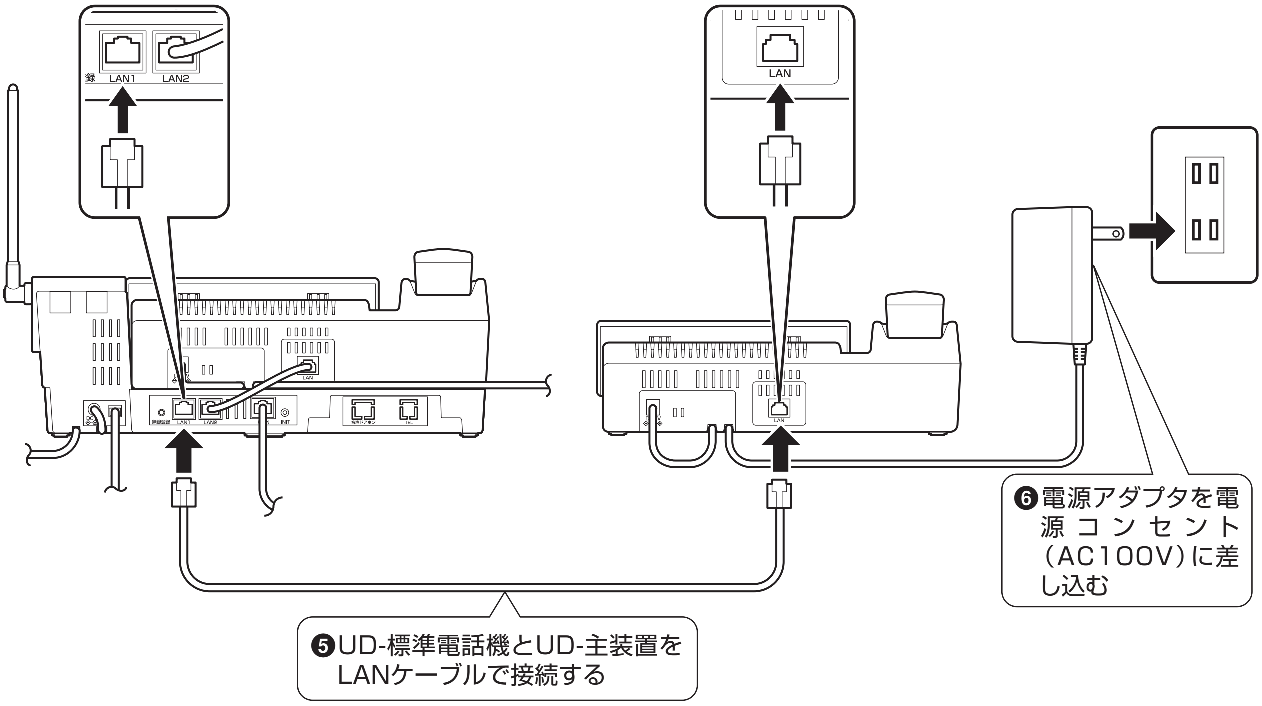
お知らせ

●アップデート中は、待受画面が表示されるまで、発信をはじめとする電話の利用がいっさいできません。また、どこからも電話を受けることができません。

設置と接続について

ここでは、UD-標準電話機のみを増設した場合の設置、接続方法について説明します。UD-主装置にセットしてお使いになる場合については、『最初にお読みください①セットアップガイド』を参照してください。





次ページにつづく▶

設置と接続について

ワンポイント

● **UD-主装置のLANポートが足りないときは**
ハブを介してUD-主装置とUD-標準電話機を接続してください。ハブは、当社推奨のWeb Caster HUB-5PLをご使用ください。

● **ダイヤルボタンを使用するときは**
受話器部分を押さえ、タッチパネル下のマーク部分を押し出すようにしてスライドさせ、ダイヤルボタンを見えるようにします。

お願い

● タッチパネルを立てるときは、画面部分を押さないでください。また、UD-標準電話機各部に無理な力が加わらないようにしてください。

お知らせ

● UD-標準電話機には電源スイッチがありません。電源アダプタのプラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。

● 電源の再投入は5秒以上たってから行ってください。電源を切ったあと、すぐに電源を再投入すると起動しない場合があります。

お手入れのしかた

本体の清掃

UD-標準電話機の電源アダプタを電源コンセントから抜き、やわらかい布に水を含ませて、固く絞ってから、本体の周囲をふいてください。

タッチパネルの清掃

タッチパネルの画面は、ほこりなどで汚れると表示内容が見にくくなるので、定期的に清掃する必要があります。UD-標準電話機の電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかいきれいな布で軽くふいてください。

お願い

- 本体を清掃するときは、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、みがき粉、熱湯、アルコールなどを使わないでください。変形、変色の原因となることがあります。
- タッチパネルを清掃するときは、ぬれた雑巾やベンジン、シンナーなどの溶剤、みがき粉、アルコールなどを使わないでください。故障の原因となることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。

索　引

アルファベット

LANケーブル …… 1-2、5-13
LANポート …… 1-4
UD-主装置 …… 5-13

五十音

【あ行】

アキュムレート録音 …… 2-71
アップデート …… 3-11、5-8
安全にお使いいただくために …… 2
一斉呼出 …… 2-53、2-56
居留守応答 …… 2-12、2-17
エラー音 …… 5-5
応答時間 …… 2-83、3-6
応答専用メッセージ …… 2-71
応答メッセージ …… 2-71、3-7
お知らせ表示 …… 4-6
おしらせランプ …… 1-3、1-6、4-6
お手入れ …… 5-15
音声調整 …2-22、2-26、2-27、2-28、3-7、4-2

【か行】

外線転送 …… 2-22、2-58、2-61
キータッチ音 …… 1-25、3-11、5-5
基本イメージ …… 1-20
共通保留 …… 2-21、2-24
緊急着信 …… 2-14
グループ着信音 …… 3-5
グループ名称 …… 2-36、2-44、3-5
携帯イメージ …… 1-20
警報音
　受話器がはずれている …… 5-5
　保留警報…2-18、2-24、2-25、2-59、5-5
桁間タイマ …… 3-3
工場出荷時に戻す …… 3-11、5-6
故障かな？と思ったら …… 5-2
固定音声メッセージ …… 2-71
個別着信 …… 3-4
個別保留 …… 2-21、2-24
こんな音がしたときは …… 5-5

【さ行】

再生
　［お知らせ］から
　　再生／削除する …… 2-69、2-74
　音量／音質／速度を調整する …… 2-77、4-3
在宅留守応答 …… 2-86、3-6
自動アップデート …… 3-11、5-12
終了 …… 1-23、3-12
主装置
　主装置機能 …… 3-10
手動アップデート …… 3-11、4-7、5-8、5-10
受話器 …… 1-2、1-3
受話器コード …… 1-2、1-3、5-13
受話口 …… 1-3
初期化 …… 5-6
シンプルイメージ …… 1-20
スピーカ …… 1-3
スピーカ音量 …… 2-22、2-28、3-7、4-2
スライド着信 …… 2-14、3-5
設置・接続 …… 5-13
設定 …… 3-2
　アップデート …… 3-11
　音声 …… 3-7
　終了 …… 3-12
　主装置機能 …… 3-10
　その他 …… 3-11
　着信 …… 3-4
　転送 …… 3-9
　電話帳 …… 3-5
　ドアホン …… 3-8
　内線 …… 3-8
　発信 …… 3-3
　留守 …… 3-6
　ワンタッチダイヤル …… 3-6
操作画面イメージ …… 1-11、1-20
送話口 …… 1-3
ソフトウェア更新 …… 5-8

【た行】

ダイヤルボタン …… 1-3
代理応答 …… 2-12、2-20
タッチパネル
　明るさを設定する …… 3-11
　立てる …… 1-3、1-5、5-14
　使いかた …… 1-5

タッチパネル調整 ……………………3-11、4-4
タッチペン ………………………………1-2、1-4
タッチペン収容穴 ……………………………1-4
ダブルチャネルサービス……………2-90、2-91
　契約の設定をする ………2-90、2-95、3-10
着信 ………………………………………2-12、3-4
着信音 ……………………………………3-4、3-5
着信音量 ………………………2-14、3-4、4-2
着信拒否 …………………………………2-96、3-4
着信履歴 ……………………………………2-45
　1件削除する ………………………2-46、2-50
　UD-主装置に保存する ……………………2-47
　全件削除する………………………2-46、2-51
　着信履歴の電話番号にかける……2-45、2-48
　電話帳に登録する…………………2-46、2-49
通話時間表示 ……………………2-4、2-14、2-23
通話中の操作 …………………………………2-21
停電 …………………………………………………4-8
テレビ電話接続サービス……………2-90、2-92
　契約の設定をする ………2-90、2-95、3-10
テレビ電話接続サービス契約…2-90、2-95、3-10
電源アダプタ …………………………1-2、5-13
電源アダプタコード固定用溝 ……………1-4
電源アダプタコード差込口 …………1-4、5-13
転送先外線登録 …………………2-59、2-62、3-9
転送先電話番号…2-59、2-62、2-64、2-66、3-9
転送でんわ ……………………………2-64、3-9
　解除する ……………………2-64、2-67、3-9
　設定する ……………………2-64、2-66、3-9
　転送先電話番号を
　　変更する …………………2-64、2-67、3-9
電話帳 …………………………………………2-35
　1件削除する………………………2-36、2-42
　グループ名称を登録する …2-36、2-44、3-5
　全件削除する ……………2-36、2-43、3-5
　登録する ……………………2-35、2-37、3-5
　登録できる内容 ……………………………2-36
　内容を変更する……………………2-35、2-40
　履歴から登録する …………………………2-49
電話帳全件削除 …………………2-36、2-43、3-5
電話帳登録 ………………………2-35、2-37、3-5
電話を受ける…………………………2-12、2-15
　通話中にかかってきた電話を
　　受ける…………………………2-13、2-18
　取り次ぐ …………………2-58、2-60、2-61
　ハンドフリーで受ける …2-12、2-16、2-57
　他の電話機への電話を受ける……2-12、2-20
　留守番電話で応答する……………2-12、2-17
電話をかける
　かけてきた相手にかける …………2-3、2-48
　受話器を置いたまま電話番号を押す ………2-2
　電話帳を使ってかける ………2-3、2-4、2-9
　電話番号を押してかける ……………2-2、2-5
　ハンドフリーでかける ………………2-2、2-6
　前にかけた電話番号にかける ……2-3、2-48
　ワンタッチダイヤルでかける ………2-3、2-8
電話を取り次ぐ ………………2-58、2-60、2-61
ドアホン …………………………………………2-101
　外線通話中にドアホンに
　　応答する ……………………2-101、2-105
　カメラドアホンの画像を
　　再生する …………2-102、2-108、2-110
　カメラドアホンの画像を
　　録画する ……………………2-102、2-108
　外の様子を確認する …………2-102、2-107
　ドアホンからの呼び出しに
　　応答する ……………………2-101、2-103
　ドアホン転送にFOMAで
　　応答する ………………………………2-114
　ドアホン転送を
　　設定する ……………2-102、2-112、3-8
ドアホン転送 ……………2-102、2-112、3-8
トールセイバ …………………………2-83、3-6
取扱説明書
　構成について ……………………………………11
　本書の見かた ……………………………………11

【な行】

内線通話 ……………………………………………2-52
　内線電話を受ける…………………2-53、2-57
　他の内線電話機にかける…………2-52、2-54
　呼出音を一斉に鳴らす……………2-53、2-56
内線転送 ……………………2-22、2-58、2-60
内線呼出 ……………………………………………3-8
ナンバー・ディスプレイ………………2-90、2-93
　契約の設定をする ………2-90、2-95、3-10
ナンバーディスプレイ契約 …2-90、2-95、3-10
入力画面 ……………………………………………1-27

次ページにつづく▶

索　引

【は行】
パスワード 1-17
バックライト明るさ調整 3-11
発信者番号通知 3-3
発信履歴 2-45
　１件削除する 2-46、2-50
　UD-主装置に保存する 2-47
　全件削除する 2-46、2-51
　電話帳に登録する 2-46、2-49
　発信履歴の電話番号にかける 2-45、2-48
ハンドフリー
　電話を受ける 2-12、2-16、2-53、2-57
　電話をかける 2-2、2-6、2-52、2-54
付加サービス 1-35、2-90
複数チャネル契約 2-90、2-95、3-10
複数チャネルサービス 2-90、2-91
　契約の設定をする 2-90、2-95、3-10
フックスイッチ 1-3
プッシュホンサービス 2-23
保守サービス 5-21
保留 2-21、2-24
保留警報音 2-18、2-24、2-25、2-59、5-5
保留転送 2-58
　転送先電話番号を
　　登録する 2-59、2-62、3-9

【ま行】
マイク 1-3
待受画面 1-6、1-11
迷惑電話 2-96
　電話番号を指定して着信を
　　拒否する 2-96、2-97、3-4
　非通知／公衆電話からの着信を
　　拒否する 2-96、2-100、3-4
文字入力 1-27
文字入力表 1-28

【や行】
ユーザ 1-9
　ユーザ名を設定する 1-12、3-10
ユーザ選択画面 1-19
用途別索引 1-7

【ら行】
ランプ表示 1-3
リモート操作 2-80
　外出先から転送を設定する 2-67
　外出先から用件を聞く 2-82
　外出先から留守番電話を設定する 2-84
　リモート操作用暗証番号を
　　登録する 2-69、2-80、3-7
リモート操作カード 5-19
留守暗証番号 2-69、2-80、3-7
留守転送 2-70、2-87、3-6
留守番電話 2-68
　応答メッセージの内容 2-71
　応答メッセージを
　　録音する 2-69、2-78、3-7
　設定／解除する 2-69、2-72、2-73、2-79
　用件転送を解除する 2-70、2-88、3-6
　用件転送を設定する 2-70、2-87、3-6
　用件を再生する 2-69、2-74
　用件を削除する 2-74
　リモート操作用暗証番号を
　　登録する 2-69、2-80、3-7
　録音された用件を
　　転送する 2-70、2-87、3-6
ログアウト 1-19、1-23、3-12
ログイン 1-19、1-21
ログインパスワード 1-17、3-10
ログインユーザ名称 1-12、3-10
録音
　応答メッセージを
　　録音する 2-69、2-78、3-7
　通話の内容を録音する 2-22、2-28
録画
　再生する 2-102、2-108、2-110
　ドアホン画像を録画する 2-102、2-108

【わ行】
ワンタッチダイヤル 2-30、3-6
　削除する 2-30、2-34
　電話帳登録時に登録する 2-39
　電話をかける 2-3、2-8
　登録する 2-30、2-32、3-6
　登録できる内容 2-31
　内容を変更する 2-30、2-33

リモート操作カード

切り取ってご利用ください。

留守番電話のリモート操作

リモート操作は、プッシュ信号を出せる電話機で行ってください。

❶自宅に電話をかけ、応答メッセージが聞こえたら、[#]を押す
❷「暗証番号とシャープを入力してください」と聞こえたら、暗証番号、[#]を押す
❸「用件メッセージを再生するには…」と聞こえたら、必要なリモート操作を行う（右記参照）
❹操作が終わったら、電話を切る

暗証番号［　　　　　　　　　　］

●リモート操作一覧

用件の再生	[7][#]
1つ前の用件再生／頭出し	[1][#]（再生中に）
次の用件の再生	[3][#]（再生中に）
再生停止	[5][#]（再生中に）
再生中の用件削除	[0][#]（再生中に）
用件全削除	①[8][#] ②[4][#]
留守解除	[0][#]（用件停止中に）

次ページにつづく▶

リモート操作カード

留守番電話のリモート操作

外出先から留守番電話をセットする

❶ 自宅に電話をかけ（約45秒間呼び出す）、「ただいま出かけております…」が聞こえたら、# を押す
❷ 「暗証番号とシャープを入力してください」と聞こえたら、暗証番号、# を押す
❸ 「用件メッセージを再生するには…」と聞こえたら、* # を押す
❹ 「留守に設定しました」と聞こえたら、電話を切る

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した実費をいただきます。（修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。）（故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120−242751

受付時間　24時間365日
※17：00〜翌日9：00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※故障修理などの対応時間　9：00〜17：00

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120−248995

受付時間　24時間365日
※故障修理などの対応時間　9：00〜17：00

912146A1

MEMO

環境基準ラベル
「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「＜追補版＞通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞

●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
●酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞

●製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
●リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞

●発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞

●省エネルギーを考慮した設計を行います。
●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK™
環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方でご不明の点がございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

NTT東日本　IP電話対応機器お取扱相談センタ

0120−710444

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は

03−5667−7200（通話料金がかかります）

受付時間　9：00〜21：00

年末年始　12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

NTT西日本　通信機器取扱相談センタ

0120−109217（トークニイーナ）

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は

東海・北陸・近畿・中国・四国地区

06−6341−5411（通話料金がかかります）

九州地区

092−720−4862（通話料金がかかります）

受付時間　9：00〜21：00

年末年始　12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2007 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本2874-1(2007.12)
UD-TELトリセツ〈キホン/ケイタイ〉